

**長野市**  
**スポーツに関するアンケート調査**  
**～報告書～**

令和3年3月

長野市

# 目 次

---

<b>I. 調査実施概要</b> .....	<b>1</b>
1. 調査目的.....	1
2. 調査概要.....	1
3. 調査項目.....	2
(1) 調査項目と本書の構成.....	2
(2) 調査項目の設定の考え方.....	3
4. 本書の注意点.....	4
<b>II. 調査結果の概要</b> .....	<b>5</b>
<b>III. 調査結果の詳細</b> .....	<b>8</b>
1. 回答者の属性.....	8
2. 「する」スポーツについて.....	15
(1) 「する」スポーツの実施状況.....	15
(2) 「する」スポーツへの意識、きっかけ等.....	23
3. 「支える」スポーツについて.....	33
(1) 「支える」スポーツの活動状況.....	33
(2) 「支える」スポーツ活動を促進するための取り組み等.....	36
4. 「障害者」スポーツについて.....	38
(1) 「障害者」スポーツの実施状況.....	38
(2) 「障害者」スポーツ活動を促進するための取り組み等.....	40
5. 運動・スポーツの基盤について.....	41
(1) 総合型地域スポーツクラブの状況.....	41
(2) スポーツ施設の利用状況.....	44
(3) 運動・スポーツ情報の入手について.....	46
6. 「観る」スポーツについて.....	48
(1) スポーツの観戦について.....	48
(2) 長野市の地域密着型プロスポーツについて.....	51
7. 「スポーツ振興」について.....	59
(1) 長野市のスポーツ振興の方向性について.....	59
(2) オリンピック開催都市であることを活かしたまちづくり.....	61
(3) 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催.....	63
8. 自由記述.....	64
(1) 全自由記述の整理.....	64
(2) 代表的な記述内容.....	65

# I. 調査実施概要

## 1. 調査目的

本調査は、第二次長野市スポーツ推進計画（平成 29～令和 3 年度）（以下、現行計画）の見直しのために以下を目的に実施しました。

- ① 市民のスポーツの実施状況を把握すること  
（「する」スポーツ、「支える」スポーツ、「障害者」スポーツ、「観る」スポーツ）
- ② 長野市のスポーツ振興の方向性に関する市民ニーズを把握すること

## 2. 調査概要

調査対象：長野市内に在住の 20 歳以上の男女

標本抽出：住民基本台帳（令和 2 年 12 月 1 日）からの無作為抽出方法

調査手法：返信用封筒を同封した、質問票送付によるアンケート調査方式

調査期間：令和 3 年 1 月 4 日から令和 3 年 1 月 20 日まで

回収結果：回収結果は下表に示す通りです。

図表 1 回収結果（回収票数と回収率）

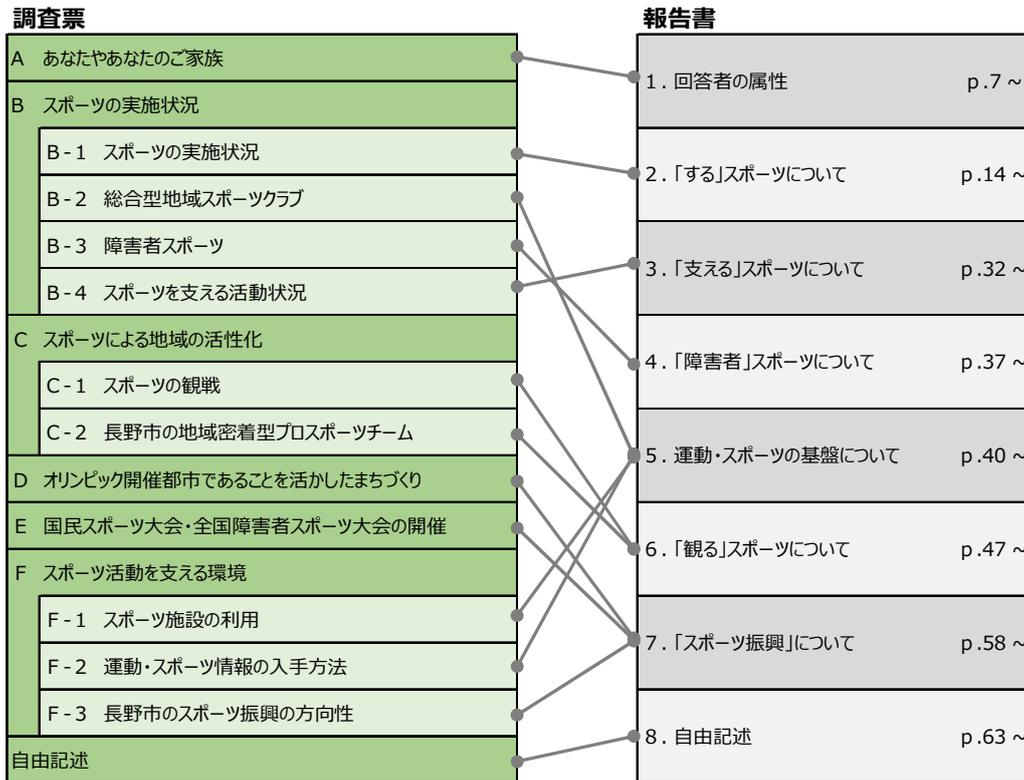
項目	票数・割合
① 配布数	3,000 票
② 不達・返送数	3 票
③ 有効配布数 ①-②	2,997 票
④ 回収数	1,325 票
⑤ 白票数	7 票
⑥ 期間外到着数	1 票
⑦ 有効回収数 ④-(⑤+⑥)	1,317 票
⑧ 回収率 ④/①	44.2 %
⑨ 有効回収率 ⑦/③	43.9 %

### 3. 調査項目

#### (1) 調査項目と本書の構成

調査項目と本書の構成を、以下に示します。

図表 2 本書の構成と設問との対応



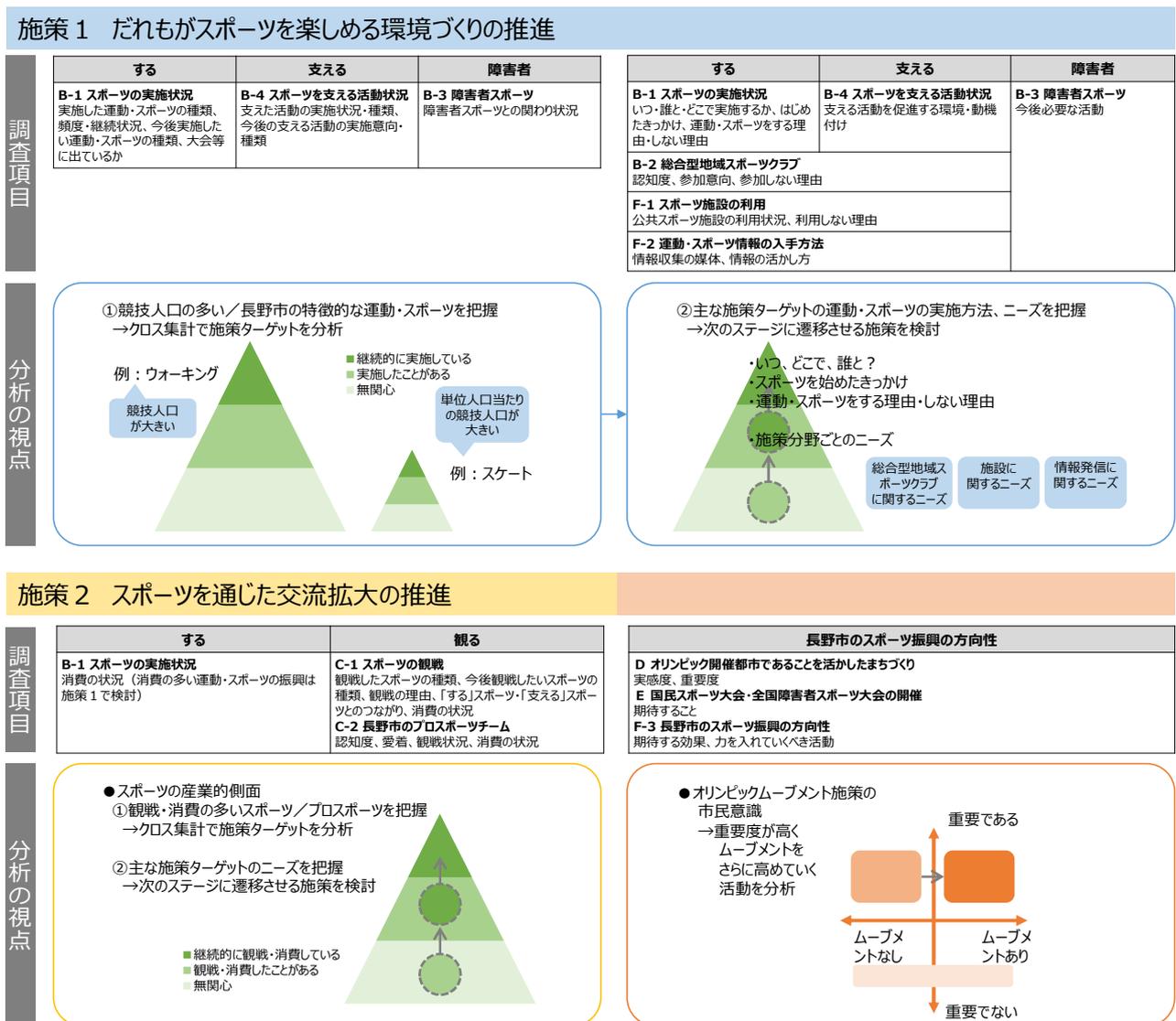
## (2) 調査項目の設定の考え方

本調査の調査項目は、現行計画の2つの施策に対応させて設定しています。

「施策1 だれもがスポーツを楽しめる環境づくりの推進」については、運動・スポーツ人口の拡大や習慣化等に向けて、施策ターゲットやコンバージョン率を高めるポイントを分析します。

「施策2 スポーツを通じた交流人口の拡大」については、スポーツ産業の拡大に向けた施策ターゲットやコンバージョン率を高めるポイント、オリンピック開催都市であることを活かしたまちづくり等の市民ニーズを分析します。

図表 3 施策立案の考え方（概念図）と設問との対応



## 4. 本書の注意点

- 回答結果の割合「%」は有効回答数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合は選択肢ごとの回答数の割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表内に示したnは集計対象者総数を表します。
- 本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。

## Ⅱ. 調査結果の概要

### (1) 「する」スポーツについて

#### ① 「する」スポーツの実施状況について

##### ●市内の運動・スポーツ人口は縮小しています

・コロナ禍以前の1年間にスポーツを「実施しなかった」割合は、平成27年度調査から10.9ポイント上昇しています。

##### ●よく実施されている運動・スポーツは、

「ウォーキング・散歩」(51.4%)、「体操」(29.7%)、「トレーニング」(17.3%)

・これらを実施している人の年齢分布をみると、回答者全体の分布と似ており、全世代型の運動・スポーツとなっています。

##### ●平成27年度調査よりも、実施割合が5ポイント以上、上昇しているのは、

「エアロビクス、太極拳、ヨガ、ピラティス」(5.7ポイントUp)、「水泳」(5.1ポイントUp)

・一方で、平成27年度調査よりも、実施割合が5ポイント以上、低下しているのは、「ボウリング」(9.2ポイント低下)、「マレットゴルフ・グランドゴルフ」(6.4ポイント低下)となっています。

・「エアロビクス、太極拳、ヨガ、ピラティス」を実施しているのは9割以上が女性となっています。

・「水泳」は、子ども(主に小学生)と一緒に実施できる運動・スポーツとなっていると考えられます。

##### ●全国よりも、実施割合が5ポイント以上高い、本市で特徴的な運動・スポーツは、

「体操」(15.5ポイント高い)、「スキー、スノーボード」(5.9ポイント高い)

・一方で、全国よりも、実施割合が5ポイント以上低いのは、「ウォーキング・散歩」(11.0ポイント低い)、「ゴルフ」(5.3ポイント低い)、「サイクリング」(7.0ポイント低い)となっています。

##### ●地域密着型プロスポーツのあるスポーツの実施割合は、

「サッカー」(1.0%)、「バスケットボール」(1.0%)、「フットサル」(0.8%)と低い水準になっています

##### ●大会やリーグ戦に参加した人は8.5%

・地域密着型プロスポーツのあるスポーツを実施した人に対する、大会やリーグ戦に参加した人の割合は、「サッカー」(30.8%)、「バスケットボール」(33.3%)、「フットサル」(20.0%)と他のスポーツと比較して高くなっており、限られた人が実施する敷居の高いスポーツとなっている可能性があります。

図表4 「する」スポーツの実施状況整理

	よく実施されている運動・スポーツ (上位10)	実施割合	過年度 比較	全国 比較
よく実施されている運動・スポーツ (上位10)	ウォーキング・散歩	51.4	3.4	-11.0
	体操	29.7	-3.2	+15.5
	トレーニング	17.3	4.3	+2.7
	ジョギング・ランニング	10.9	0.9	-3.0
	スキー、スノーボード	8.9	-2.1	+5.9
	エアロビクス、太極拳、ヨガ、ピラティス	8.6	5.7	+0.9
	ゴルフ	8.0	-3.9	-5.3
	水泳	6.9	5.1	+1.4
	ボウリング	6.2	-9.2	+0.5
	サイクリング	5.5	0.4	-7.0
プロチームのあるスポーツ	サッカー	1.0	-	-
	バスケットボール	1.0	-	-
	フットサル	0.8	-	-

## ② 「する」スポーツへの意識・きっかけ等について

- 部活動等よりも、過去数年で始めた運動・スポーツを熱心に取り組む傾向があります。

- 運動・スポーツをはじめのきっかけは、「友人や家族等から勧められて」(37.7%)、  
「テレビや雑誌でスポーツ情報を見て」(16.3%)、「医師等から勧められて」(12.8%)

- 実施した理由は、「健康のため」(79.1%)、「楽しみ、気晴らしとして」(53.7%)、  
「体力増進・維持のため」(51.1%)

・平成27年度調査よりも、実施割合が5ポイント以上、上昇しているのは、「健康のため」(12.6ポイント上昇)です。

- 運動スポーツを実施した形式は、「個人で自由に」(67.9%)が突出して多くなっています

→総じて、思い立った時に、気軽に実施できる運動・スポーツへのニーズが高いと考えられます

- スポーツをしなかった理由は、「特に理由はない」(34.8%)が最も高くなっています

・取り組まないことに明確な理由がない回答者が多くなっています。何らかのきっかけがあれば運動・スポーツを実施する者も少なくないと考えられます。

## (2) 「支える」スポーツについて

- 何らかのスポーツを支える活動を行なった人は13.0%、今後行いたい人は26.0%

・「行った」のは「40歳代」、「子どもが6歳以上18歳未満」で多くなっています。

- 行っていない人が支える活動を促進するためには、「機会、きっかけがあれば」(43.2%)、  
「短時間でも行える活動があれば」(35.0%)、「活動場所が自宅から近ければ」(32.3%)

## (3) 「障害者」スポーツについて

- 障害者スポーツに関わったことがあるのは、11.2%

・「関わったことがある」のは「40歳代」、「子どもがいる」で多くなっています。

- 障害のある人でもスポーツを実施しやすくするために必要だと思う取り組みは、「障害者スポーツイベントや体験機会の充実」(44.0%)、「障害者スポーツについての理解促進・PR」(43.3%)

## (4) 運動・スポーツの基盤について

- 地域型スポーツクラブの認知度は、「言葉も内容も知っている」(7.1%)、

参加意向は「参加している／今は参加していないが、今後参加したいと思う」(45.0%)となっています

- 今後、充実した方が良いと思う施設は、「社会体育館」(12.3%)、「屋内運動場」(12.0%)、「屋外運動場」(11.4%)となっています

- 運動・スポーツ情報の入手先は、「テレビ」(39.0%)、「市の広報紙」(33.8%)、「新聞」(33.2%)、「インターネット・SNS」(32.5%)となっています

## (5) 「観る」スポーツについて

### ① スポーツ観戦について

●テレビやネットでスポーツ観戦をした回答者は91.2%、直接観戦した回答者は51.1%

- ・直接観戦は「サッカー」リーグ・なでしこリーグが最も多く、次いで「その他野球」「バスケットボール」となっています。
- ・地域密着型プロスポーツのあるスポーツ（サッカー、バスケットボール）を直接観戦したいとする割合が高くなっています。

●観戦後のスポーツとの関わりは、「そのスポーツを自分自身が実施した」（15.1%）、「そのスポーツに関わるボランティア活動を実施した」（2.5%）となっており、一定の影響があると考えられます

### ② 長野市の地域密着型プロスポーツについて

●チームごとの認知度は、「長野パルセイロ」（95.5%）が最も高く、次いで「信州ブレイブウォリアーズ」（80.2%）、「長野パルセイロレディース」（79.3%）となっています

●発足されて間もない「ポアルス長野フットサルクラブ」（19.0%）は低くなっています

- ・愛着度（「とても感じる・まあまあ感じる」）は、「長野パルセイロ」（40.1%）が最も高く、次いで「信州ブレイブウォリアーズ」（38.6%）となっています。
- ・観戦回数（「1回・2回以上」）は、「長野パルセイロ」（14.6%）が最も高く、次いで「信州ブレイブウォリアーズ」（6.4%）、「長野パルセイロレディース」（5.5%）、「ポアルス長野フットサルクラブ」（1.7%）となっています。

●直接観戦時の売上は、「長野パルセイロ」（371,603千円）が最も高く、次いで「信州ブレイブウォリアーズ」（131,369千円）、「長野パルセイロレディース」（67,393千円）、「ポアルス長野フットサルクラブ」（10,722千円）となっています

## (6) 「スポーツ振興」について

### ① 長野市のスポーツ振興の方向性について

●運動・スポーツは、「大切・まあまあ大切」（79.7%）と多くの市民が大切なものと認識しています

- ・スポーツ振興に期待する効果として、「健康づくりや成人病予防」（62.9%）が最も高く、次いで「高齢者の生きがいづくり」（46.8%）、「余暇時間の有効活用」（41.3%）となっています。
- ・健康や生活の質の向上に関わる項目に回答が集まっており、地域コミュニティや経済の活性化等に関わる項目よりも重視されていると考えられます。

### ② オリンピック開催都市であることを活かしたまちづくり

●「運動・スポーツを広める活動」「国際大会や全国大会を実施する活動」「地域・社会に根づいたボランティア等の活動」「スケート等のトップアスリートを育成する活動」「子どもたちの国際交流の活動」は重要ではあるものの、まちにいきづいていないといえないという評価となっています

# Ⅲ. 調査結果の詳細

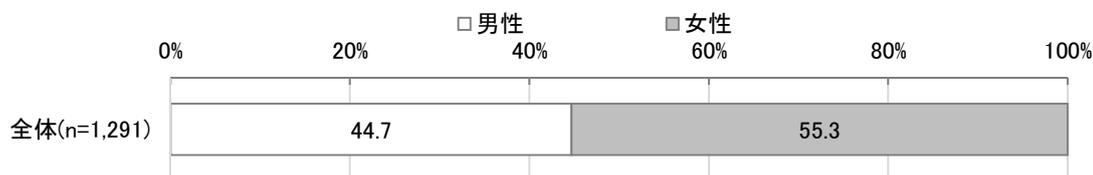
## 1. 回答者の属性

### ① 性別と年代

- 性別は、「男性」が 44.7%、「女性」が 55.3%です。
- 年代は性別により大きな差はありません。
- 住基人口と比較すると、アンケートでは 75 歳以上人口が 10.1 ポイント低くなっています。他の年代では、若い年代の回答率が低く、年を重ねると回答率が高くなる傾向があります。

図表 5 性別（単一）

問1 あなたの性別を教えてください。（○はひとつ）



図表 6 性別ごとの年代（クロス集計）

問2 あなたの令和3年1月1日現在の年齢を教えてください。（○はひとつ）

※ 住基人口は長野市「長野市地区別年齢別人口（令和3年1月）」に基づく。

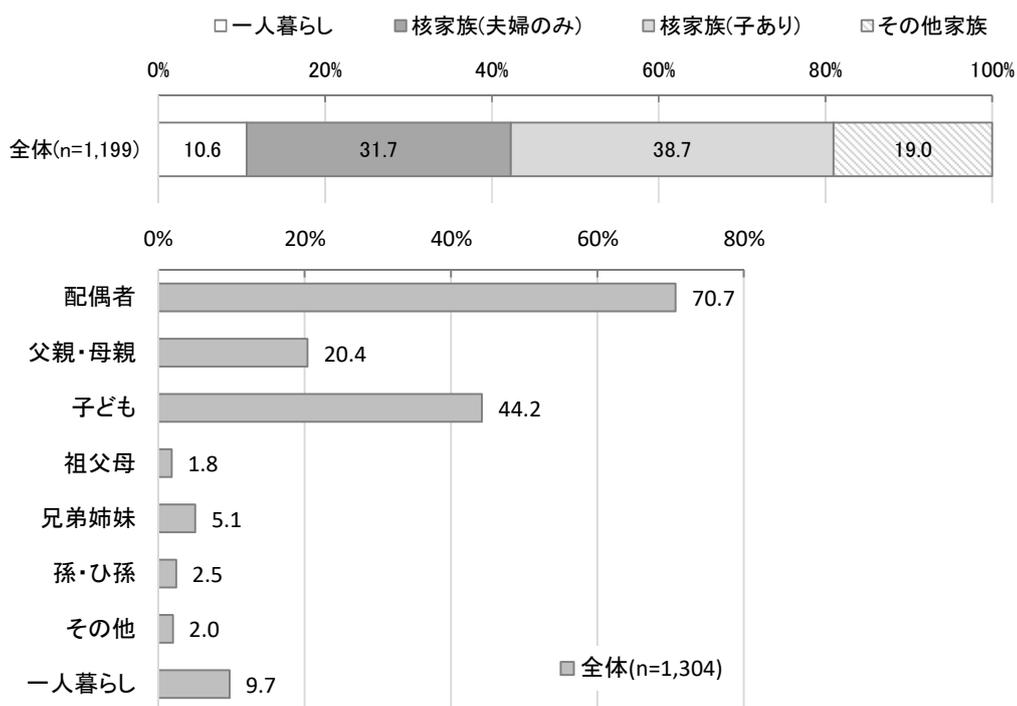


## ② 同居家族

- 同居家族は、「核家族(子あり)」が38.7%であり最も高く、次いで「核家族(夫婦のみ)」が31.7%となっています。
- 同居家族の内訳としては、「配偶者」が70.7%、次いで「子ども」が44.2%となっています。

図表 7 同居家族（複数）

問3 あなたと同居している方はどなたですか。（あてはまる番号すべてに○）



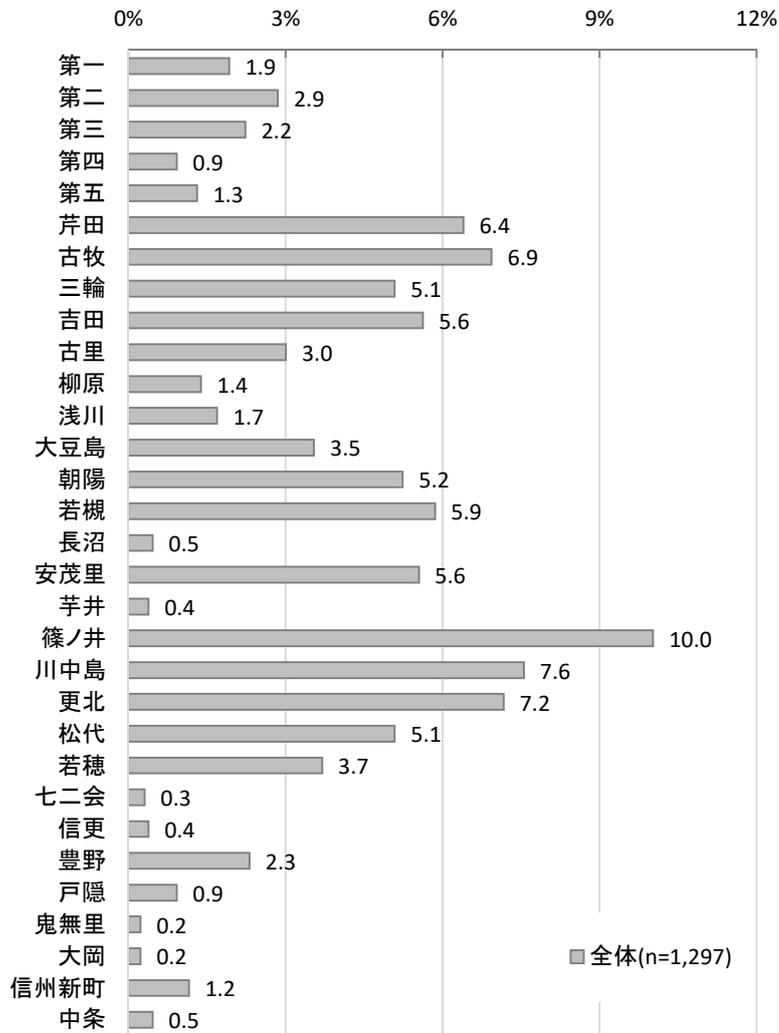
その他記述内容	度数(件)
義理家族	15
恋人	3
計	18

### ③ 居住地区

▶ 居住地区は、「篠ノ井」が10.0%であり最も高く、次いで「川中島」が7.6%、「更北」が7.2%です。

図表 8 居住地区（単一）

問4 あなたがお住まいになっている地区を教えてください。（○はひとつ）

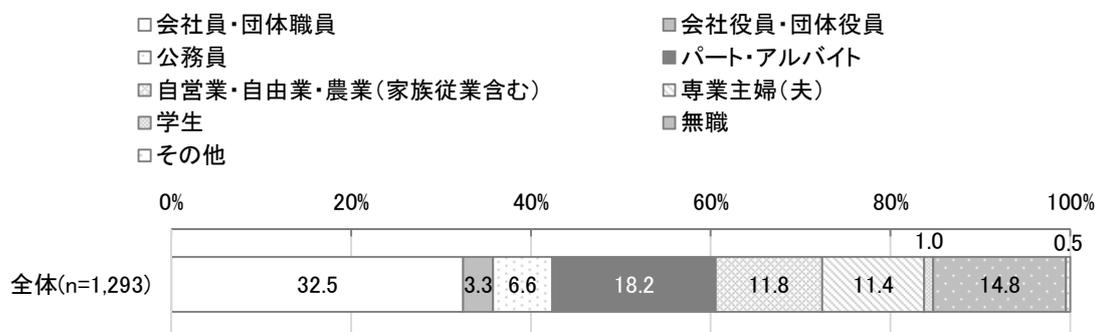


#### ④ 就業・就学状況

- ▶ 就業・就学状況は、「会社員・団体職員」が32.5%であり最も高く、次いで「パート・アルバイト」が18.2%、「無職」が14.8%です。

図表 9 就業・就学状況（単一）

問5 あなたの主な就業・就学状況を教えてください。（○はひとつ）



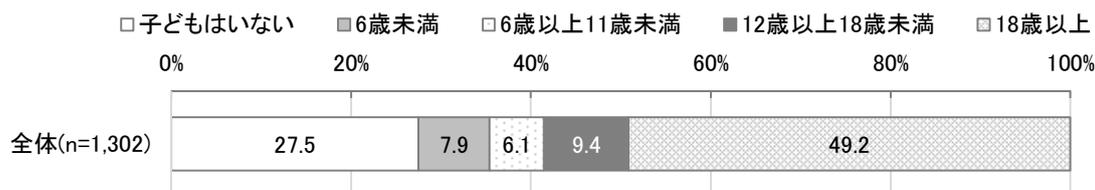
その他記述内容	度数(件)
シルバー人材センター	2
就労移行支援	1
計	3

#### ⑤ 子育て・介護状況

- ▶ 子どもの有無は、「小学生以下の子どもがいる」が23.4%となっています。
- ▶ 介護の有無は、「介護している」が9.8%となっています。

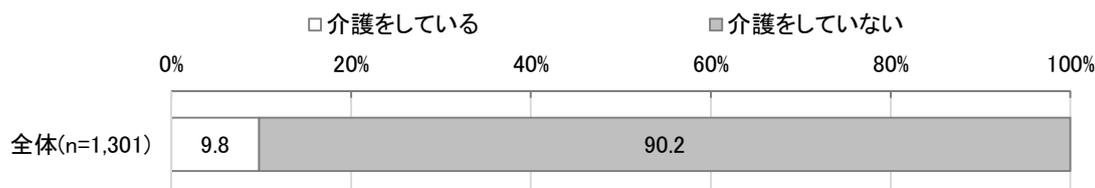
図表 10 子どもの有無（単一）

問6 あなたには子どもがいますか。（○はひとつ）



図表 11 介護の有無（単一）

問7 あなたは介護をしていますか。（○はひとつ）



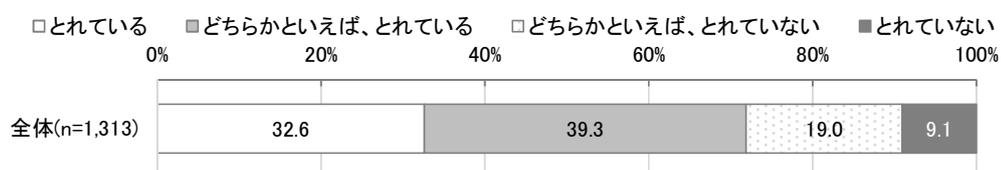
## ⑥ 趣味や自分のために使える時間・お金の有無

- ▶ 趣味や自分のために使える時間の有無は、「とれている／どちらかといえば、とれている」が71.9%、どちらかといえばとれていない、とれていない」が28.1%です。
- ▶ 子どものいる回答者では、子どもの年齢が上がるほど「とれている／どちらかといえば、とれている」割合が高くなっています。
- ▶ 介護の有無ごとにみると、介護をしていない回答者ほど、「とれている／どちらかといえば、とれている」割合が高くなっています。

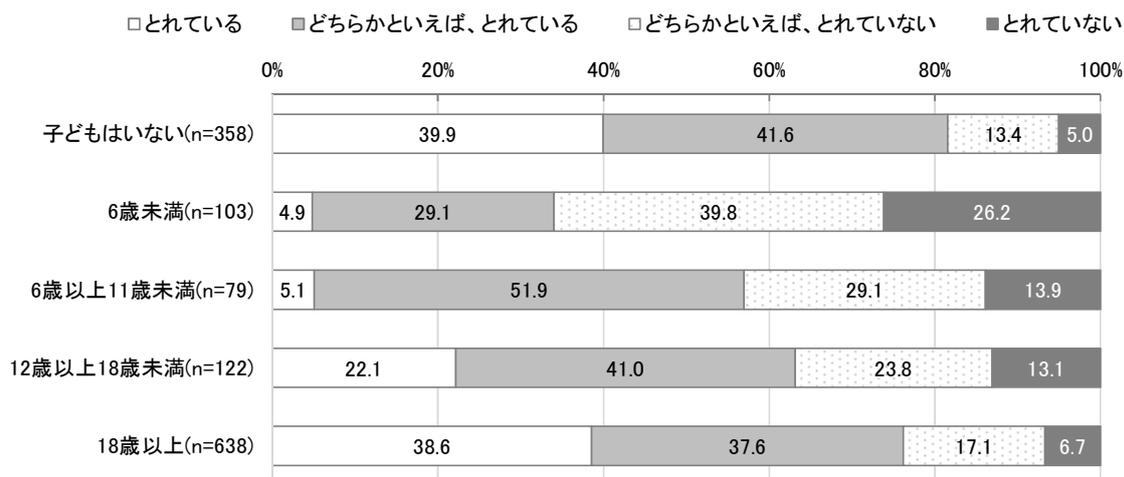
図表 12 趣味や自分のために使える時間の有無（単一）

問8 あなたは、仕事や学業、家事などのほか、趣味や自分の楽しみのために使える時間を充分にとれていますか。

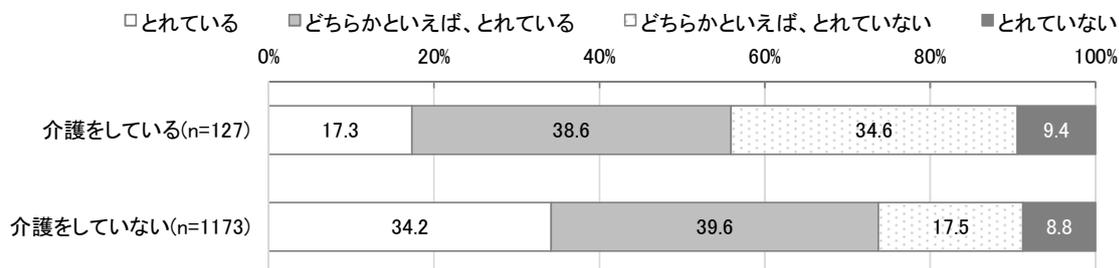
(○はひとつ)



図表 13 趣味や自分のために使える時間の有無（子どもの有無とのクロス）



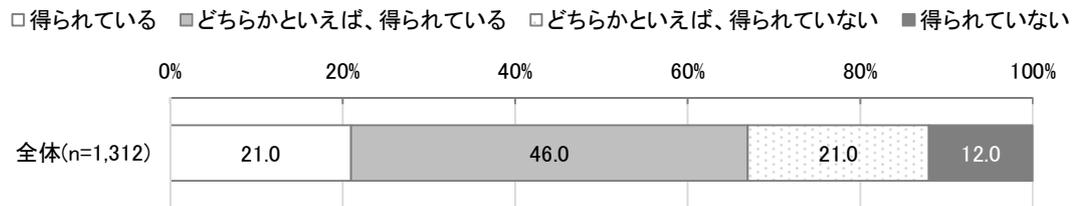
図表 14 趣味や自分のために使える時間の有無（介護の有無とのクロス）



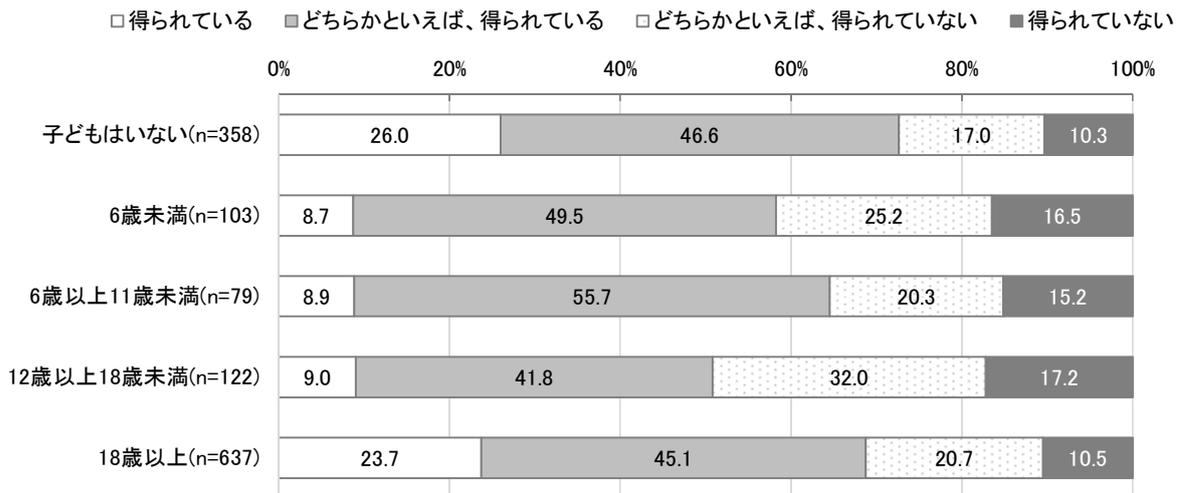
- ▶ 趣味や自分のために使えるお金の有無は、「得られている／どちらかといえば、得られている」が67.0%、「どちらかといえば、得られていない／得られていない」が33.0%です。
- ▶ 子どもの有無ごとにみると、「得られている／どちらかといえば、得られている」を合わせた割合は「6歳未満」、「12歳以上18歳未満」で低くなっています。
- ▶ 介護の有無では、「介護をしている」回答者の方が「得られている／どちらかといえば、得られている」割合が高くなっています。

図表 15 趣味や自分のために使えるお金の有無（単一）

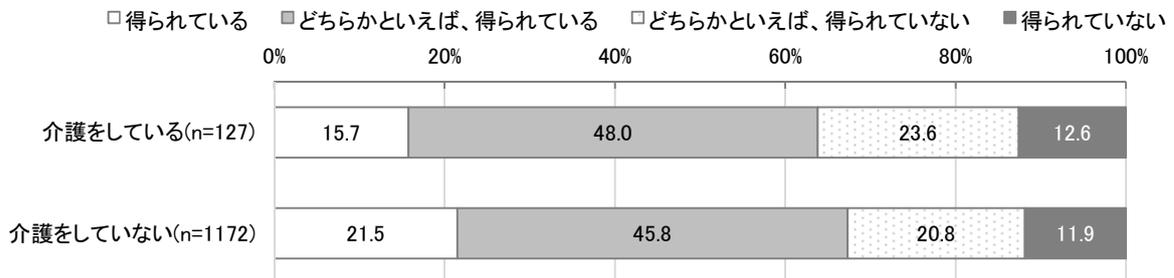
問9 あなたは、生活に必要な不可欠な費用（食費や光熱費）のほか、趣味や自分の楽しみのために使えるお金を十分に得られていますか。（○はひとつ）



図表 16 趣味や自分のために使えるお金の有無（子どもの有無とのクロス）



図表 17 趣味や自分のために使えるお金の有無（介護の有無とのクロス）

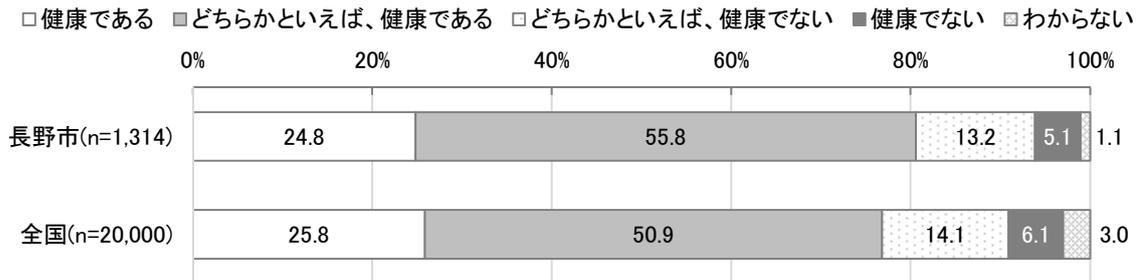


## ⑦ 健康状態・運動不足の評価

- 健康状態の評価は、「健康である／どちらかといえば、健康である」が 80.6%であり、全国との差は 3.9 ポイントです。
- 運動不足の評価は、「大いに感じる、ある程度感じる」が 82.6%であり全国との差は 3.9 ポイントです。

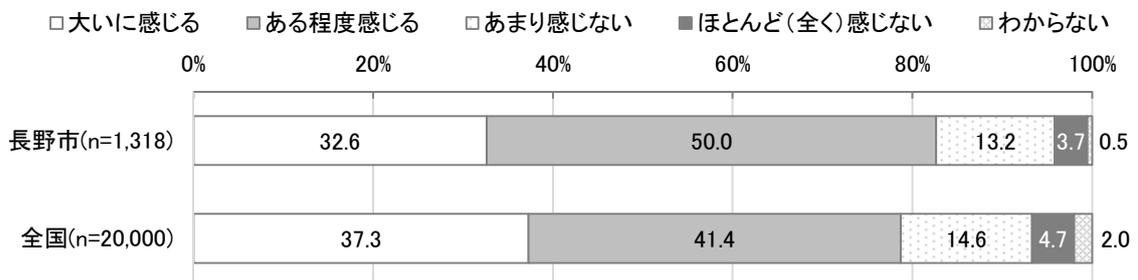
図表 18 健康状態の評価（単一）

問 10 あなたは、健康だと感じていますか。（○はひとつ）



図表 19 運動不足の評価（単一）

問 11 あなたは、日頃運動不足を感じていますか。（○はひとつ）



## 2. 「する」スポーツについて

### (1) 「する」スポーツの実施状況

#### ① 実施状況

##### <実施した、最も熱心に実施した>

- ▶ コロナ禍以前の1年間に実施した運動・スポーツは、「ウォーキング・散歩」が51.4%であり最も高く、次いで「体操」が29.7%、「実施しなかった」が23.5%となっています。長野市内にプロスポーツチームのあるスポーツ（サッカー、フットサル、バスケットボール）はそれぞれ約1.0%となっています。
- ▶ 最も熱心に取り組んだ運動・スポーツは、「ウォーキング・散歩」が33.4%であり突出しています。

図表 20 運動・スポーツの実施状況（コロナ禍以前の1年間に「実施した」「最も熱心に取り組んだ」「今後実施したい」運動・スポーツ）

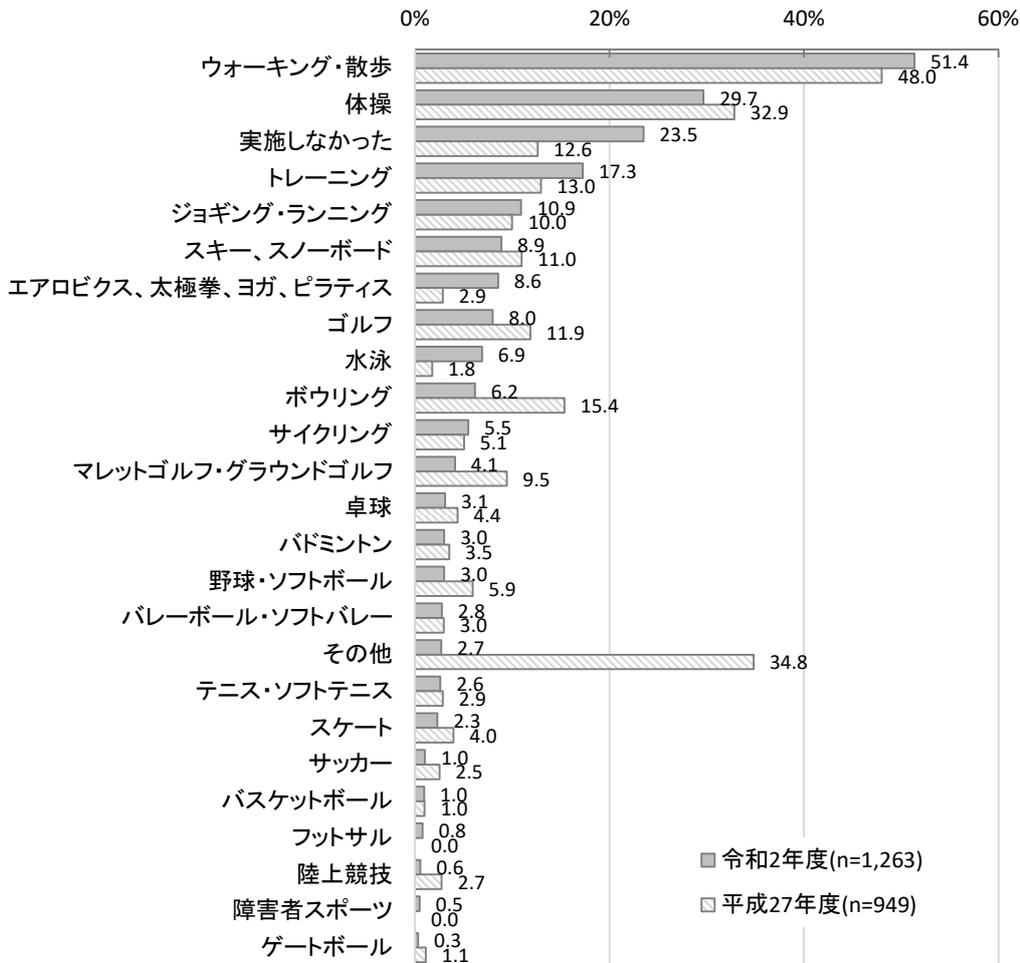
問12 あなたが、コロナ禍以前の1年間に①実施した運動・スポーツ、②大会やリーグ戦に参加した、③最も熱心に取り組んだ運動・スポーツ、④今後実施したいスポーツを、教えてください。ただし、学校の体育の授業として行ったものや、職業として行ったものは除きます。

	コロナ禍以前の1年間に			
	実施した(複数)		最も熱心に取り組んだ(単一)	
	実施した(n=1,263)	割合	(n=506)	割合
1	ウォーキング・散歩	51.4%	ウォーキング・散歩	33.4%
2	体操	29.7%	トレーニング	8.9%
3	実施しなかった	23.5%	ゴルフ	8.7%
4	トレーニング	17.3%	エアロビクス、太極拳、ヨガ、ピラティス	7.9%
5	ジョギング・ランニング	10.9%	体操	6.9%
6	スキー、スノーボード	8.9%	ジョギング・ランニング	6.7%
7	エアロビクス、太極拳、ヨガ、ピラティス	8.6%	スキー、スノーボード	5.3%
8	ゴルフ	8.0%	その他	3.4%
9	水泳	6.9%	水泳	3.4%
10	ボウリング	6.2%	テニス・ソフトテニス	2.4%
11	サイクリング	5.5%	バレーボール・ソフトバレー	2.2%
12	マレットゴルフ・グラウンドゴルフ	4.1%	サイクリング	1.8%
13	卓球	3.1%	野球・ソフトボール	1.8%
14	バドミントン	3.0%	ボウリング	1.8%
15	野球・ソフトボール	3.0%	バスケットボール	1.6%
16	バレーボール・ソフトバレー	2.8%	卓球	1.2%
17	その他	2.7%	サッカー	1.2%
18	テニス・ソフトテニス	2.6%	マレットゴルフ・グラウンドゴルフ	1.0%
19	スケート	2.3%	バドミントン	0.4%
20	サッカー	1.0%	スケート	0.2%
21	バスケットボール	1.0%	障害者スポーツ	0.0%
22	フットサル	0.8%	ゲートボール	0.0%
23	陸上競技	0.6%	フットサル	0.0%
24	障害者スポーツ	0.5%	陸上競技	0.0%
25	ゲートボール	0.3%	実施しなかった	-

その他記述内容	度数(件)
登山・トレッキング	7
スポーツ吹き矢・ニュースポーツ	5
ダンス・フォークダンス・社交ダンス	5
弓道	4
アイスホッケー	2
剣道	2
eスポーツ	1
合気道	1
クレー射撃	1
トランポリン	1
武術	1
サーフィン	1
フラバールバレー	1
計	32

- ▶ 過年度調査と比較すると、「実施しなかった」は10.9ポイント上昇しています。
- ▶ 割合が5ポイント以上上昇している運動・スポーツは「エアロビクス、太極拳、ヨガ、ピラティス」「水泳」となっています。
- ▶ 割合が5ポイント以上低下しているスポーツは、「ボウリング」「マレットゴルフ・グラウンドゴルフ」となっています。

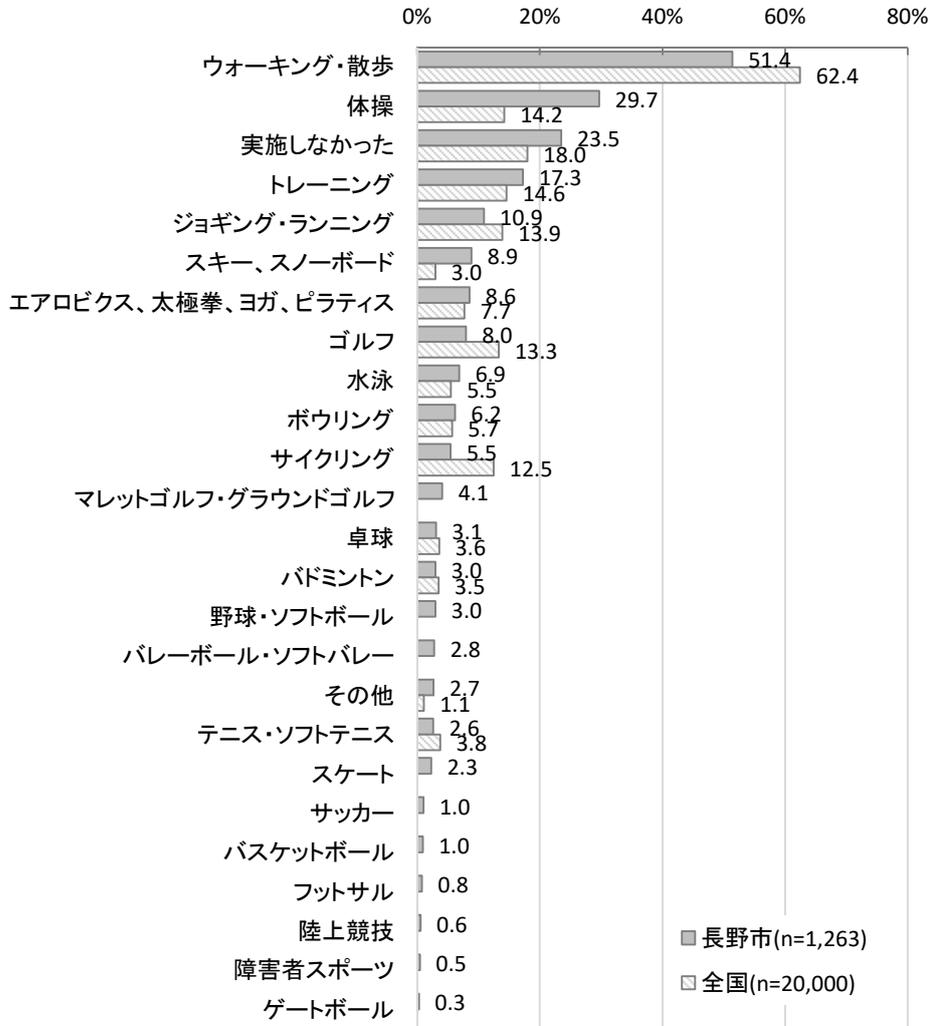
図表 21 運動・スポーツの実施状況（「実施した」過年度調査との比較）



※平成 27 年度は、スポーツを 3 分類（競技的スポーツ、比較的広域にわたる野外スポーツ、比較的軽いスポーツ）に分けそれぞれでその他を設定しています。

- ▶ 全国と比較すると、全国よりも割合が5ポイント以上高い運動・スポーツは「体操」「スキー、スノーボード」となっています。
- ▶ 全国よりも5ポイント以上低い運動・スポーツは、「ウォーキング・散歩」「ゴルフ」「サイクリング」となっています。

図表 22 運動・スポーツの実施状況（「実施した」全国との比較）

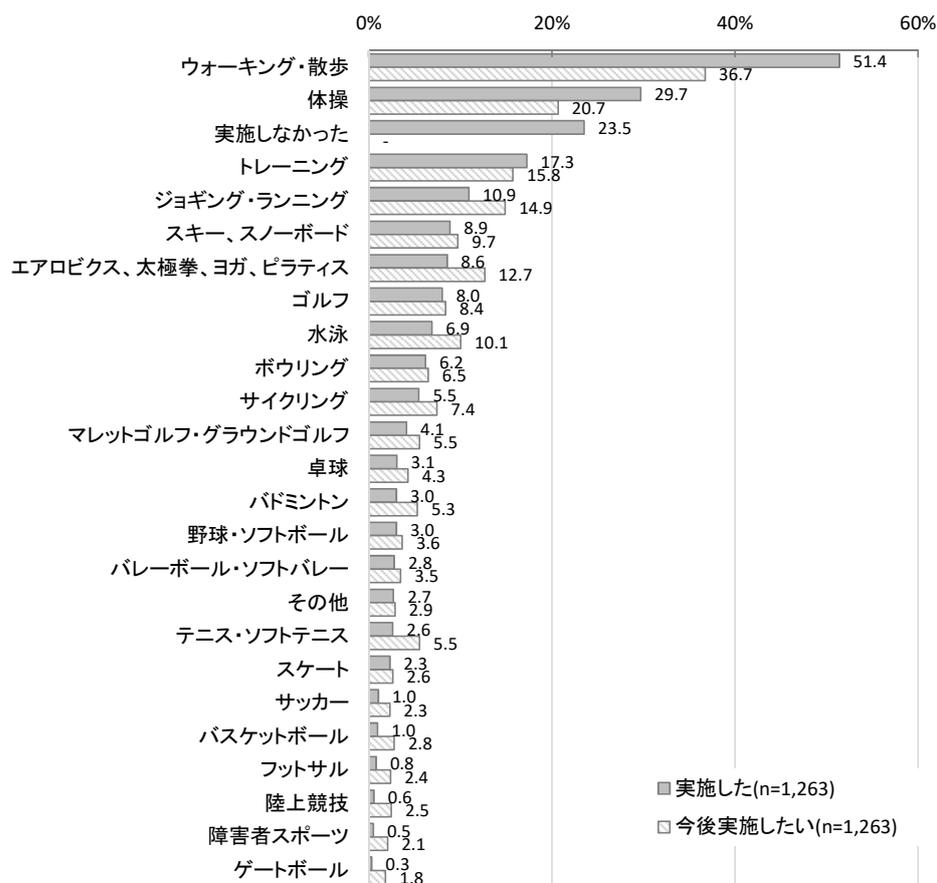


※割合が示されていない項目は全国の調査にて設定されていません。

### <実施した、今後実施したい>

- 実施したと今後実施したいを比較すると、「ウォーキング・散歩」、「体操」は実施したに比べて今後実施したい割合が5ポイント以上低くなっています。
- 一方で、「ジョギング・ランニング」、「エアロビクス、太極拳、ヨガ、ピラティス」は実施したに比べて今後実施したい割合が4ポイント以上高くなっています。
- 実施した回答者の割合は低いものの、競技スポーツを実施したい潜在的ニーズが一定数あると考えられます。

図表 23 運動・スポーツの実施状況（「実施した」「今後実施したい」の比較）



※問 12①コロナ禍以前の1年間に実施した運動・スポーツの設問回答者を母数として集計している。

### <大会やリーグ戦に参加した>

- ▶ コロナ禍以前の1年間に大会やリーグ戦に参加した回答者は8.5%となっています。
- ▶ 大会やリーグ戦に参加した運動・スポーツは、「実施しなかった」が23.5%であり最も高く、次いで「ジョギング・ランニング」が1.3%、「ゴルフ」が1.1%となっています。

図表 24 運動・スポーツの実施状況（コロナ禍以前の1年間に「大会やリーグ戦に参加した」運動・スポーツ）



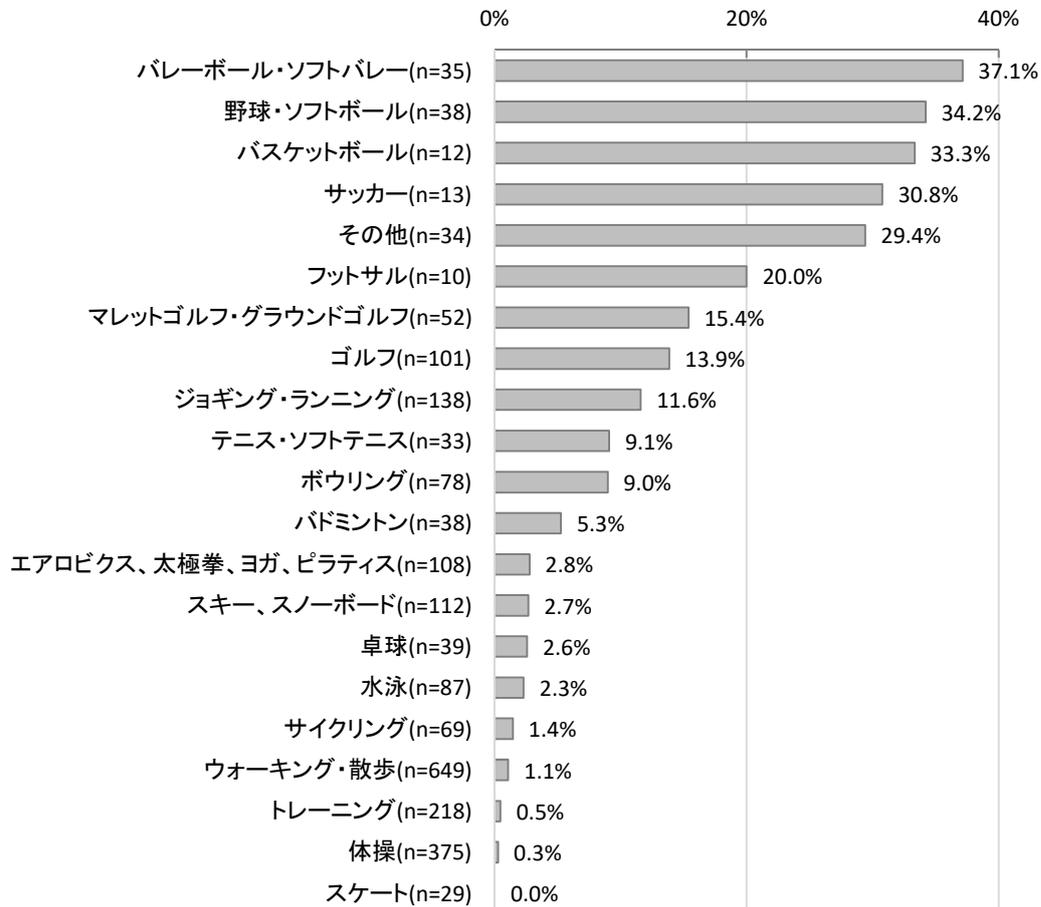
コロナ禍以前の1年間に 大会やリーグ戦に参加した(複数) (n=1,263)		割合
1	実施しなかった	23.5%
2	ジョギング・ランニング	1.3%
3	ゴルフ	1.1%
4	バレーボール・ソフトバレー	1.0%
5	野球・ソフトボール	1.0%
6	その他	0.8%
7	マレットゴルフ・グラウンドゴルフ	0.6%
8	ボウリング	0.6%
9	ウォーキング・散歩	0.6%
10	バスケットボール	0.3%
11	サッカー	0.3%
12	陸上競技	0.3%
13	スキー、スノーボード	0.2%
14	テニス・ソフトテニス	0.2%
15	エアロビクス、太極拳、ヨガ、ピラティス	0.2%
16	障害者スポーツ	0.2%
17	ゲートボール	0.2%
18	バドミントン	0.2%
19	フットサル	0.2%
20	水泳	0.2%
21	サイクリング	0.1%
22	卓球	0.1%
23	トレーニング	0.1%
24	体操	0.1%
25	スケート	0.0%

※問 12①コロナ禍以前の1年間に実施した運動・スポーツの設問回答者を母数として集計している。

➤ 種目ごと、「実施した」回答者に対する「大会やリーグ戦等に参加した」回答者の割合をみると、「バレーボール・ソフトバレー」が37.1%であり最も高く、次いで「野球・ソフトボール」が34.2%、「バスケットボール」が33.3%となっています。

図表 25 運動・スポーツの大会・リーグ戦等の出場状況

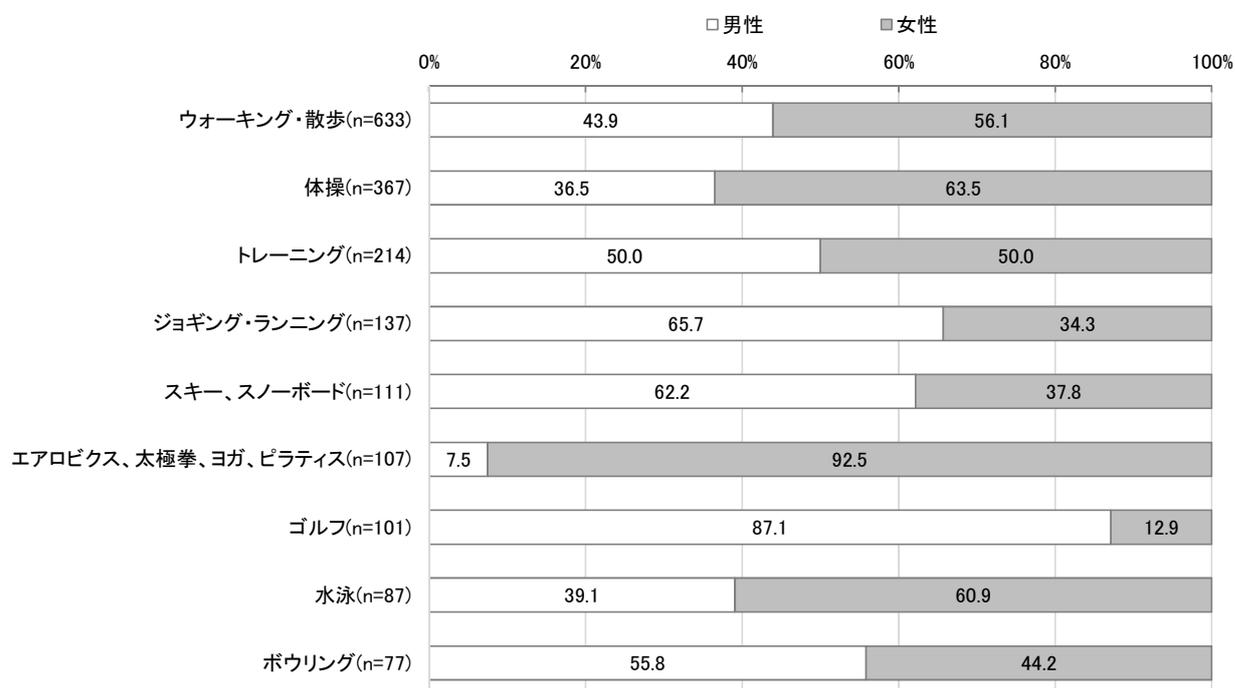
(種目ごとに、「大会やリーグ戦等に参加した回答者数」 / 「実施した回答者数」)



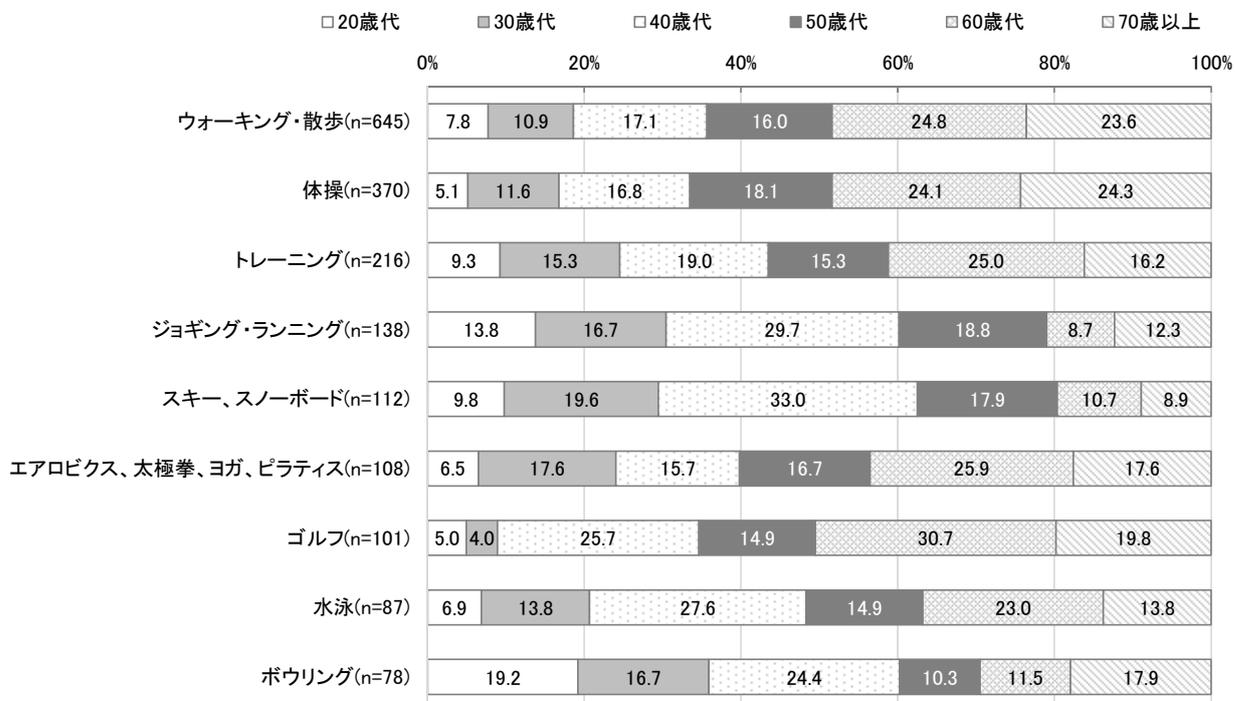
※母数が10人以上となっている種目について集計した。

## ② 属性ごとの実施状況

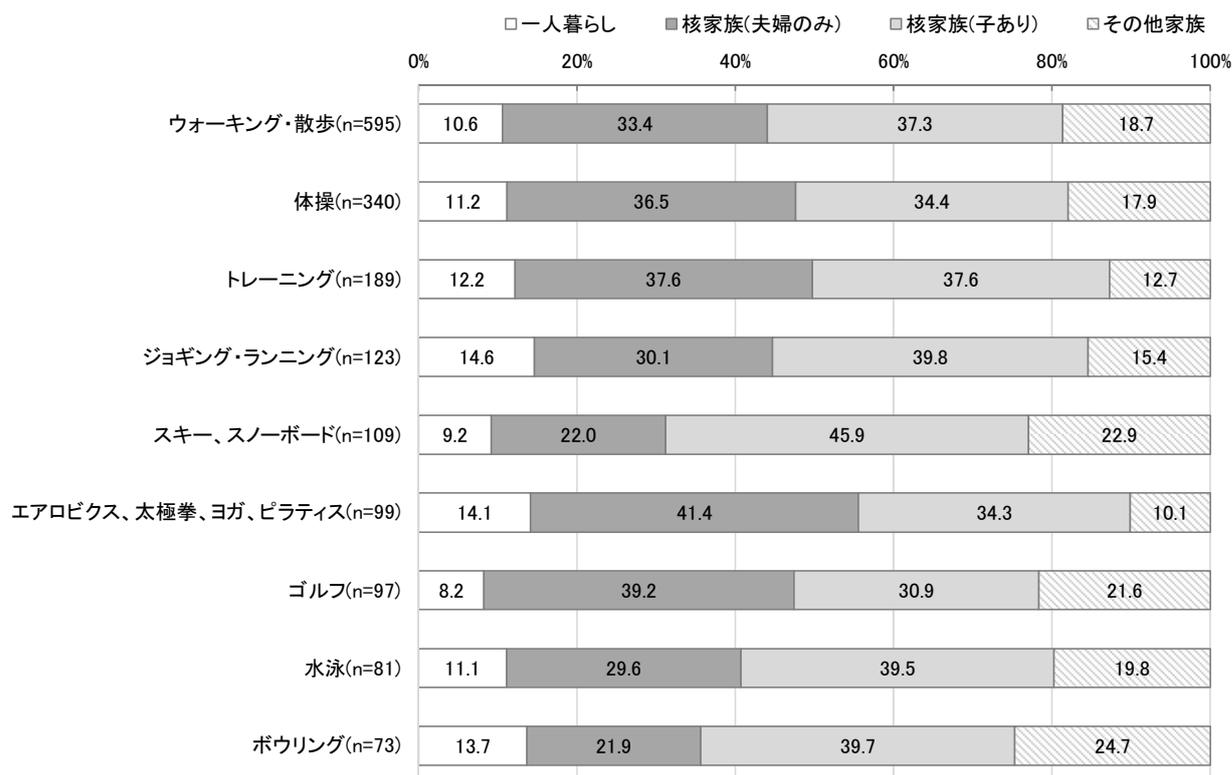
図表 26 実施した運動スポーツ（性別とのクロス集計）



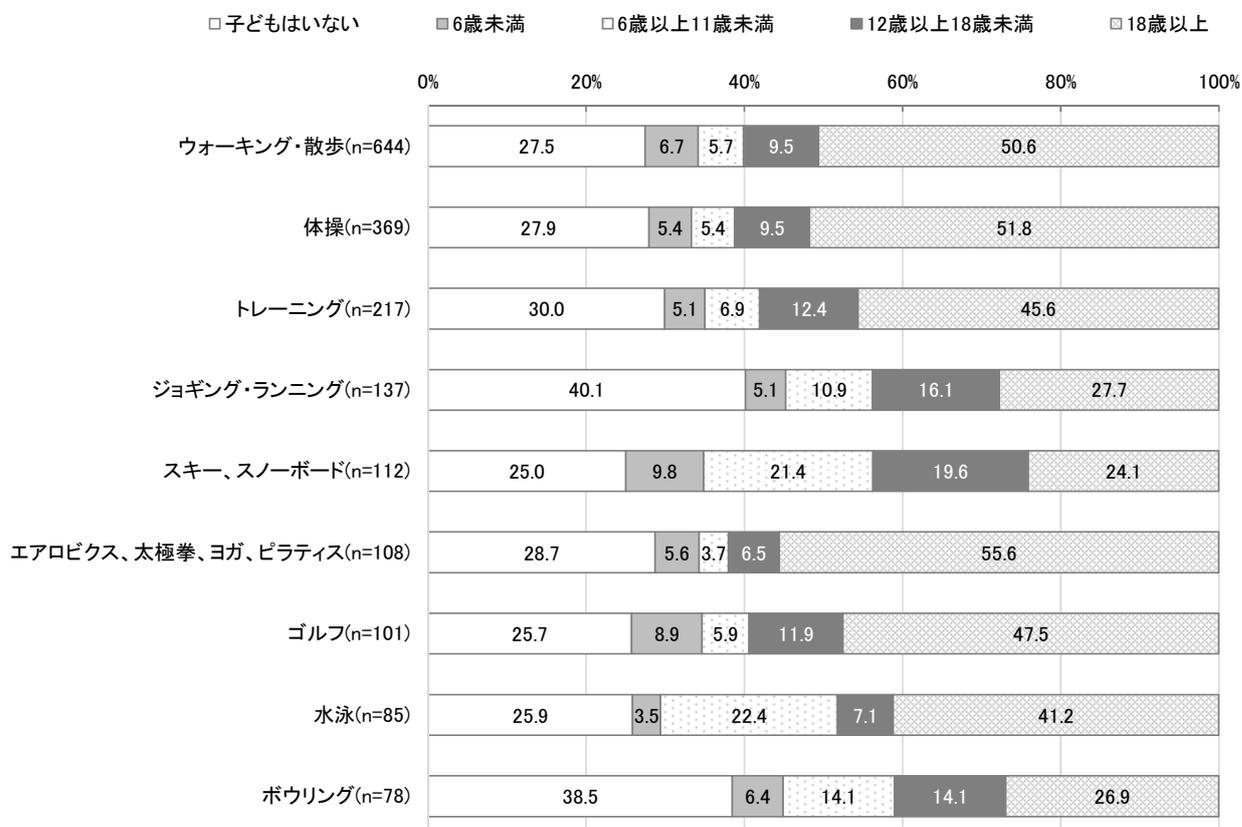
図表 27 実施した運動スポーツ（年代とのクロス集計）



図表 28 実施した運動スポーツ（家族構成とのクロス集計）



図表 29 実施した運動スポーツ（子どもの有無とのクロス集計）



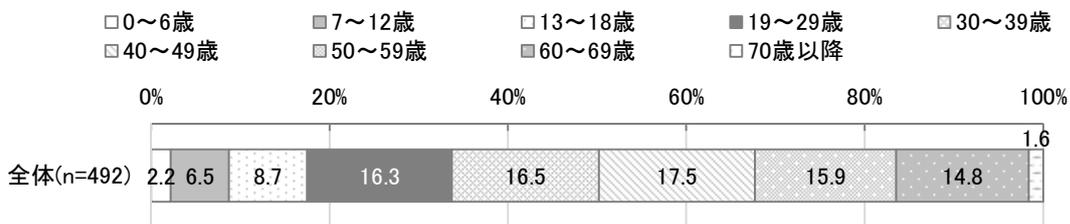
## (2) 「する」スポーツへの意識、きっかけ等

### ① 最も熱心に取り組んだ運動・スポーツをはじめた時期・きっかけ・日数

- 最も熱心に取り組んだ運動・スポーツをはじめた時期は、「0～6歳」「70歳以降」を除いた各年代で一定の割合がみられます。
- 年代とのクロス集計をみると、どの年代でもはじめた時期が現在の実年齢に近い回答が多くなっています。

図表 30 最も熱心に取り組んだ運動・スポーツをはじめた時期（単一）（大会やリーグ戦等に参加の有無とのクロス集計）

問 1 3 あなたは問 12 の③「最も熱心に取り組んだ運動・スポーツ」にいつから取り組んでいますか。（○はひとつ）



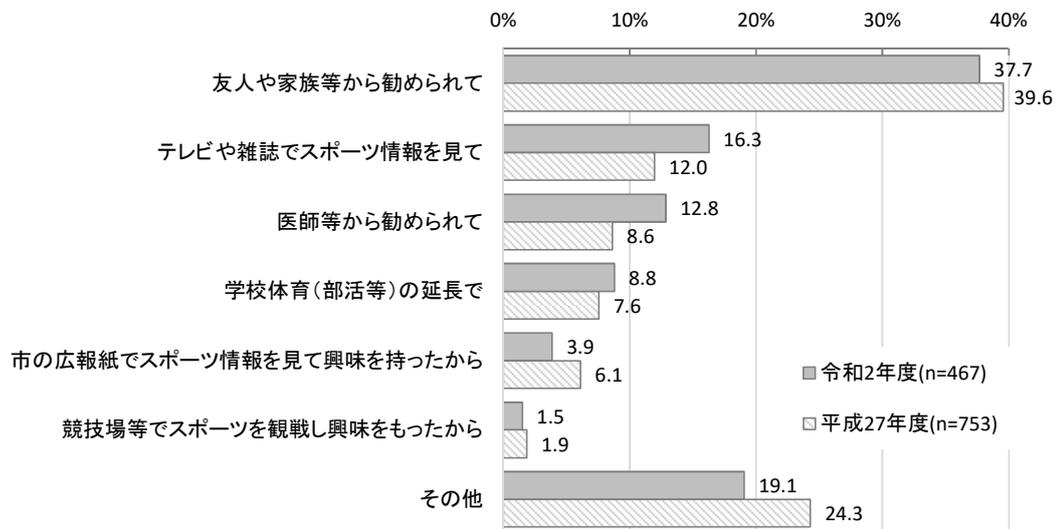
図表 31 最も熱心に取り組んだ運動・スポーツをはじめた時期（年代とのクロス集計）

	0～6歳	7～12歳	13～18歳	19～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以降
20歳代(n=53)	5.7	24.5	17.0	52.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳代(n=84)	3.6	13.1	15.5	32.1	35.7	0.0	0.0	0.0	0.0
40歳代(n=143)	4.9	7.7	11.9	17.5	26.6	31.5	0.0	0.0	0.0
50歳代(n=128)	0.0	7.8	9.4	7.8	14.8	26.6	33.6	0.0	0.0
60歳代(n=165)	0.0	1.8	5.5	7.3	9.7	10.9	30.9	33.9	0.0
70歳以上(n=138)	0.0	1.4	3.6	6.5	6.5	10.1	14.5	46.4	10.9

- ▶ 最も熱心に取り組んだ運動・スポーツをはじめたきっかけは、「友人や家族等から勧められて」が突出しています。
- ▶ 過年度調査と比較すると大きな差はみられません。

図表 32 最も熱心に取り組んだ運動・スポーツをはじめたきっかけ  
(単一) (過年度調査との比較)

問 1 4 あなたが問 12 の③「最も熱心に取り組んだ運動・スポーツ」をはじめたきっかけは何ですか。(〇はひとつ)

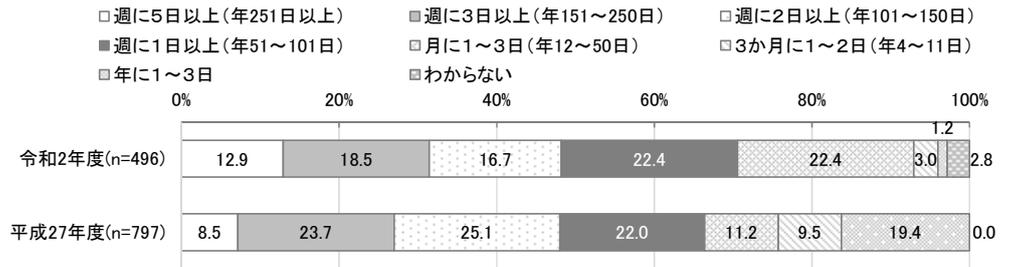


その他記述内容	度数(件)
健康のため	24
健康のため	22
病気のため	2
体力の維持・向上のため	15
運動不足解消のため	7
体力向上のため	3
筋力維持のため	2
元気に年をとるため	1
体(足)の不調を感じて	1
腰痛予防のため	1
犬の散歩のため	11
ダイエットのため	9
取り組みやすいから	9
仕事や学校、施設で取り組んだため	7
職場内、朝礼時に	1
幼稚園のサークル	1
地域の行事	1
デイケアで実施してから	1
公民館活動	1
運動講座に参加して	1
体験チケット	1
ネットや広告で興味をもった	3
ネットで興味をもった	2
広告を見て興味をもった	1
子どもと遊ぶため	1
時間が出来たから	1
近所に施設ができたため	1
メンタル強化のため	1
計	82

➤ 運動・スポーツを実施した日数は、「週に1日未満」に着目すると、「月に1～3日以上」が高くなっています。

図表 33 コロナ禍以前の1年間に運動・スポーツを実施した日数（単一）（過年度調査との比較）

問15 問12の①「実施した運動・スポーツ」で○をしたものについてお聞きます。コロナ禍以前の1年間に、あなたが運動・スポーツを実施した日数を全部合わせると何日くらいになりますか。（○はひとつ）



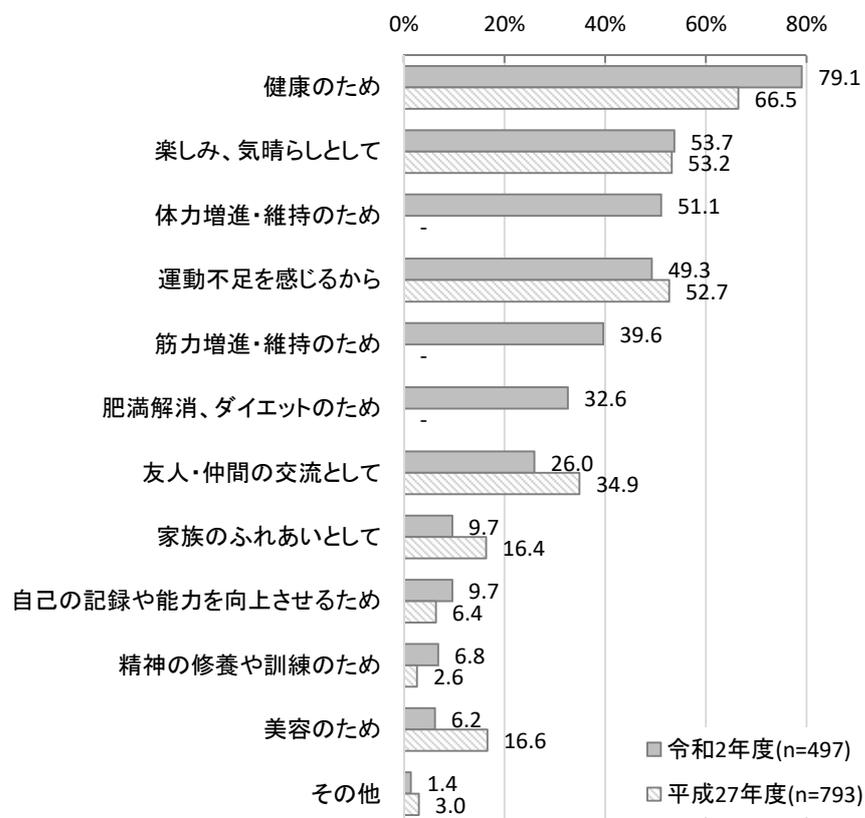
※平成27年度は、最も頻度の高い選択肢を「毎日（年341日以上）」としている。

## ②運動・スポーツを実施した理由

- 運動・スポーツを実施した理由は、「健康のため」が79.1%であり最も高く、次いで「楽しみ、気晴らしとして」が53.7%、「体力増進・維持のため」が51.1%です。
- 過年度調査と比較すると、「健康のため」が5.0ポイント以上上昇しています。
- 「友人・仲間の交流として」、「家族のふれあいとして」、「美容のため」が5.0ポイント以上低下しています。

図表 34 コロナ禍以前の1年間に運動・スポーツを実施した理由  
(複数)(過年度調査との比較)

問16 この1年間に、あなたが運動・スポーツを実施したのは、どのような理由からですか。(あてはまる番号すべてに○)



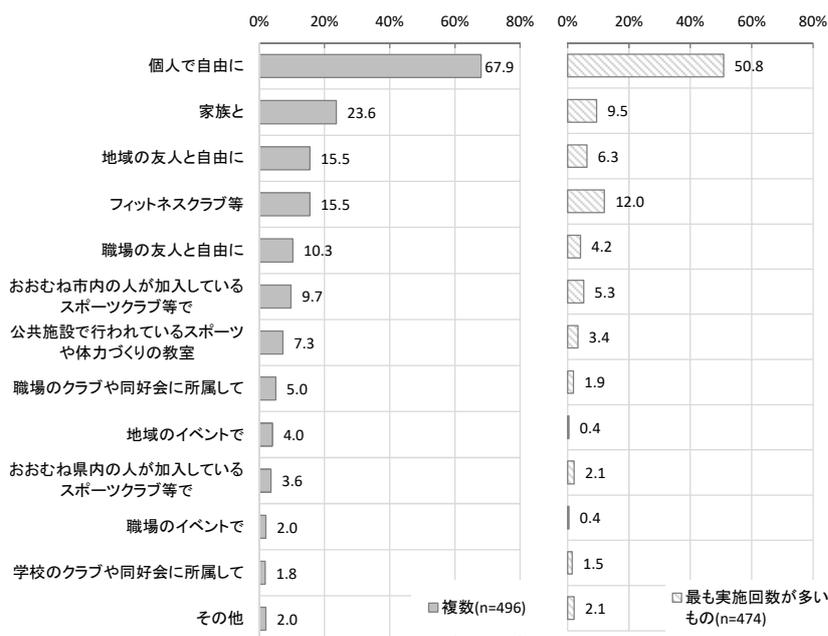
### ③ 運動・スポーツを実施した形式

- 運動・スポーツを実施した形式は、「個人で自由に」が67.9%であり突出しています。最も実施回数が多いものも同様です。
- 上記形式で取り組む理由としては、「通いやすい」が35.5%であり最も高く、次いで「時間」が24.8%、「利用料・活動費等が安い」が22.3%となっています。

図表 35 運動・スポーツを実施した形式（複数）（最も実施回数が多いもの）

問17 この1年間に、運動・スポーツをどのように実施しましたか。（あてはまる番号すべてに○）

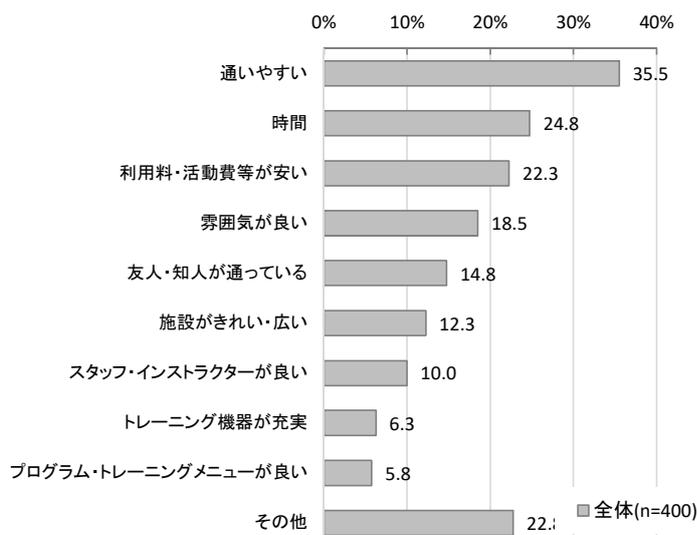
（最も実施回数が多い番号を記入）



その他記述内容	度数(件)
自宅	3
自分でアプリを使って	1
中学校部活動指導	1
合計	5

図表 36 上記形式を選択する理由（単一）

問18 問17の最も実施回数が多かった番号で運動・スポーツに取り組む理由を教えてください。（あてはまる番号すべてに○）



その他記述内容	度数(件)
自分のペースでできるから	17
自宅できるから	13
取り組みやすいから	7
家族と一緒にいるから	6
場所に縛られないから	6
お金がかからないから	3
計	52

➤ 実施した形式として最も割合が高かった「個人で自由に」の理由としては、「時間」が26.4%、「通しやすい」が25.1%、「利用料・活動費等が安い」が16.5%となっています。

図表 37 運動・スポーツを実施した形式ごとの理由（クロス集計）

		通 い や す い	活 動 料 費 等 が 安 い	時 間	施 設 が き れ い ・ 広 い	充 実 し た ト レ ー ニ ン グ 機 器 が	通 友 人 ・ 知 人 が つ つ て い る	良 い イ ン ス タ フ ・ ス ト ラ ク タ ー が	雰 囲 気 が 良 い	メ ト ド ・ プ ロ グ ラ ム ・ ユ ー ザ が 良 い	そ の 他
個人で自由に	(n=303)	25.1%	16.5%	26.4%	5.6%	2.3%	3.6%	3.6%	8.9%	1.3%	36.0%
家族と	(n=64)	25.0%	31.3%	17.2%	15.6%	3.1%	3.1%	1.6%	17.2%	0.0%	37.5%
フィットネスクラブ等の民間の会員性 スポーツクラブで	(n=94)	66.0%	17.0%	35.1%	25.5%	31.9%	7.4%	29.8%	24.5%	27.7%	1.1%
地域の友人と自由に	(n=45)	37.8%	22.2%	11.1%	11.1%	4.4%	51.1%	2.2%	20.0%	0.0%	8.9%
おおむね市内の人が加入しているク ラブや同好会に所属して	(n=34)	47.1%	47.1%	11.8%	14.7%	0.0%	38.2%	20.6%	26.5%	8.8%	14.7%
公共施設で行なわれているスポーツ や体カづくりの教室で	(n=33)	51.5%	69.7%	18.2%	15.2%	3.0%	24.2%	33.3%	33.3%	9.1%	0.0%
職場の友人と自由に	(n=22)	27.3%	9.1%	4.5%	27.3%	9.1%	36.4%	0.0%	36.4%	0.0%	4.5%
職場のクラブや同好会に所属して	(n=14)	21.4%	28.6%	14.3%	21.4%	0.0%	50.0%	0.0%	21.4%	0.0%	14.3%
おおむね県内の人が加入しているク ラブや同好会に所属して	(n=11)	27.3%	36.4%	18.2%	27.3%	0.0%	54.5%	18.2%	54.5%	9.1%	0.0%
学校のクラブや同好会に所属して	(n=9)	55.6%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%
地域のイベントで	(n=7)	71.4%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%
職場のイベントで	(n=6)	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	50.0%
その他	(n=11)	9.1%	9.1%	36.4%	0.0%	9.1%	18.2%	18.2%	9.1%	0.0%	45.5%
全体	(n=653)	34.8%	22.8%	22.7%	12.3%	6.9%	13.8%	9.6%	16.7%	5.7%	24.0%

50.0%以上

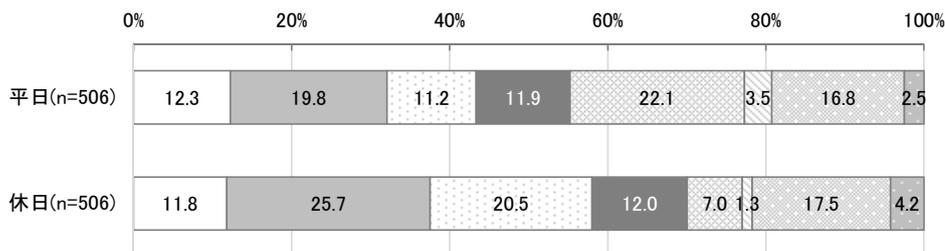
#### ④ 運動・スポーツを主に実施する時間帯

- 運動・スポーツを主に実施する時間帯は、平日では「夜間」が22.1%であり最も高く、次いで「午前」が19.8%です。
- 休日では、「午前」が25.7%であり最も高く、次いで「昼間」が20.5%です。

図表 38 運動・スポーツを主に実施する時間帯（単一）

問19 あなたは、運動・スポーツを主にいつ実施しますか。（平日・休日それぞれひとつに○）

- 早朝(9:00頃より前)
- 午前(9:00～12:00時頃)
- 昼間(12:00～15:00時頃)
- 夕方(15:00～18:00時頃)
- 夜間(18:00～21:00時頃)
- 深夜(21:00時頃より後)
- 平日/休日は実施しない
- その他



[平日]

[休日]

その他記述内容	度数(件)
時間は決まっていない	9
9:00～15:00	3
9:00～16:00	2
8:00～16:00	1
合計	15

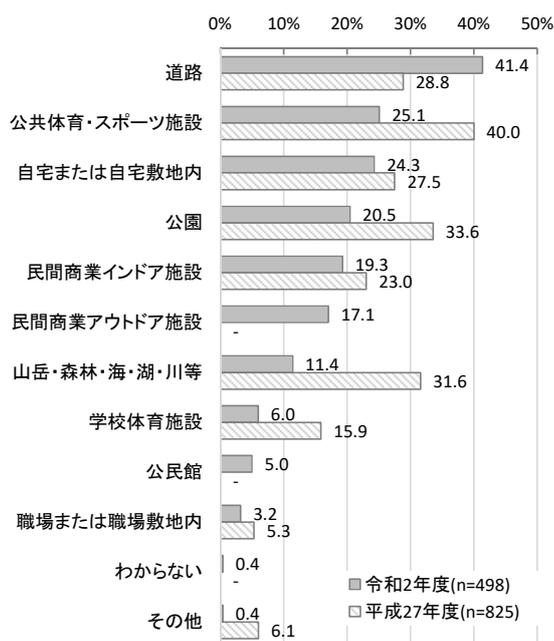
その他記述内容	度数(件)
時間は決まっていない	12
9:00～15:00	7
終日	5
9:00～18:00	1
9:00～16:00	1
合計	26

## ⑤ 運動・スポーツを実施する場所

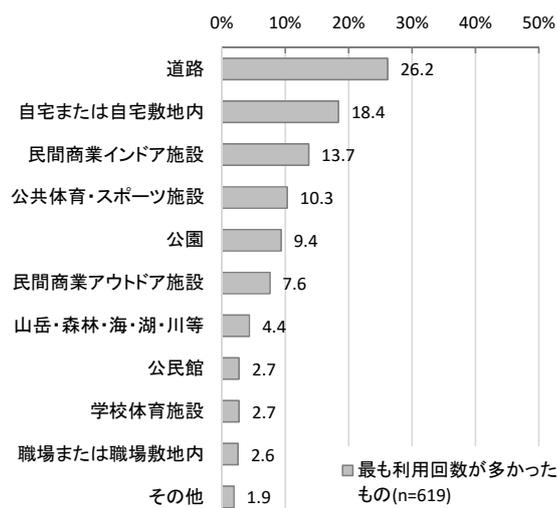
- 運動・スポーツを実施する場所は、「道路」が41.4%であり最も高く、次いで「公共体育・スポーツ施設」が25.1%、「自宅または自宅敷地内」が24.3%です。
- 過年度と比較すると、「道路」が12.6ポイント上昇しています。「公共体育・スポーツ施設」、「公園」、「山岳・森林・海・湖・川等」は10.0ポイント以上低下しています。
- 最も利用回数が多かったものは「道路」が26.2%であり最も高く、次いで「自宅または自宅敷地内」が18.4%、「民間商業インドア施設」が13.7%となっています。

図表 39 運動・スポーツを実施する場所（複数）（過年度との比較）

問20 あなたが運動・スポーツをするのはどのような場所ですか。（あてはまる番号すべてに○）



図表 40 運動・スポーツを実施する場所（最も利用回数が多かったもの）



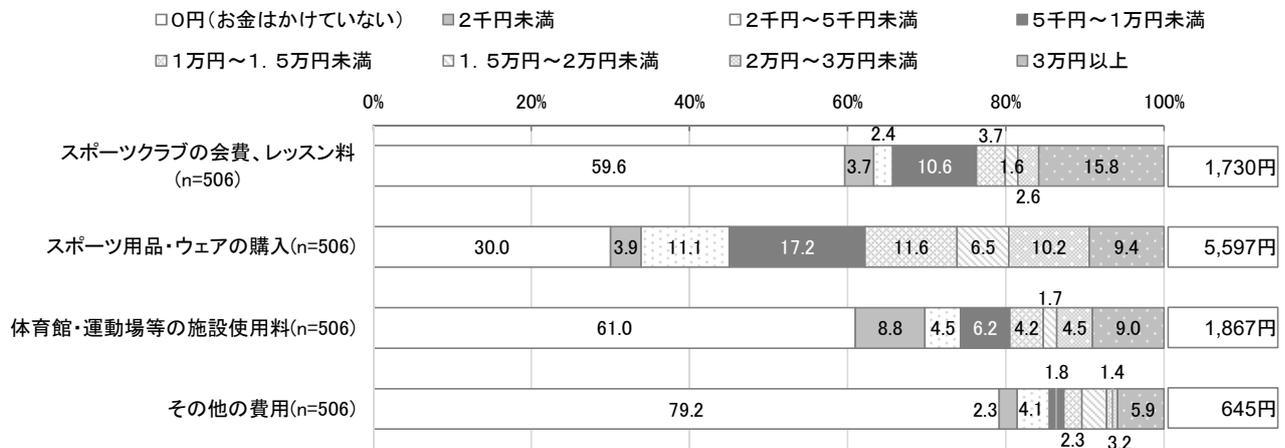
## ⑥ コロナ禍以前の1年間に運動・スポーツにかけた費用

- コロナ禍以前の1年間に運動・スポーツにかけた費用は、各項目で「0円（お金はかけていない）」の割合が高くなっています。
- 回答者1人あたりの平均金額は、「スポーツ用品・ウェアの購入」が5,597円であり最も高く、次いで、「体育館・運動場等の施設使用料」が1,867円、「スポーツクラブの会費、レッスン料」が1,730円となっています。

図表 41 コロナ禍以前の1年間に運動・スポーツにかけた費用（単一）

問21 あなたは運動・スポーツのために、コロナ禍以前の1年間、いくら程度費用をかけましたか（飲料・サプリメント代等は含みません）。（それぞれひとつに○）

※ 図表内の金額は回答者1人あたりの平均値（回答者ごとの各選択肢の中間点（2千円～5千円未満の場合は3,500円、3万円以上は記入された項目とする）を合算し、回答者数で割った数値）です。

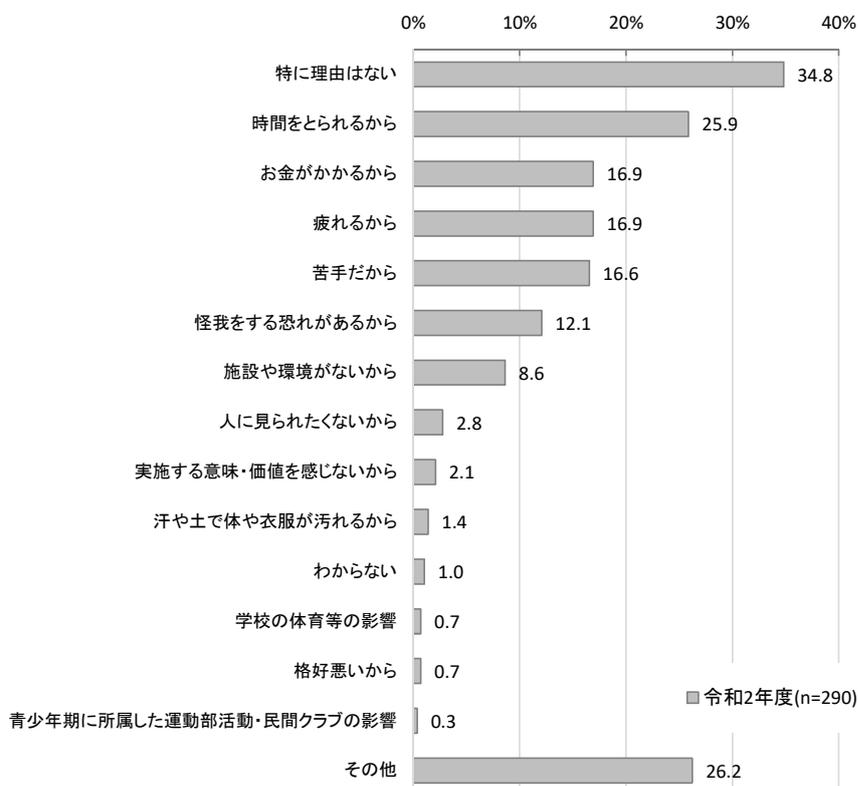


## ⑦ この1年間に運動・スポーツをしなかった理由

➤ この1年間に運動・スポーツをしなかった理由は「特に理由はない」が34.8%であり最も高く、次いで「時間をとられるから」が25.9%となっています。

図表 42 この1年間に運動・スポーツをしなかった理由（複数）

問2-2 この1年間に、運動・スポーツをしなかったのはどのような理由からですか。（あてはまる番号すべてに○）



その他の記述内容	度数(件)	その他の記述内容	度数(件)
身体的理由	28	時間がとれないから	12
足が不自由なため	6	時間がとれないから	8
手術を行ったから	4	時間がなく優先的でなかったため	2
ひざが悪いから	2	ひまがないから	1
心臓が悪いから	2	仕事と子育てでその時間がないから	1
体調がよくないため	2	仕事のため	12
病気のため	2	仕事で忙しいから	8
持病があるから	2	仕事で体が疲れているから	2
痛みで身体を動かすのが辛いから	1	休みがとれないから	1
筋力は落としたいくないが、自分に合った体力を考えると、足が向かない。	1	休みがなく、時間がなかった	1
足や腰が悪いから	1	子育てのため	9
身体が思うように動かないから	1	介護のため	4
病身だから	1	仲間がいないから	2
身体の都合で	1	実施する機会がないから	2
障害があるから	1	運動が好きではないため	1
年齢の問題	1	計	70

### 3. 「支える」スポーツについて

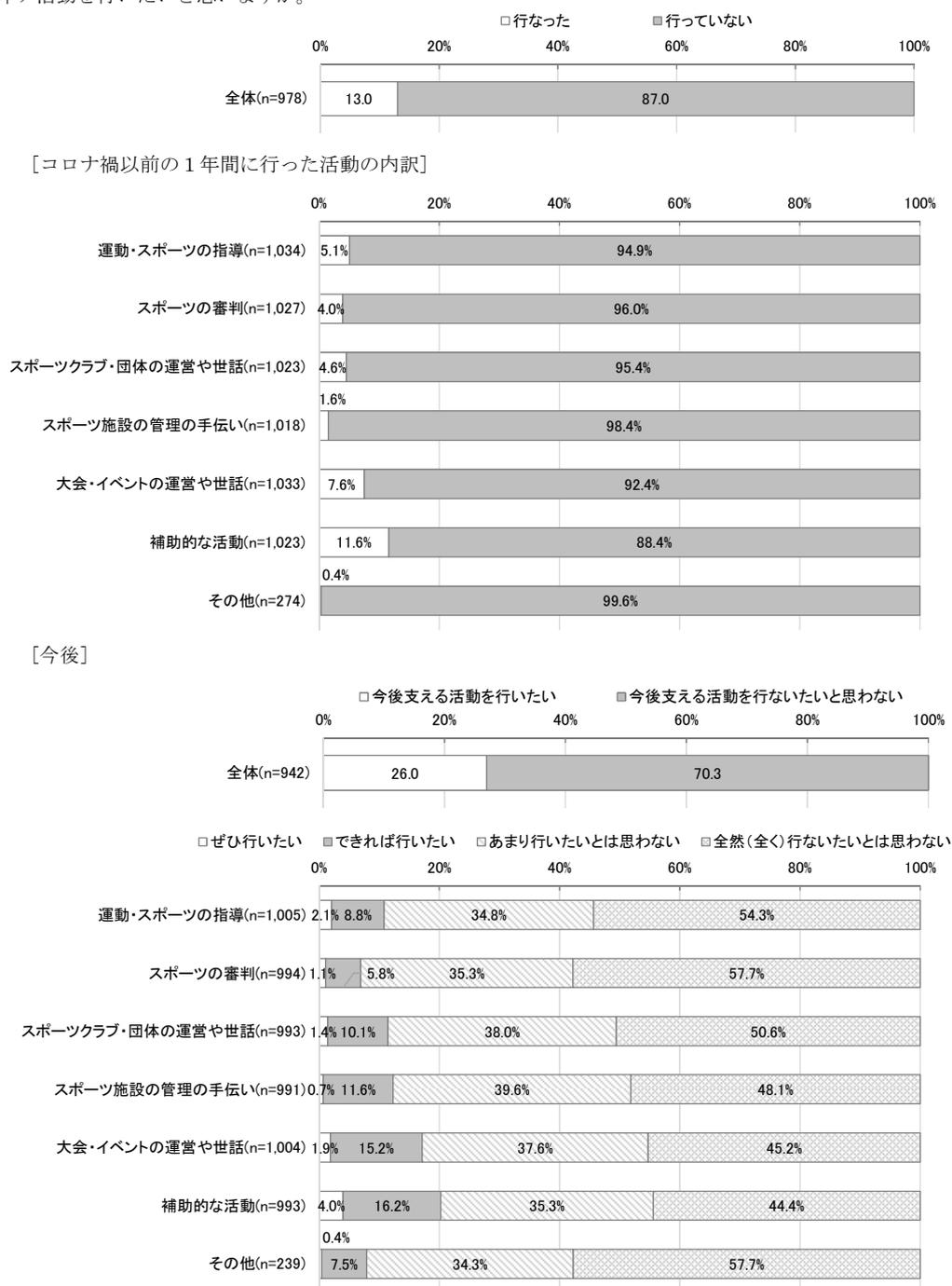
#### (1) 「支える」スポーツの活動状況

##### ① 活動状況

- ▶ スポーツを支える活動の状況はコロナ禍以前の1年間に何らかの活動を「行なった」は13.0%となっています。内訳としては、「補助的な活動」が11.6%であり最も高くなっています。
- ▶ 今後何らかの活動を「行いたい」は26.0%となっています。内訳としては、「補助的な活動」が20.2%であり最も高くなっています。

図表 43 スポーツを支える活動の状況・今後の意向（単一）

問29 あなたは、①コロナ禍以前の1年間に、運動・スポーツに関するボランティア活動（スポーツの指導やスポーツ大会の運営、自身やお子さんが所属するスポーツクラブの手伝い等）を1回以上行いましたか。②今後あなたはスポーツに関するボランティア活動を行いたいと思いますか。

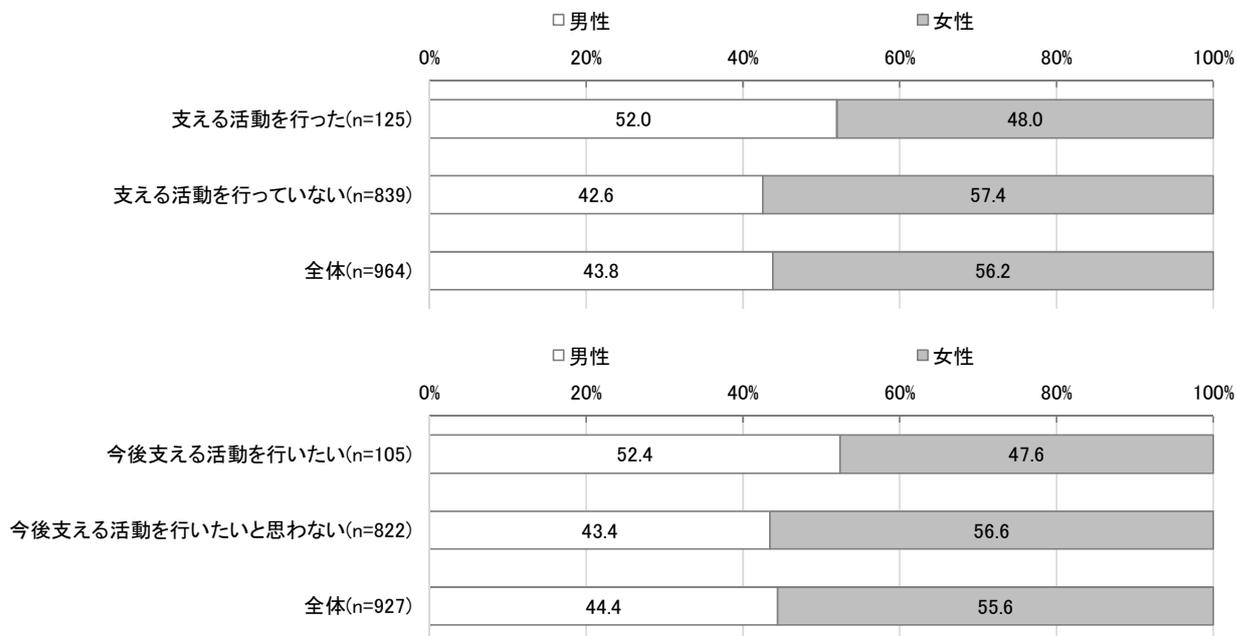


## ②属性ごとの活動状況

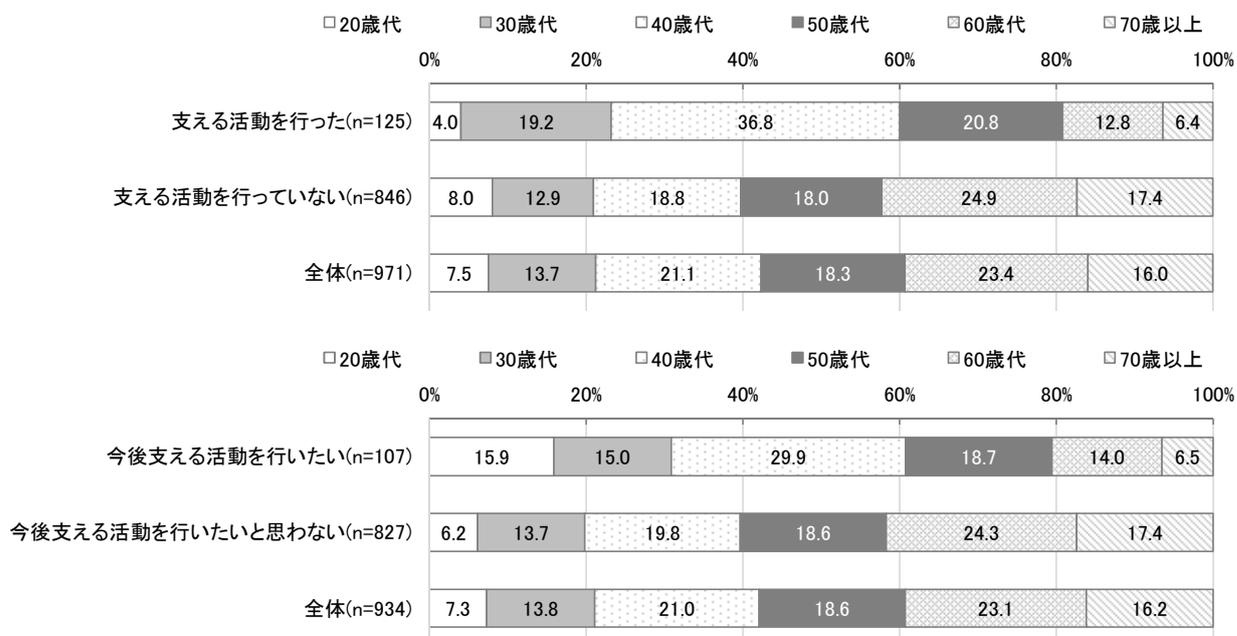
※コロナ禍以前の1年間の参加状況で1つでも行ったと回答した者を「支える活動を行った」として集計した。

※活動状況の6項目中3項目以上で今後「ぜひ行いたい」または「できれば行いたい」と回答した者を「今後支える活動を行いたい」として集計した。

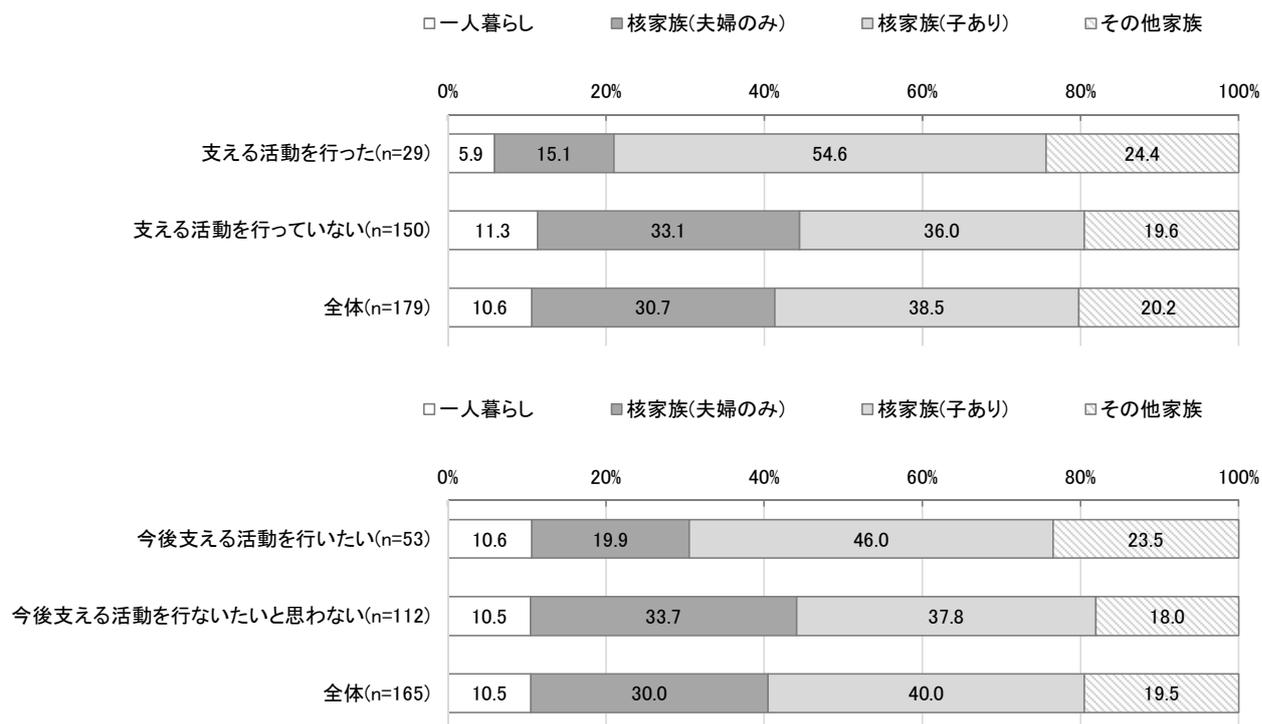
図表 44 スポーツを支える活動状況・今後の意向（性別とのクロス集計）



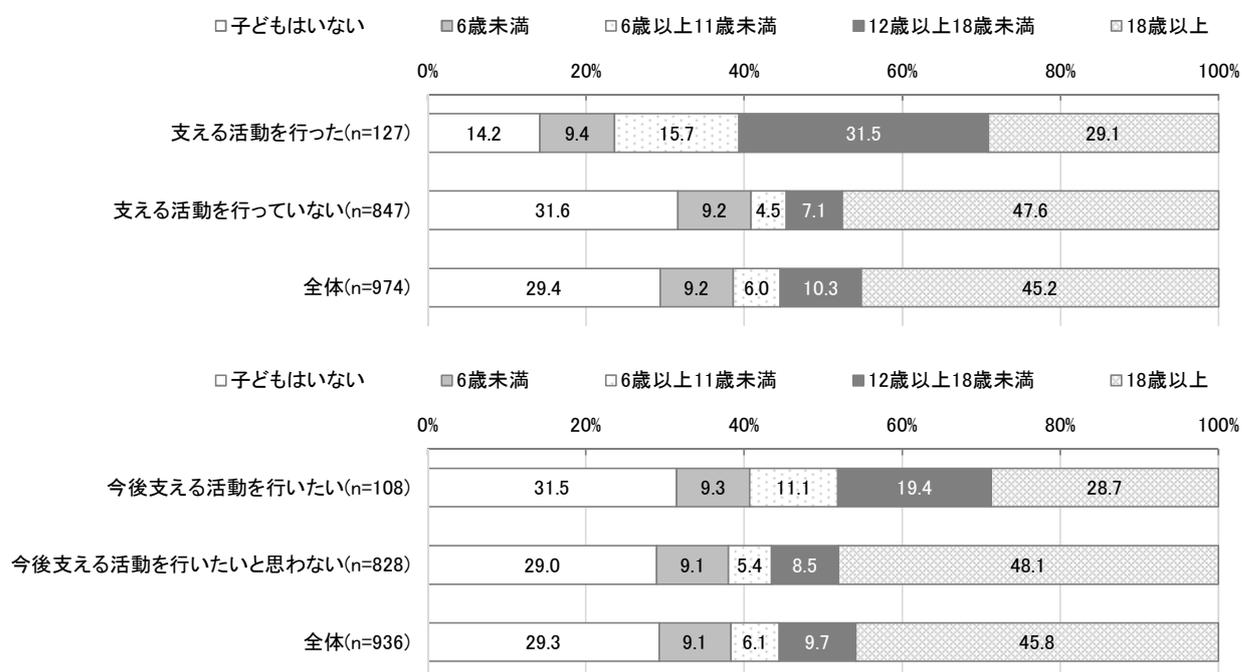
図表 45 スポーツを支える活動状況・今後の意向（年代とのクロス集計）



図表 46 スポーツを支える活動状況・今後の意向（家族構成とのクロス集計）



図表 47 スポーツを支える活動状況・今後の意向（子ども有無とのクロス集計）



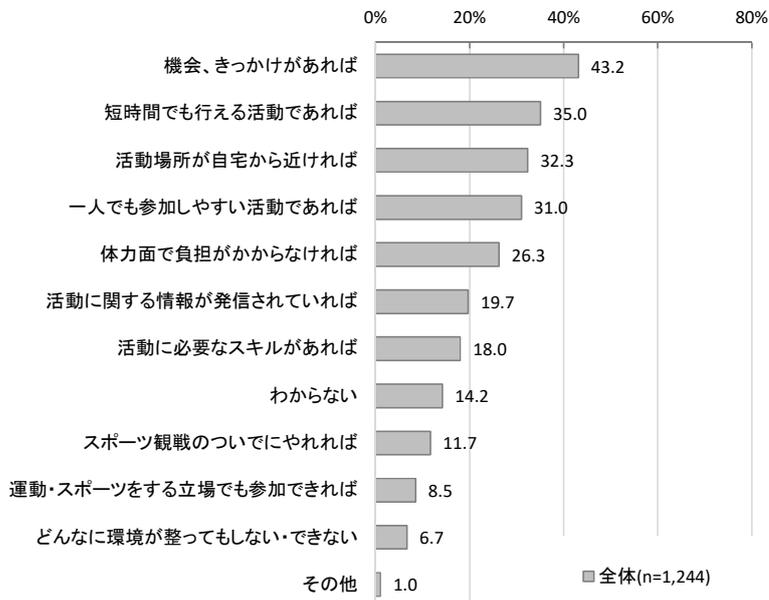
## (2) 「支える」スポーツ活動を促進するための取り組み等

### ① スポーツを支える活動を促進するための取り組み・きっかけ

- ▶ スポーツを支える活動を促進するための取り組みは、「機会・きっかけがあれば」が45.3%であり最も高く、次いで「短時間でも行える活動があれば」が38.7%、「活動場所が自宅から近ければ」が33.4%です。
- ▶ 支える活動を行っていないが、今後行いたいとする回答者では、「機会、きっかけがあれば」が67.1%となっています。

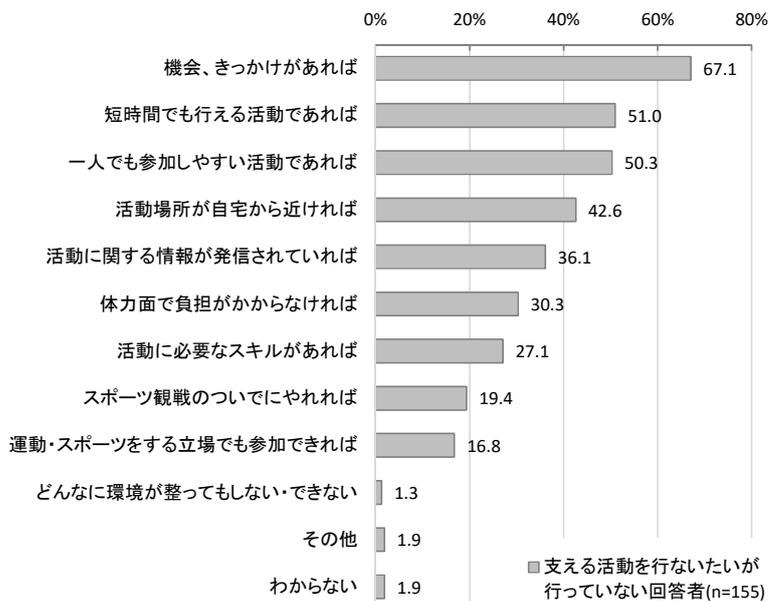
図表 48 スポーツを支える活動を促進するための取り組み（複数）

問30 あなたは、どのような環境を整えば、運動・スポーツに関するボランティア活動を行えたり、活動する人が増えたりすると思いますか。（あてはまる番号すべてに○）



図表 49 スポーツを支える活動を促進するための取り組み

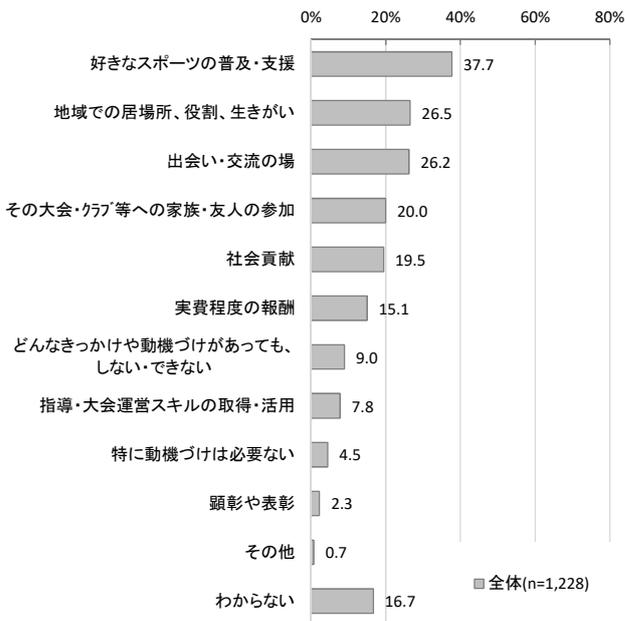
（複数）（支える活動を行っていないが、今後行いたいとする回答者）



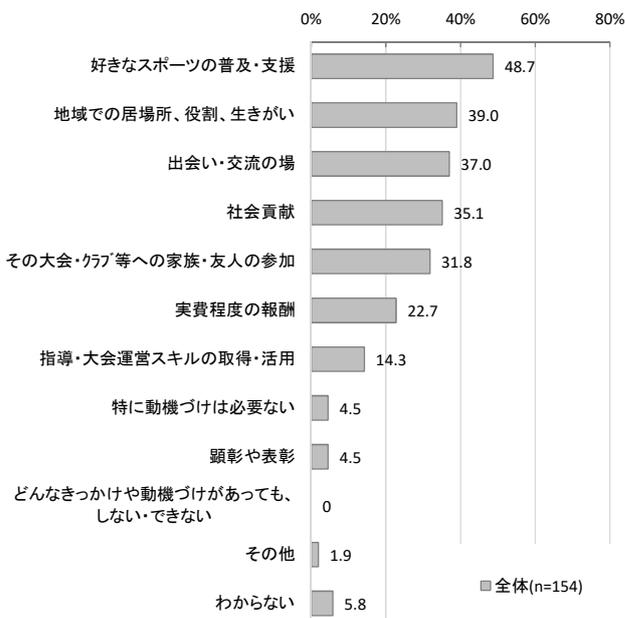
- ▶ スポーツを支える活動を促進するためのきっかけや動機付けは「好きなスポーツの普及・支援」が40.1%であり最も高く、次いで「地域での居場所、役割、生きがい」が27.4%、「出会い・交流の場」が26.9%です。
- ▶ 支える活動を行っていないが、今後行いたいとする回答者では、「好きなスポーツの普及、支援」が48.7%となっています。

図表 50 スポーツを支える活動を促進するためのきっかけや動機付け（複数）

問3 1 どんなきっかけや動機づけ(モチベーション)があれば、スポーツに関するボランティア活動を行ったり続けたりすると思いませんか。(あてはまる番号すべてに○)



図表 51 スポーツを支える活動を促進するためのきっかけや動機付け（複数）（支える活動を行っていないが、今後行いたいとする回答者）



## 4. 「障害者」スポーツについて

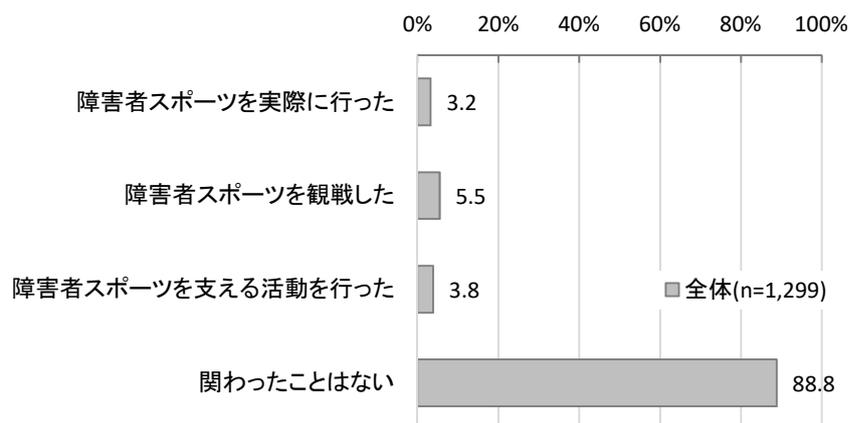
### (1) 「障害者」スポーツの実施状況

#### ① 障害者スポーツへの関わりの有無

➤ 障害者スポーツへの関わりの有無は、「関わったことはない」が 88.8%です。

図表 52 障害者スポーツへの関わりの有無（単一）

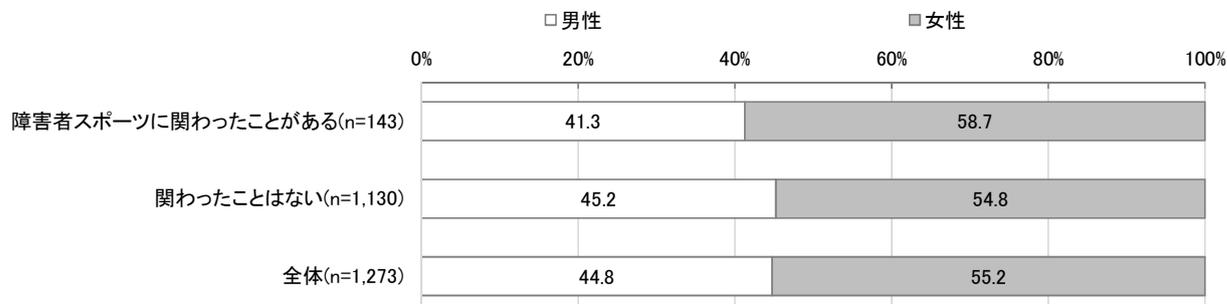
問 27 あなたは障害者スポーツに関わったことがありますか。（あてはまる番号すべてに○）



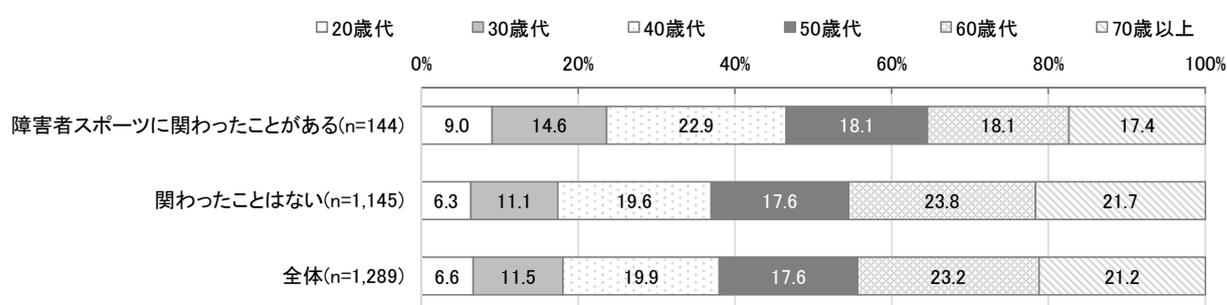
## ②属性ごとの実施状況

※「障害者スポーツを実際に行った」「障害者スポーツを観戦した」「障害者スポーツを支える活動を行った」のいずれかに回答した者を「障害者スポーツに関わったことがある」として集計した。

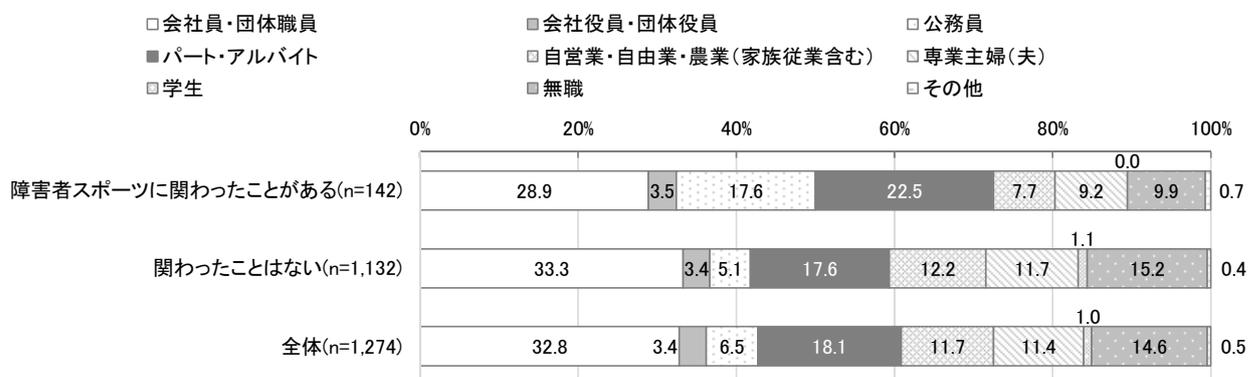
図表 53 障害者スポーツへの関わりの有無（性別とのクロス集計）



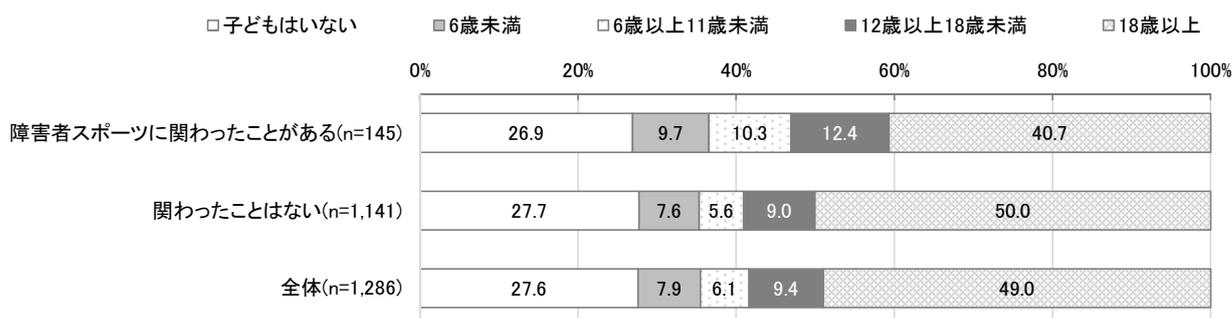
図表 54 障害者スポーツへの関わりの有無（年代とのクロス集計）



図表 55 障害者スポーツへの関わりの有無（就業・就学状況とのクロス集計）



図表 56 障害者スポーツへの関わりの有無（子どもの有無とのクロス集計）



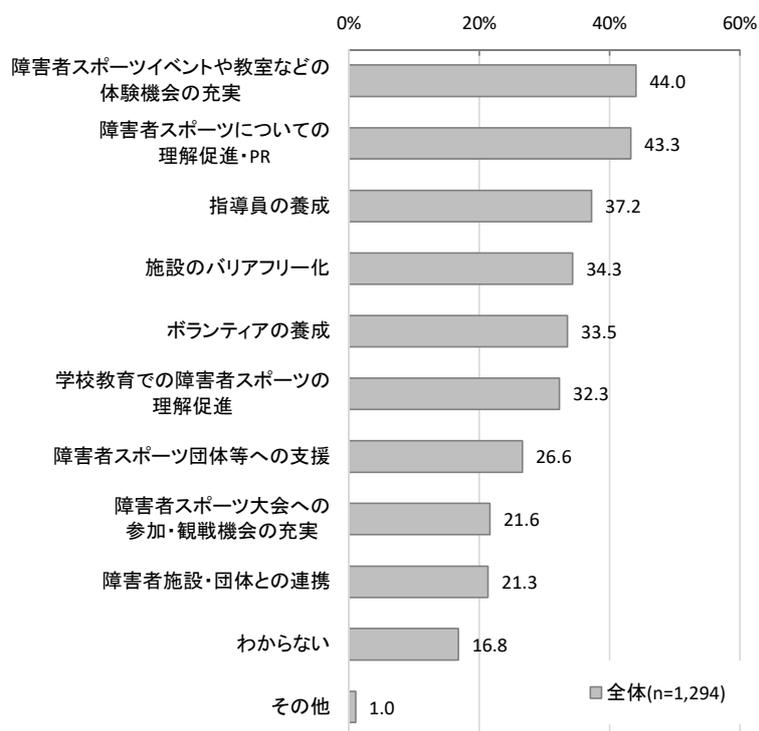
## (2) 「障害者」スポーツ活動を促進するための取り組み等

### ① 障がいのある人でもスポーツを実施しやすくするために必要だと思う取り組み

- 障がいのある人でもスポーツを実施しやすくするために必要だと思う取り組みは、「障害者スポーツイベントや教室などの体験機会の充実」が44.0%であり最も高く、次いで「障害者スポーツについての理解促進・PR」が43.3%、「指導員の養成」が37.2%です。

図表 57 障がいのある人でもスポーツを実施しやすくするために必要だと思う取り組み（複数）

問28 あなたは、長野市において、障がいのある人でもスポーツや運動を実施しやすい環境をつくるためにはどのような取り組みが必要と思いますか。（あてはまる番号すべてに○）



## 5. 運動・スポーツの基盤について

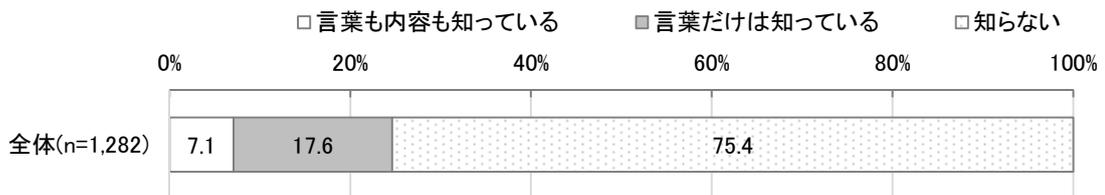
### (1) 総合型地域スポーツクラブの状況

#### ① 総合型地域スポーツクラブの認知度

➤ 総合型地域スポーツクラブの認知度は「知らない」が75.4%です。次いで、「言葉だけは知っている」が17.6%、「言葉も内容も知っている」が7.1%です。

図表 58 総合型地域スポーツクラブの認知度（単一）

問23 あなたは、総合型地域スポーツクラブを知っていますか。（○はひとつ）

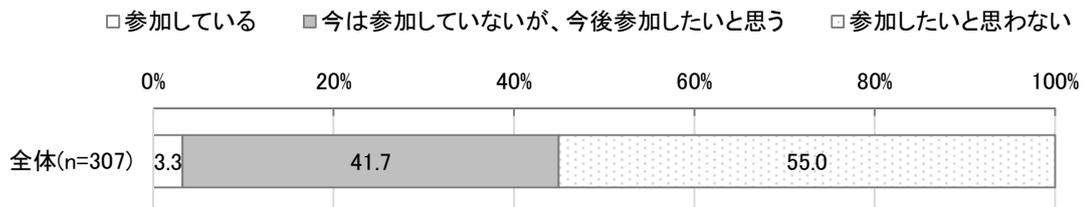


#### ② 総合型地域スポーツクラブへの参加意向

➤ 総合型地域スポーツクラブへの参加意向は、「参加したいと思わない」が55.0%です。次いで、「今は参加していないが、今後参加したいと思う」が41.7%、「参加している」が3.3%です。

図表 59 総合型地域スポーツクラブへの参加意向（単一）

問24 あなたは、総合型地域スポーツクラブに参加したいと思いますか。（○はひとつ）

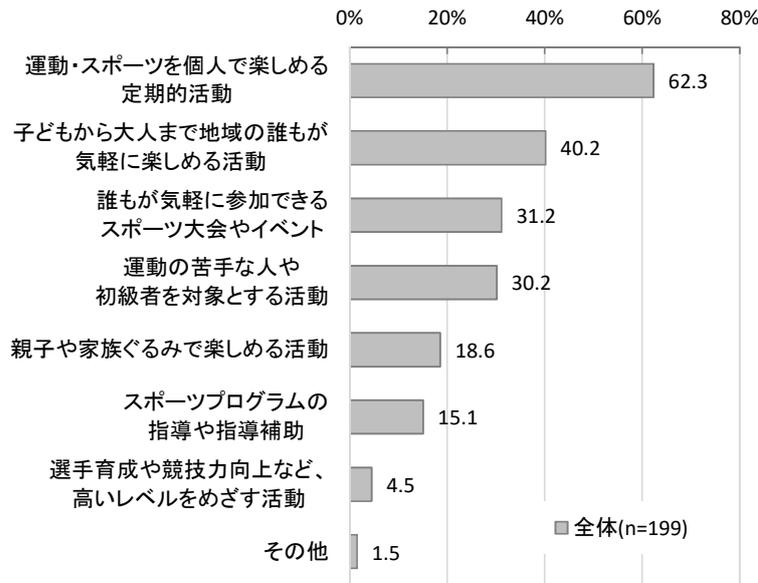


### ③ 参加したい総合型地域スポーツクラブの種類

- ▶ 参加したい総合型地域スポーツクラブの種類は「運動・スポーツを個人で楽しめる定期的活動」が62.3%であり最も高く、次いで「子どもから大人まで地域の誰もが気軽に楽しめる活動」が40.2%、「誰もが気軽に参加できるスポーツ大会やイベント」が31.2%、「運動の苦手な人や初級者を対象とする活動」が30.2%です。

図表 60 参加したい総合型地域スポーツクラブの種類（複数）

問25 あなたは、どのような総合型地域スポーツクラブに参加したいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）



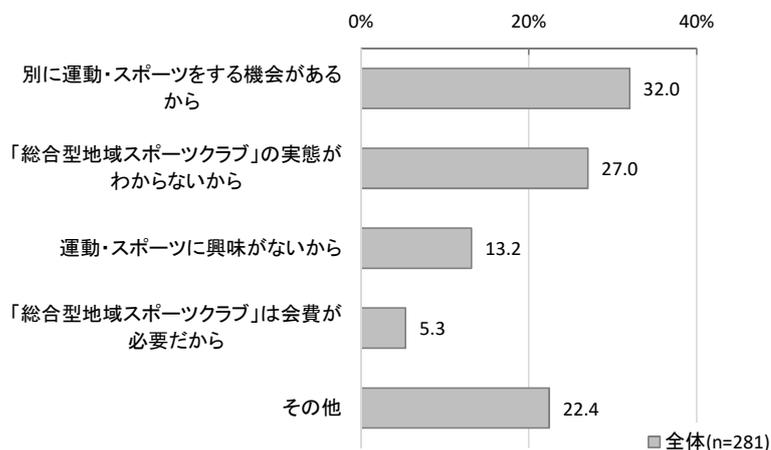
その他記述内容	度数(件)
幼児から学童も参加できるものがあれば参加したいです。	1
競技による。できるスポーツで行いたい。	1
60歳以上の方でも高齢者でも参加できる(脳トレ含む)軽いスポーツ	1
計	3

#### ④ 総合型地域スポーツクラブに参加したいと思わなかった理由

➤ 総合型地域スポーツクラブに参加したいと思わなかった理由は、「別に運動・スポーツをする機会があるから」が32.0%であり最も高く、次いで『総合型地域スポーツクラブ』の実態がわからないから」が27.0%、「運動・スポーツに興味がないから」が13.2%です。

図表 61 総合型地域スポーツクラブに参加したいと思わなかった理由（単一）

問 2 6 総合型地域スポーツクラブに参加したいと思わなかったのはどのような理由からですか。（○はひとつ）



その他記述内容	度数(件)
身体の不調のため	14
時間がないから	14
高齢のため	11
人間関係が煩わしいから	7
家から遠いから	6
他の手段があるから	3
自由に運動したいから	2
金銭的な理由	1
計	58

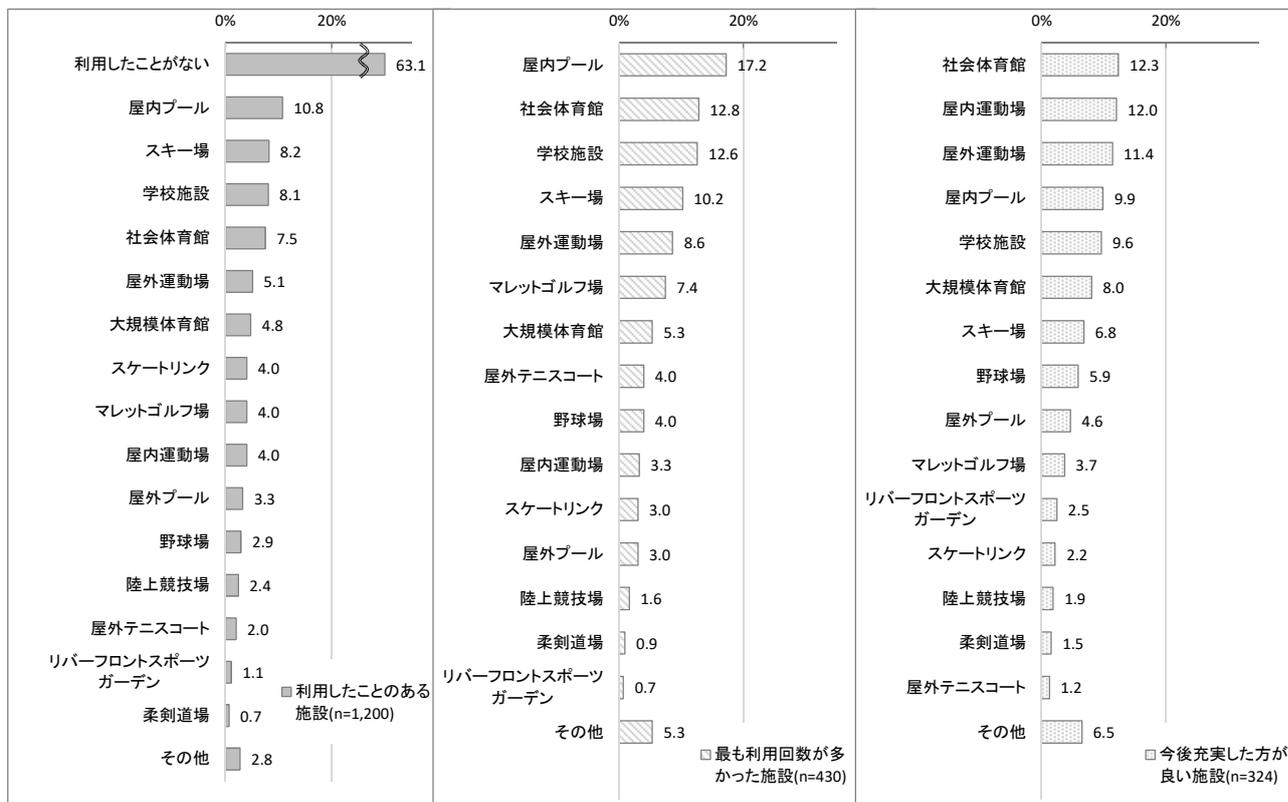
## (2) スポーツ施設の利用状況

### ① スポーツ施設の利用状況

- スポーツ施設の利用状況は、利用したことのある施設では「利用したことがない」が63.1%であり最も高く、次いで「屋内プール」が10.8%、「スキー場」が8.2%です。
- 最も利用回数が多かった施設では、「屋内プール」が17.2%、「社会体育館」が12.8%、「スキー場」が10.2%です。
- 今後充実した方が良いと思う施設では、「社会体育館」が12.3%であり最も高く、次いで「屋内運動場」が12.0%、「屋外運動場」が11.4%です。
- どの項目でも各地域のスポーツ拠点である「社会体育館、学校施設」が高くなっています。

図表 62 スポーツの施設の利用状況（実施したスポーツごとのクロス集計）

問46 次のうち、この1年間であなたがスポーツや運動を行うために利用したことのある市内の公共スポーツ施設はありますか。（あてはまる番号すべてに○）



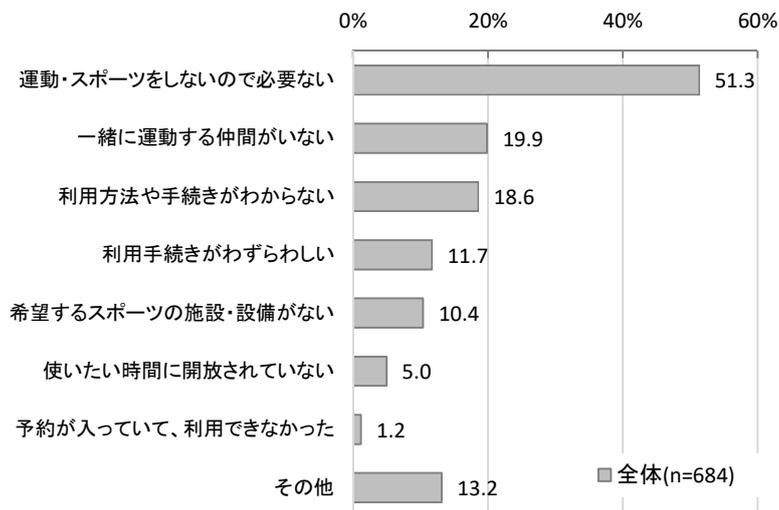
その他記述内容	度数(件)
公民館	10
公園	5
ウォーキングロード	3
弓道場	2
ジム	2
サイクリングロード	1
ボウリング場	1
ヨガ施設	1
河川敷	1
河川敷のランニングコース	1
計	27

## ② スポーツ施設を利用したことがない理由

▶ スポーツ施設を利用したことがない理由は、「運動・スポーツをしないので必要ない」が 51.3% であり最も高く、次いで「一緒に運動する仲間がいない」が 19.9%、「利用方法や手続きがわからない」が 18.6%です。

図表 63 スポーツ施設を利用したことがない理由

問 4 7 公共スポーツ施設を利用したことがない理由は何ですか。(あてはまる番号 3 つまでに○)



その他記述内容	度数(件)
利用する必要のない種目だから	36
公共スポーツ施設を利用する必要がないから	33
スポーツ施設を利用しての運動はしない	1
公民館で十分だった(ヨガ)	1
ウォーキングは施設を利用する必要がないため	1
コロナの感染予防のため	12
民間施設を利用している	5
自宅から遠いから	3
入場料が高い	2
交通が不便	2
情報が少ないから	2
計	62

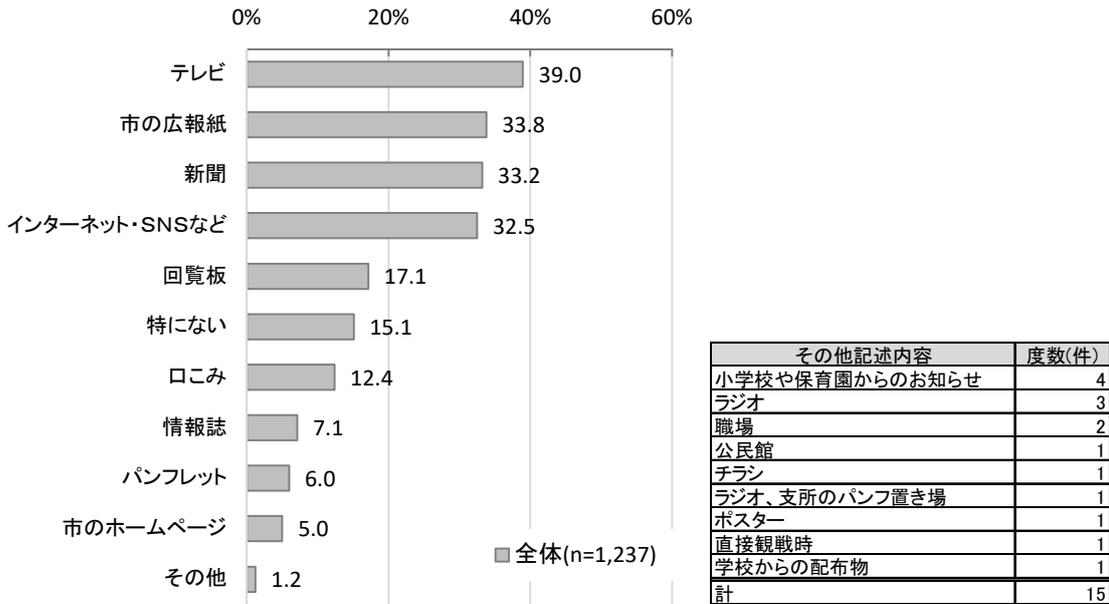
### (3) 運動・スポーツ情報の入手について

#### ① 運動・スポーツ情報の入手先

➤ 運動・スポーツ情報の入手先は、「テレビ」が最も高く 39.0%であり、次いで「市の広報誌」が 33.8%、「新聞」が 33.2%です。

図表 64 運動・スポーツ情報の入手先（複数）

問 48 あなたは、運動・スポーツに関する情報をどこから入手していますか。（あてはまる番号すべてに○）

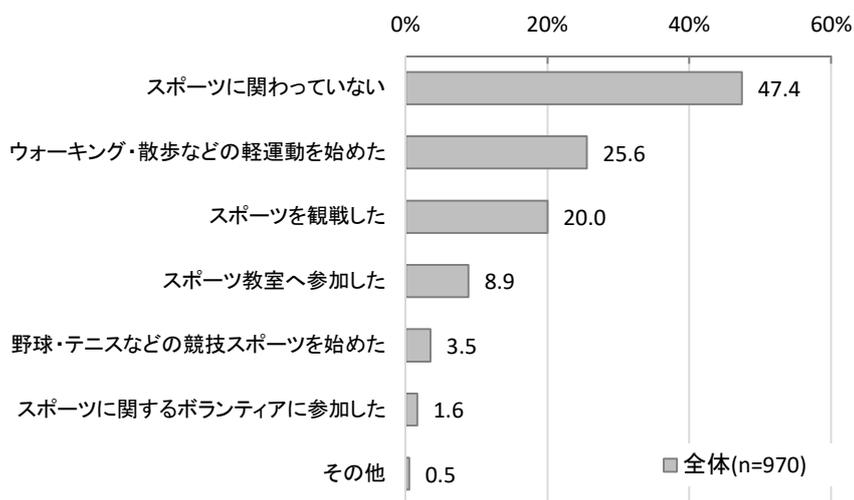


## ② 運動・スポーツ情報をきっかけとしたスポーツとの関わり

- 運動・スポーツ情報をきっかけとしたスポーツとの関わりは、「スポーツに関わっていない」が47.4%であり最も高く、次いで「ウォーキング・散歩などの軽運動を始めた」が25.6%、「スポーツを観戦した」が20.0%です。

図表 65 運動・スポーツ情報をきっかけとしたスポーツとの関わり（複数）

問49 入手したスポーツ情報をきっかけに何かスポーツに関わりましたか。（あてはまる番号すべてに○）



## 6. 「観る」スポーツについて

### (1) スポーツの観戦について

#### ① スポーツの観戦状況

- ▶ スポーツの観戦状況は、直接観戦では、「観戦しなかった」が48.9%であり最も高く、次いで「サッカーJリーグ・なでしこリーグ」が16.4%、「その他野球」が9.0%、「バスケットボール」が8.7%です。
- ▶ テレビやネットでは、「マラソン、駅伝」が64.0%であり最も高く、「フィギュアスケート」が56.3%、「大相撲」が54.1%です。
- ▶ 最も熱心に観戦したでは、「マラソン、駅伝」が14.7%であり最も高く、次いで「大相撲」が14.2%、「フィギュアスケート」が13.3%です。
- ▶ 今後競技場で観戦したいでは、「フィギュアスケート」が29.6%であり最も高く、次いで「プロ野球」が27.0%、「大相撲」が25.9%です。

図表 66 スポーツの観戦状況

問32 あなたが、この1年間に①直接観戦した、②テレビやネットで観戦した、③最も熱心に観戦したスポーツを教えてください。また、④今後、競技場で観戦したいと思うスポーツはありますか。観戦種目ごとに回答してください。

	観戦方法(この1年間)						今後、競技場で観戦したい(複数)	
	直接観戦した(複数)		テレビやネット(複数)		最も熱心に観戦した(単一)			
	(n=446)	割合	(n=1,182)	割合	(n=889)	割合	(n=953)	割合
1	観戦しなかった	48.9%	マラソン、駅伝	64.0%	マラソン、駅伝	14.7%	フィギュアスケート	29.6%
2	サッカーJリーグ・なでしこリーグ	16.4%	フィギュアスケート	56.3%	大相撲	14.2%	プロ野球	27.0%
3	その他野球	9.0%	大相撲	54.1%	フィギュアスケート	13.3%	大相撲	25.9%
4	バスケットボール	8.7%	プロ野球	45.1%	観戦しなかった	12.7%	サッカーJリーグ・なでしこリーグ	19.7%
5	プロ野球	7.4%	その他野球	39.6%	プロ野球	11.7%	その他野球	18.0%
6	大相撲	6.7%	サッカーJリーグ・なでしこリーグ	29.2%	サッカーJリーグ・なでしこリーグ	7.5%	観戦しなかった	17.8%
7	フィギュアスケート	4.9%	その他サッカー	29.0%	ゴルフ	5.4%	バスケットボール	16.8%
8	マラソン、駅伝	4.0%	ゴルフ	28.4%	バスケットボール	3.4%	その他サッカー	12.0%
9	ゴルフ	2.9%	テニス	26.0%	その他野球	3.4%	マラソン、駅伝	11.3%
10	バレーボール	2.5%	ラグビー	22.3%	その他	3.0%	ラグビー	11.3%
11	ラグビー	2.2%	バレーボール	22.3%	ラグビー	2.9%	バレーボール	10.2%
12	その他	2.2%	陸上競技	19.0%	その他サッカー	2.6%	ゴルフ	7.8%
13	テニス	2.0%	バスケットボール	15.6%	テニス	2.4%	テニス	7.7%
14	フットサル	2.0%	観戦しなかった	8.8%	バレーボール	2.0%	陸上競技	5.0%
15	陸上競技	1.8%	その他	5.3%	陸上競技	0.8%	その他	5.7%
16	その他サッカー	1.8%	フットサル	3.2%	その他	0.0%	フットサル	2.2%

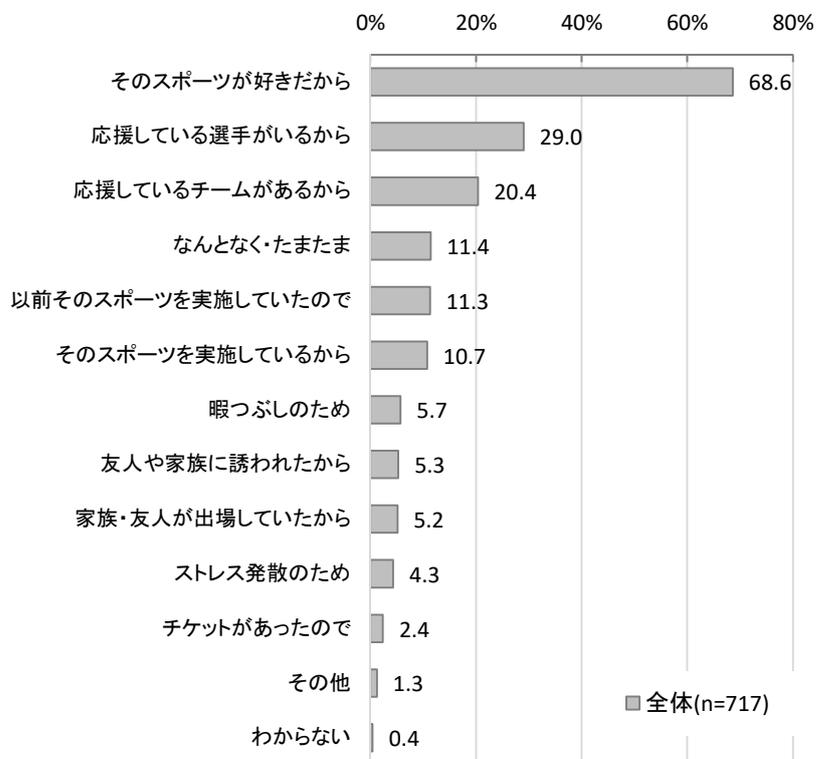
その他記述内容	度数(件)	その他記述内容	度数(件)
バドミントン	11	競馬	1
卓球	4	モータースポーツ	1
ボクシング	4	スノーボード	1
格闘技	4	オリンピック	1
水泳	3	合気道	1
サーフィン	3	スキー、スノーボード	1
アメリカンフットボール	3	ドッジボール	1
スキージャンプ	2	新体操	1
ダンス	2	プロレス	1
空手	2	チアダンス	1
剣道	2	自転車ロードレース	1
自転車競技	2	サイクルロードレース	1
カーレース	2	キックボクシング	1
ボウリング	2	カーリング	1
スキーモーグル	1	計	36

## ② スポーツ観戦の理由

▶ スポーツ観戦の理由は、「そのスポーツが好きだから」が 68.6%であり突出しています。

図表 67 スポーツ観戦の理由

問 3 3 あなたが最も熱心に観戦したスポーツを観たのはどのような理由からですか。(あてはまる番号すべてに○)



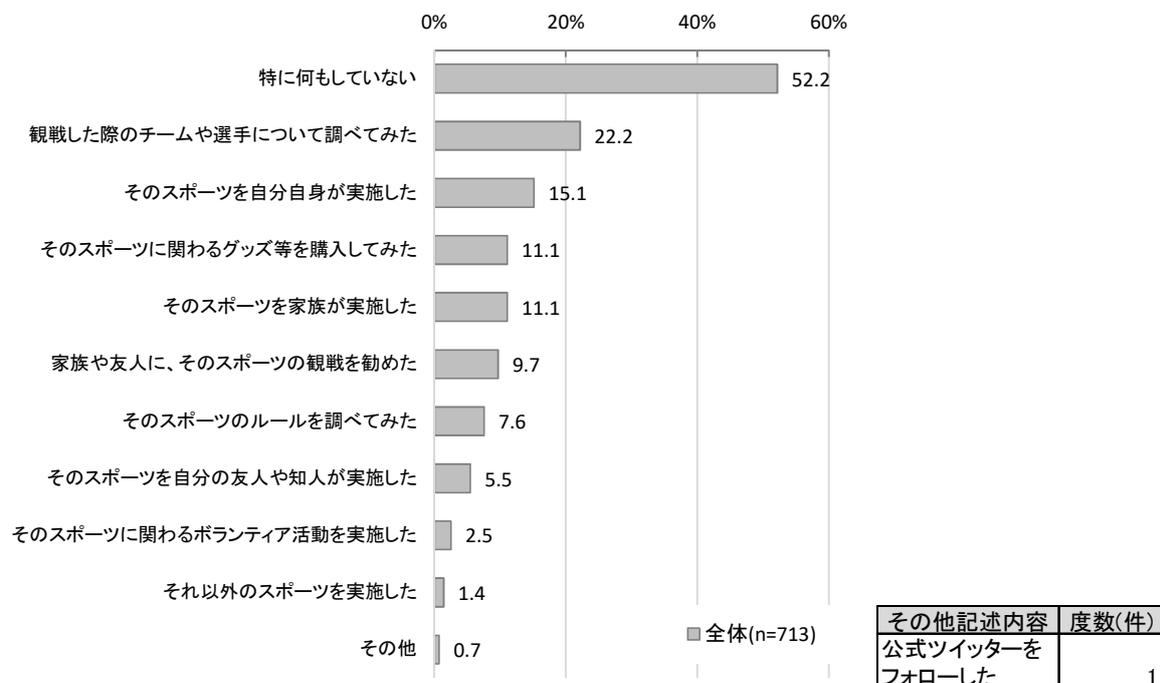
その他記述内容	度数(件)
子供がそのスポーツを実施しているので	4
例年観戦しているから	2
子供が好きだから	1
生で見るのは面白い、楽しい	1
審判をしているので	1
計	9

### ③ 観戦後のスポーツとの関わり

- 観戦後のスポーツとの関わりは、「特に何もしていない」が 52.2%であり最も高くなっています。
- 一方で「そのスポーツを自分自身が実施した」、「そのスポーツに関わるボランティア活動を実施した」との回答も一定数みられます。

図表 68 観戦後のスポーツとの関わり

問34 あなたが最も熱心に観戦したスポーツについて、その後どのような関わりを持ちましたか。  
(あてはまる番号すべてに○)



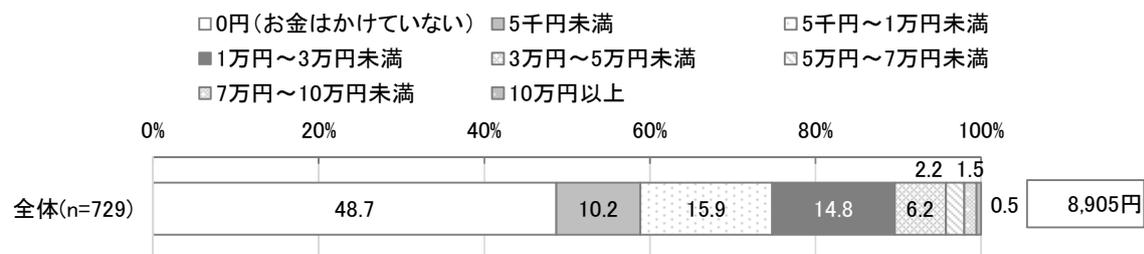
### ④ スポーツを直接観戦するための年間費用

- スポーツを直接観戦するための年間費用は、「0円（お金はかけていない）」が 48.7%であり最も高く、次いで「5千円～1万円未満」が 15.9%、「1万円～3万円未満」が 14.8%です。

図表 69 スポーツを直接観戦するための年間費用（単一）

問35 あなたは、スポーツを直接観戦するために、年間いくら程度費用をかけますか。コロナ禍による影響がないものとしてお答えください。(チケット購入費のほか、グッズ購入費、観戦時の飲食費等を含む。)(あてはまる番号ひとつに○、10万円以上の場合は金額を記入)

※ 図表内の金額は回答者1人あたりの平均値(回答者ごとの各選択肢の中間点(2千円～5千円未満の場合は3,500円、3万円以上は記入された項目とする)を合算し、回答者数で割った数値)です。



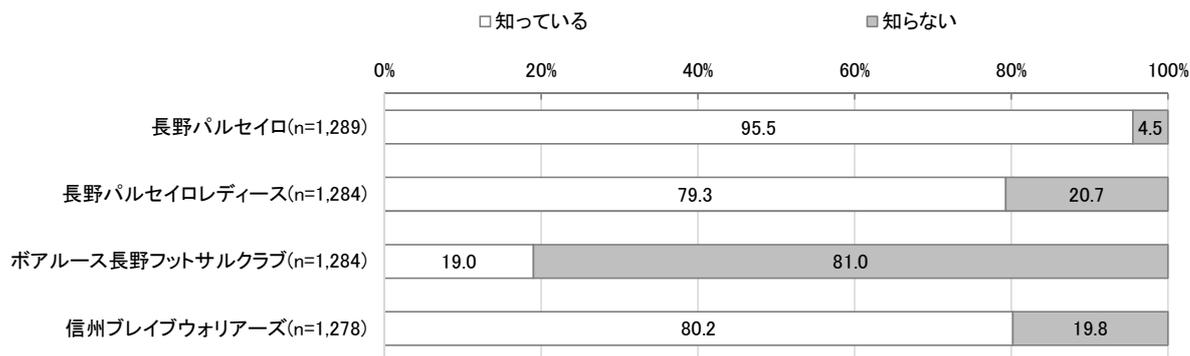
## (2) 長野市の地域密着型プロスポーツについて

### ① 認知度

▶ チームごとの認知度は、「知っている」は「長野パルセイロ」が最も高く 95.5%であり最も高く、次いで「信州ブレイブウォリアーズ」が 80.2%、「長野パルセイロレディース」が 79.3%、「ポアールス長野フットサルクラブ」が 19.0%です。

図表 70 チームごとの認知度

問 3 6 各チームを知っていますか。(ひとつに○)

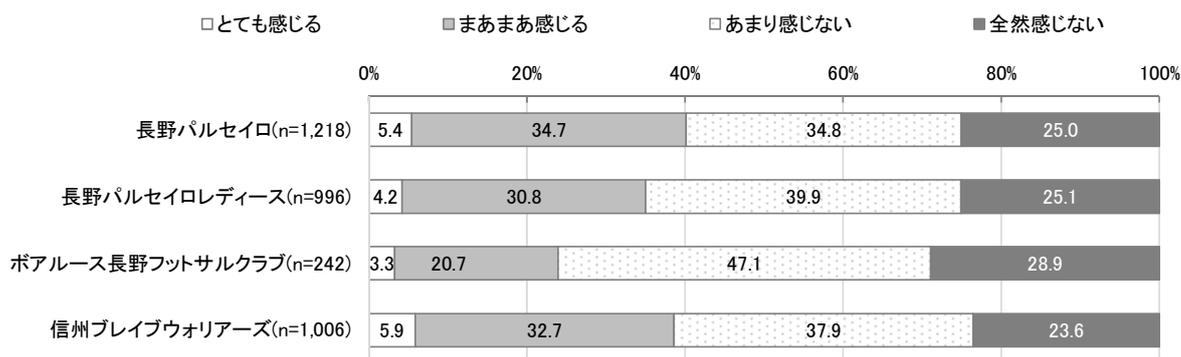


### ② 愛着度

▶ チームごとの愛着度は、「とても感じる、まあまあ感じる」は「長野パルセイロ」が最も高く 40.1%であり最も高く、次いで「信州ブレイブウォリアーズ」が 38.6%、「長野パルセイロレディース」が 35.0%、「ポアールス長野フットサルクラブ」が 24.0%です。

図表 71 チームごとの愛着

① チームに愛着を感じますか (ひとつに○)

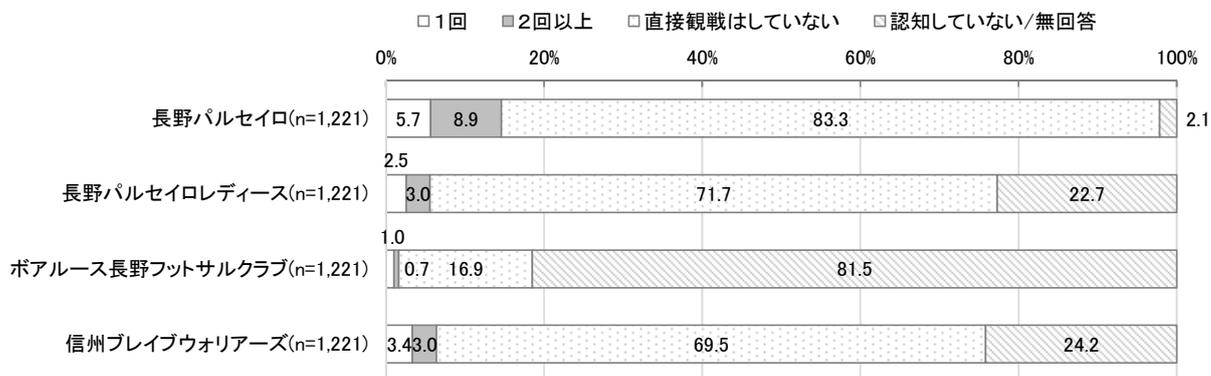


### ③ 観戦回数

▶ チームごとの観戦回数は、「1回、2回以上」は「長野パルセイロ」が14.6%であり最も高く、次いで「信州ブレイブウォリアーズ」が6.4%、「長野パルセイロレディース」が5.5%、「ポアルース長野フットサルクラブ」が1.7%です。

図表 72 チームごとの観戦回数

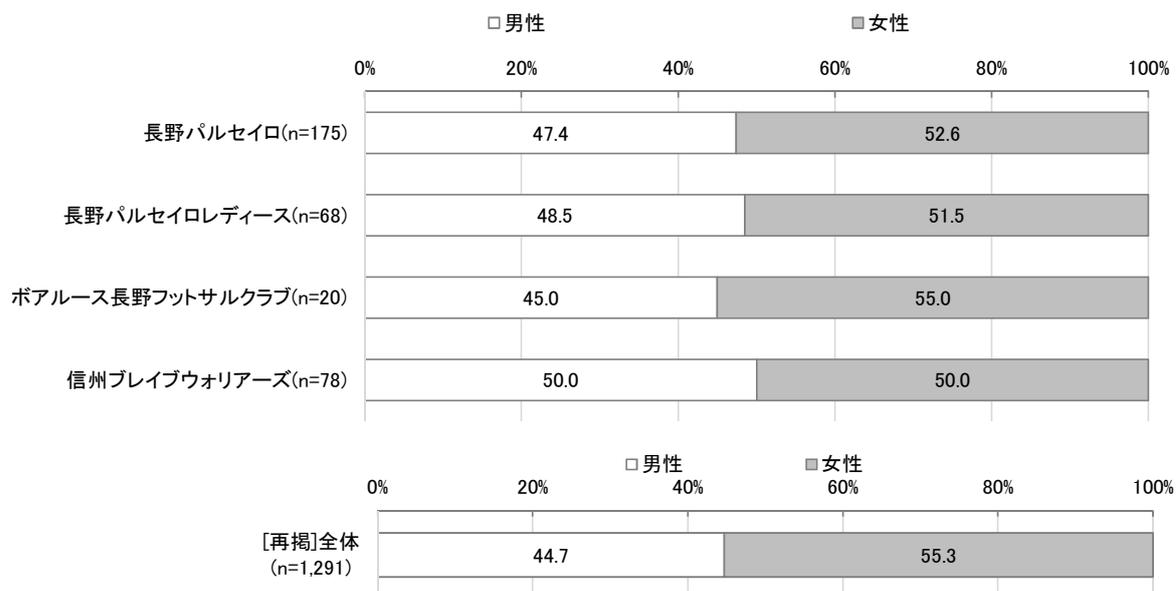
②何回、直接観戦しましたか（ひとつに○）



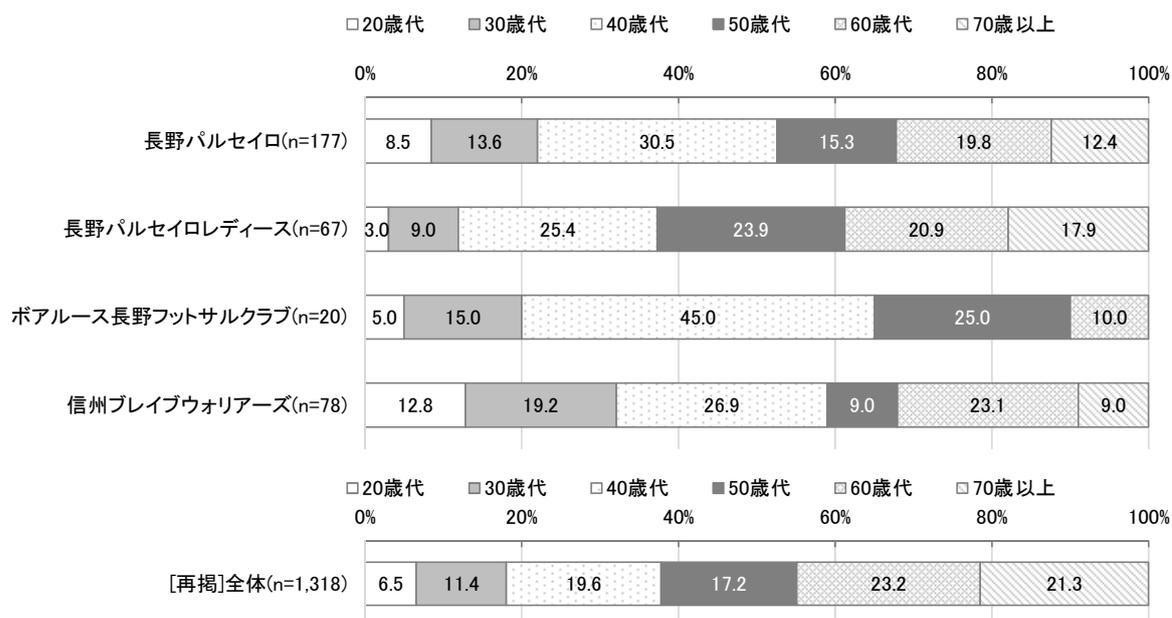
※いずれかのチームに回答した者を母数として集計している。

#### ④ 観戦した回答者の属性

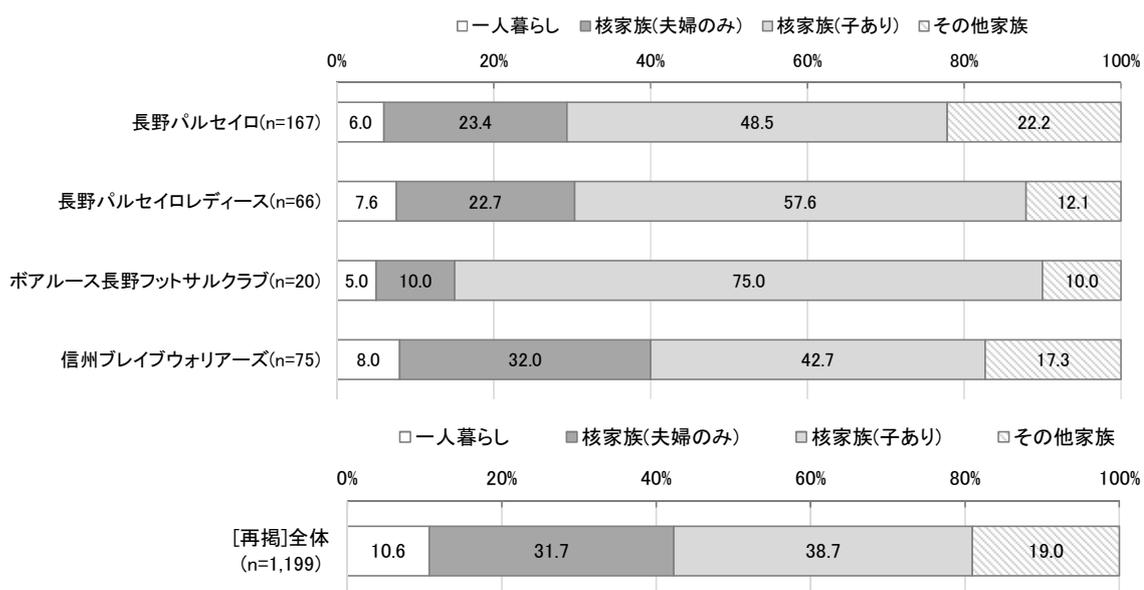
図表 73 観戦した回答者の性別（チームごとの集計）



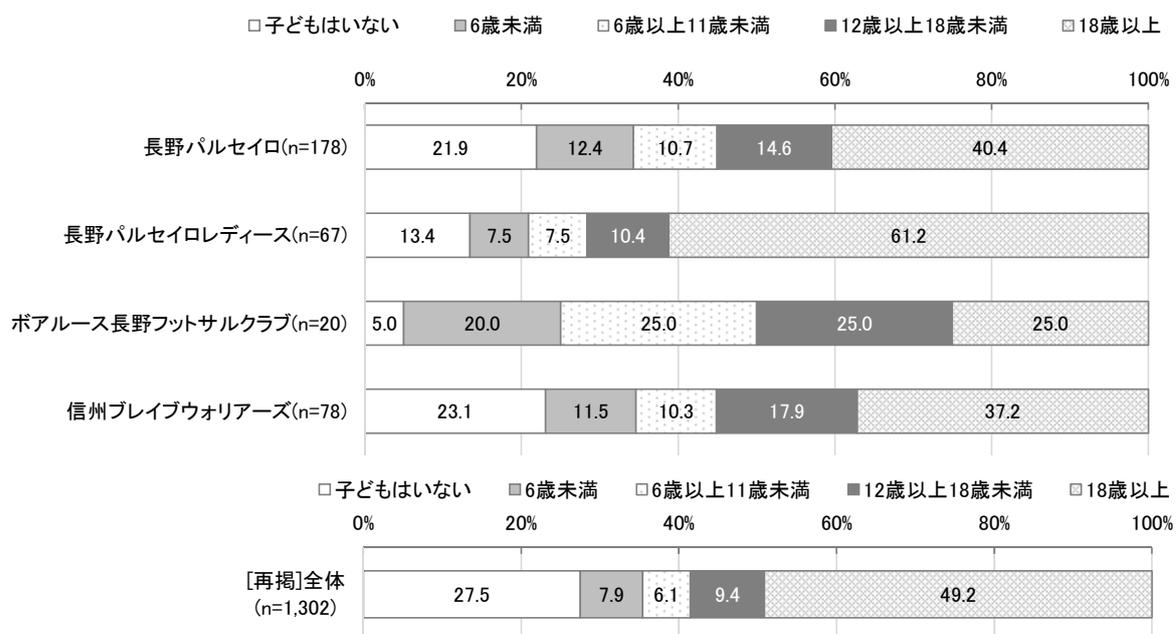
図表 74 観戦した回答者の年代（チームごとの集計）



図表 75 観戦した回答者の職業（チームごとの集計）



図表 76 観戦した回答者の子ども有無（チームごとの集計）

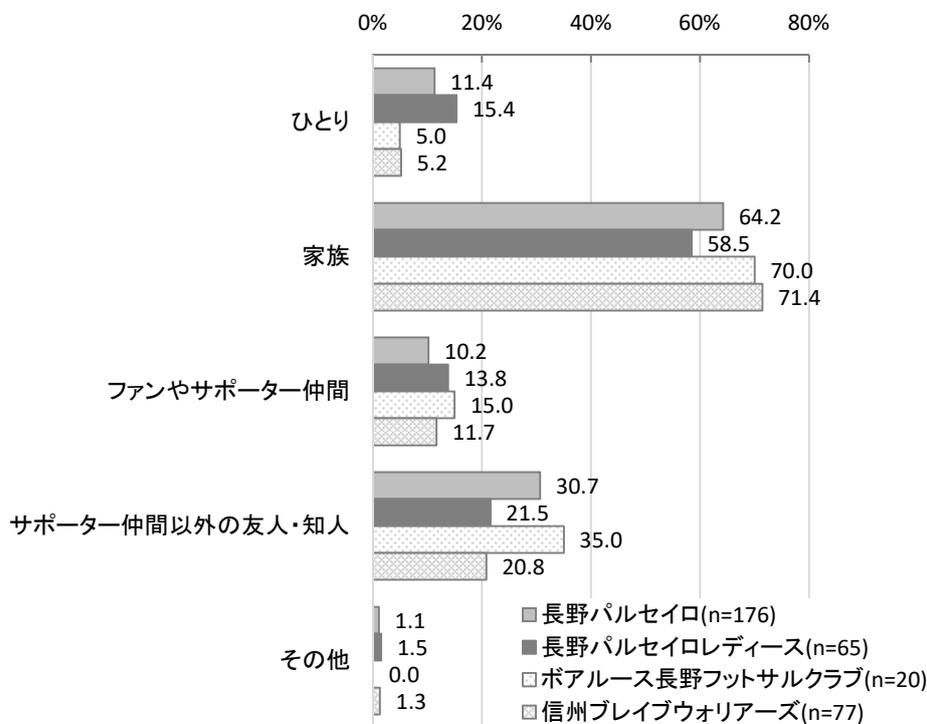


## ⑤ 観戦時の同行者

▶ チームごとの観戦時の同行者は、各チームで共通して「家族」が最も高く、次いで「サポーター仲間以外の友人・知人」が高くなっています。

図表 77 チームごとの観戦時の同行者

③誰と観戦しましたか（あてはまる番号すべてに○）

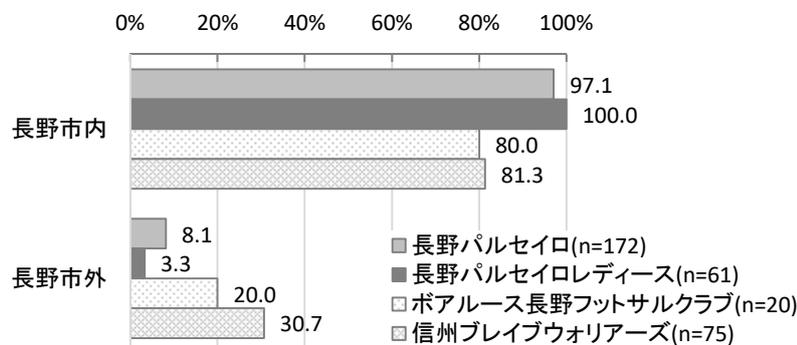


## ⑥ 観戦場所

▶ チームごとの観戦場所は、各チームで共通して「長野市内」が最も高く 80.0%以上となっています。「長野市外」は、「信州ブレイブウォリアーズ」が最も高くなっています。

図表 78 チームごとの観戦場所

④どこで観戦しましたか（あてはまる番号すべてに○）

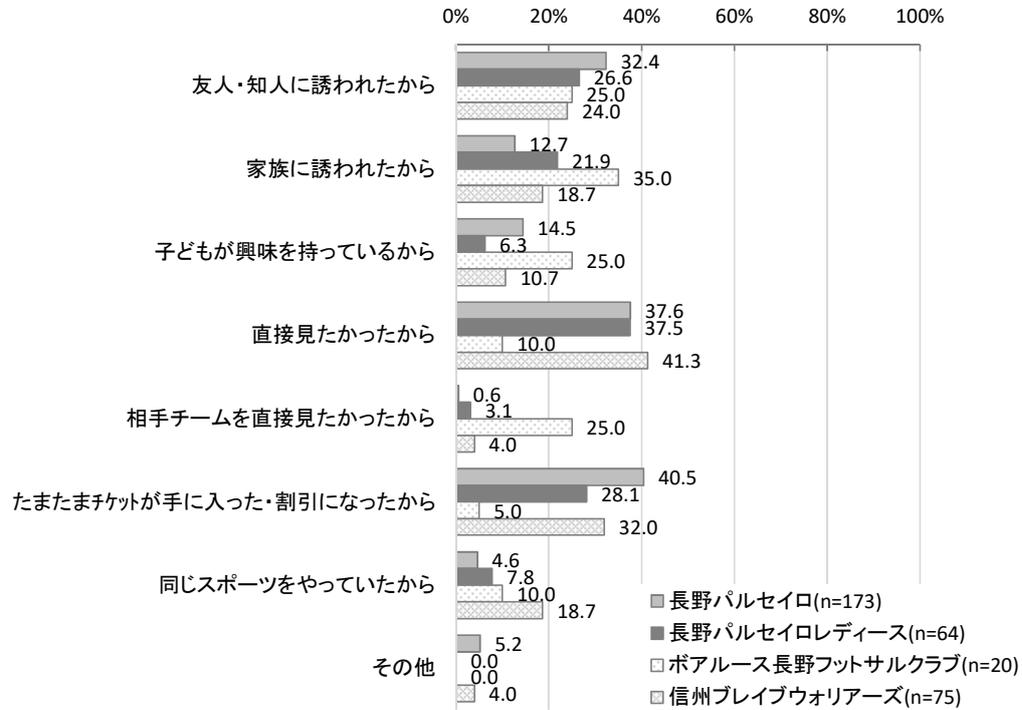


## ⑦ 観戦理由

- 観戦理由は、ポアールス長野フットサルクラブを除き、「直接見たかったから」、「たまたまチケットが手に入った・割引になったから」が高くなっています。
- ポアールス長野フットサルクラブは「家族に誘われたから」が高くなっています。

図表 79 チームごとの観戦理由

⑤初めての観戦のきっかけを教えてください (あてはまる番号すべてに○)



## ⑧ 直接観戦時の費用

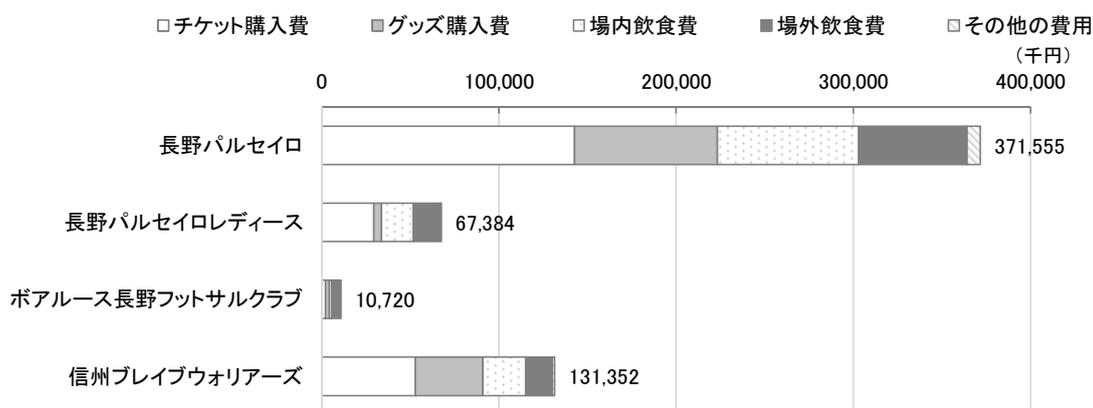
アンケートの回答から推計した長野市民全体の、チームごとの直接観戦時の費用は、「長野パルセイロ」が最も高く 371,555 千円となり、次いで「信州ブレイブウォリアーズ」が 131,352 千円、「長野パルセイロレディース」が 67,384 千円、「ポアールス長野フットサルクラブ」が 10,720 千円となっています。

図表 80 チームごとの直接観戦時の費用

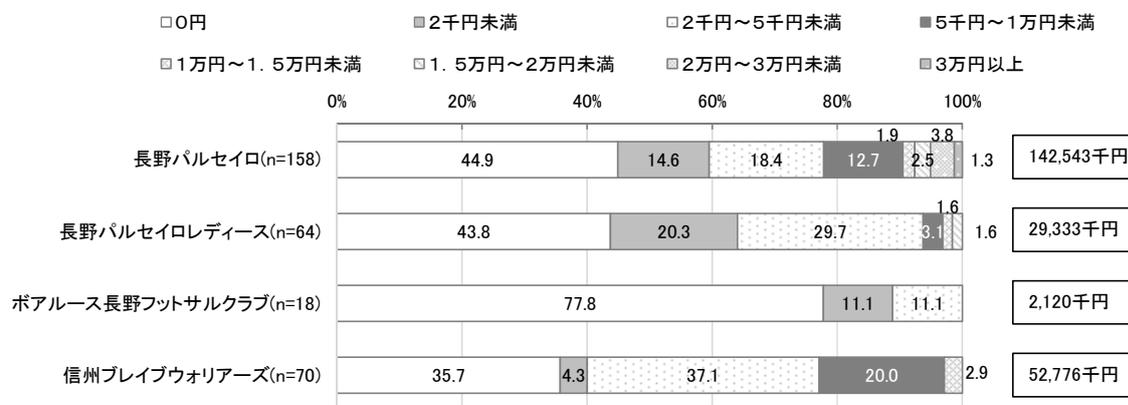
⑥長野市内で行われた、試合を直接観戦する際に支払ったこの1年間の金額を教えてください。(それぞれひとつに○、3万円以上の場合は金額を記入)

※回答者ごとの各選択肢の中間点(2千円～5千円未満の場合は3,500円、3万円以上は記入された項目とする)を合算し、令和2年12月時点の住民基本台帳の20歳以上の人口(310,297人)に対するアンケート回答者(1,317人)の比率(235.6)を掛け合わせることで市民全体の費用を推計しました。

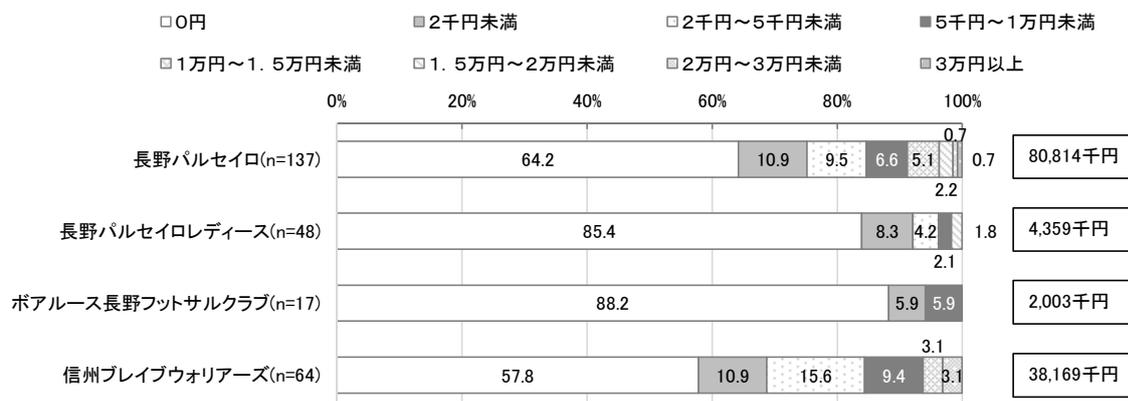
[推計金額の積み上げ]



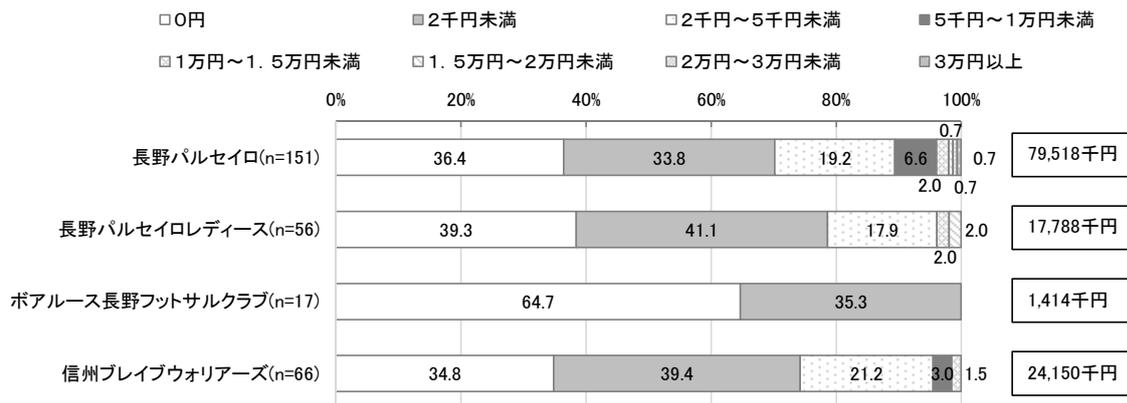
[チケット購入費]



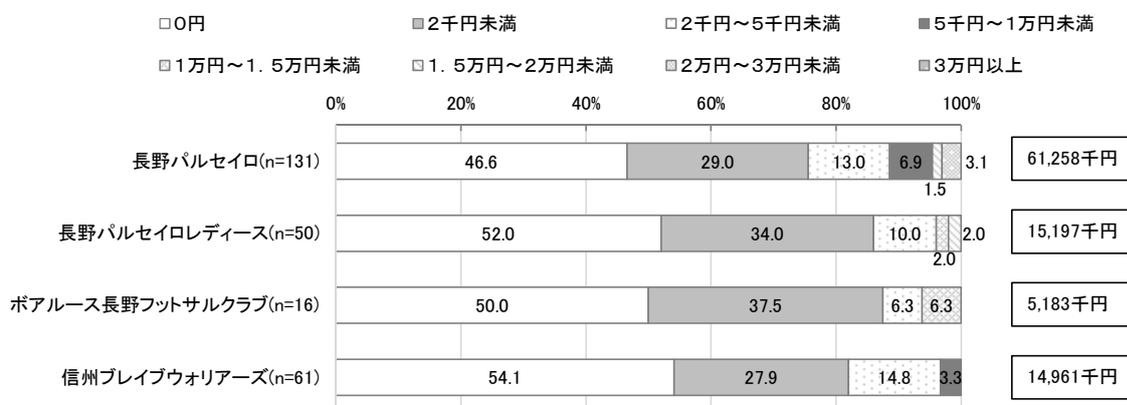
[グッズ購入費]



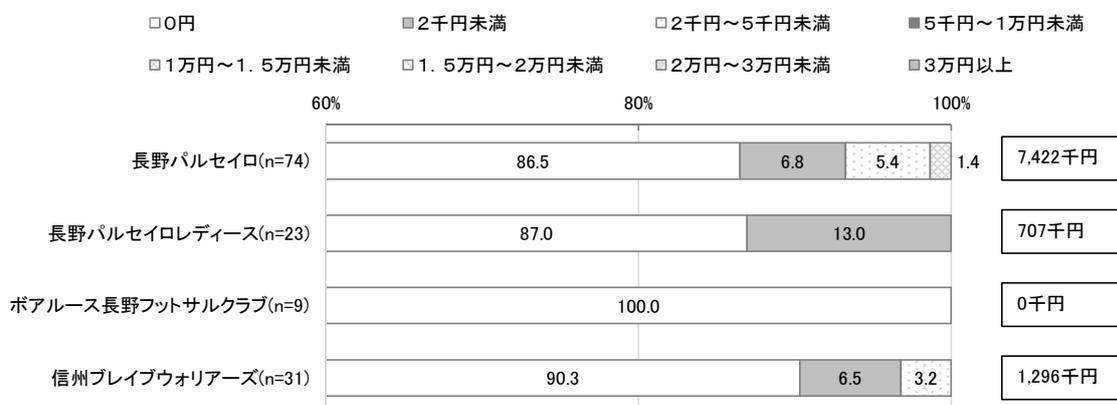
[場内飲食費]



[場外飲食費]



[その他の費用]



## 7. 「スポーツ振興」について

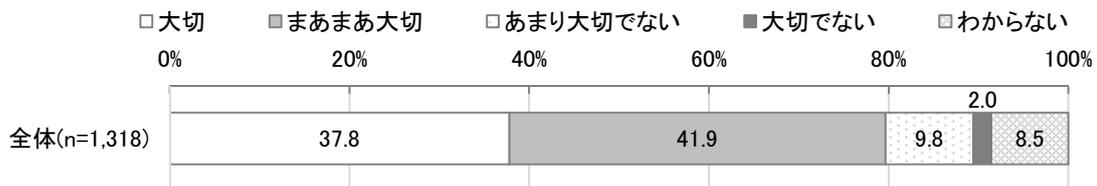
### (1) 長野市のスポーツ振興の方向性について

#### ① 運動・スポーツへの思い入れ

➤ 運動・スポーツへの思い入れは「大切、まあまあ大切」が79.7%であり、「あまり大切でない、大切でない」が11.8%です。

図表 81 運動・スポーツへの思い入れ（単一）

問50 あなたにとって運動・スポーツは大切なものですか？（ひとつに○）

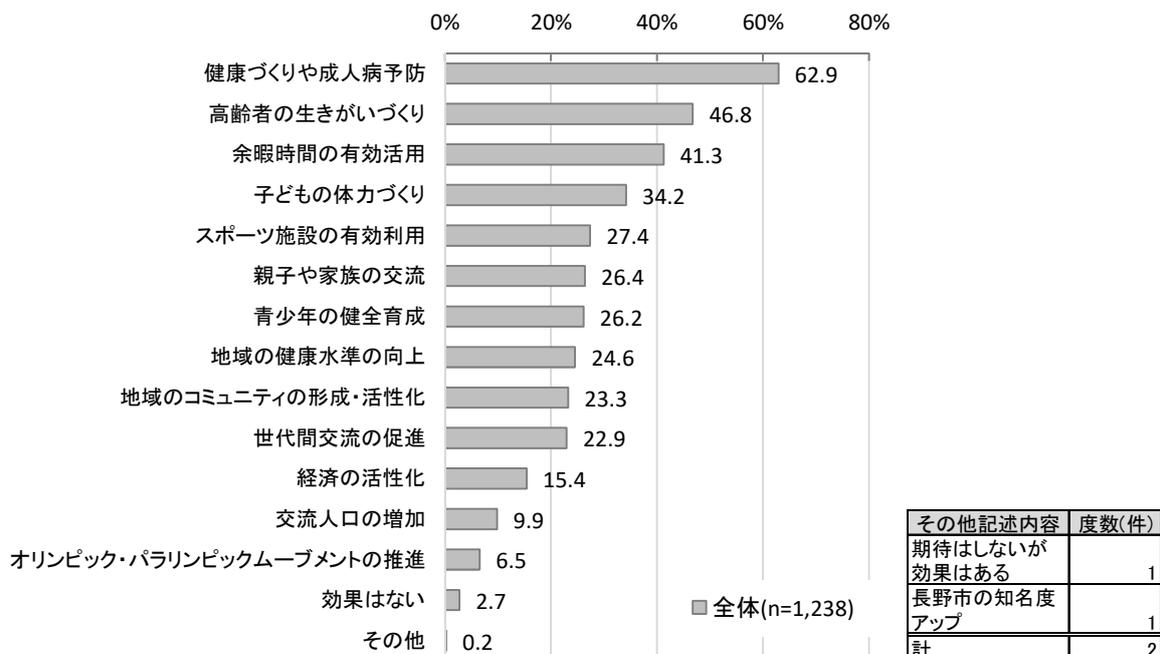


#### ② スポーツ振興に期待する効果

➤ スポーツ振興に期待する効果は、「健康づくりや成人病予防」が62.9%であり最も高く、次いで「高齢者の生きがいづくり」が46.8%、「余暇時間の有効活用」が41.3%、「子どもの体力づくり」が34.2%です。

図表 82 スポーツ振興に期待する効果（複数）

問51 あなたは、スポーツ振興に、どのような効果を期待しますか。（あてはまる番号すべてに○）

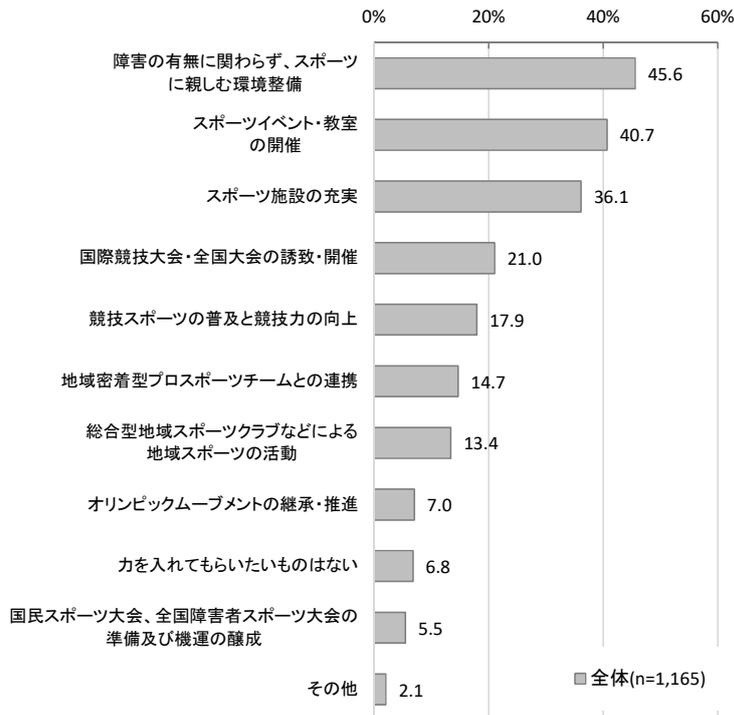


### ③ スポーツ振興に向けて力を入れるべきこと

▶ スポーツ振興に向けて力を入れるべきことは、「障害の有無に関わらず、スポーツに親しむ環境整備」が45.6%であり最も高く、次いで「スポーツイベント・教室の開催」が40.7%、「スポーツ施設の充実」が36.1%です。

図表 83 スポーツ振興に向けて力を入れるべきこと（3つまで）

問52 長野市のスポーツをもっと振興させるために、今後どのようなことに力を入れてほしいと思いますか。（あてはまる番号3つまでに○）



その他記述内容	度数(件)
既存施設の整備	6
地域住民に開かれた利用しやすい施設	2
公園等の設備、整備	1
すでにあるものを活用したスポーツの実施	1
体育館は大勢集まる場所なので、トイレ、水周りを増やしてほしい	1
地域に残っている市民プールは地域の子供たち年寄りまで楽しみにいくので、市のかかわりで残してほしい	1
今ある施設を使えるようにする。子どもたちが自由に使えるようにする。	1
遊歩道の整備	3
散歩道、ウォーキングロード、ジョギングロードやサイクリングロードの整備充実	1
長野市の土手は、車が走れる土手しかないのと、マラソンをするのに、安全・安心に子供が走れる所がなく、なかなか機会がない。	1
サイクルロード、遊歩道等の整備	1
スポーツ指導者の育成、確保	2
スポーツ団体への補助	2
スポーツ振興に関する情報発信	1
施設利用料の減額	1
学校スポーツへの支援	1
スポーツ施設へのアクセス性強化	1
実施機会の拡充	1
計	18

## (2) オリンピック開催都市であることを活かしたまちづくり

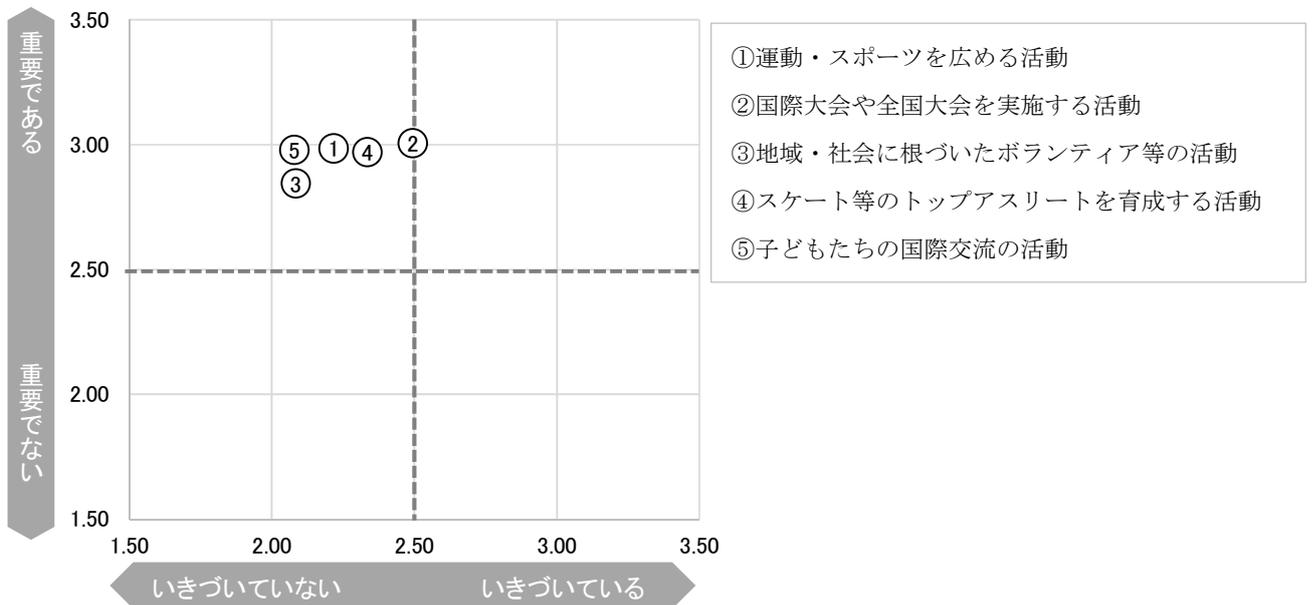
### ① オリンピック開催都市であることを活かしたまちづくりへの意向

▶ オリンピック開催都市であることを活かしたまちづくりへの意向を得点化すると、全ての活動を重要であるとしています。いきづいているかでは、「国際大会や全国大会を実施する活動」が中間点 (2.50) に近くなっています。他項目は、あまりいきづいていないという評価になっています。

図表 84 オリンピック開催都市であることを活かしたまちづくりへの意向 (得点化)

問44 あなたが、オリンピック・パラリンピック開催都市としての長野市に、A いきづいていると感じる活動は何ですか。B また、これらの活動は今後のまちづくりに重要だと感じますか

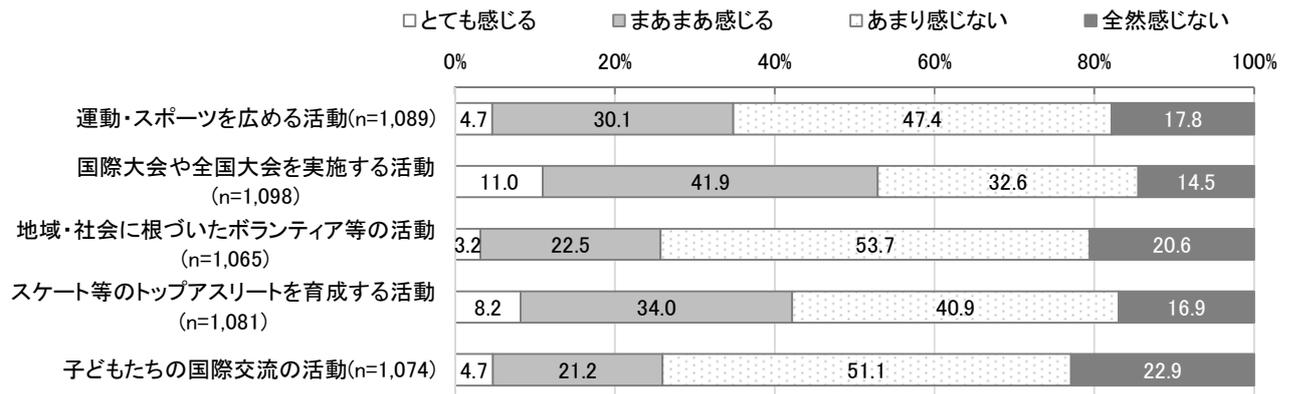
とても感じるを4点、まあまあ感じるを3点、あまり感じないを2点、全然感じないを1点として各項目の平均値を算出した。



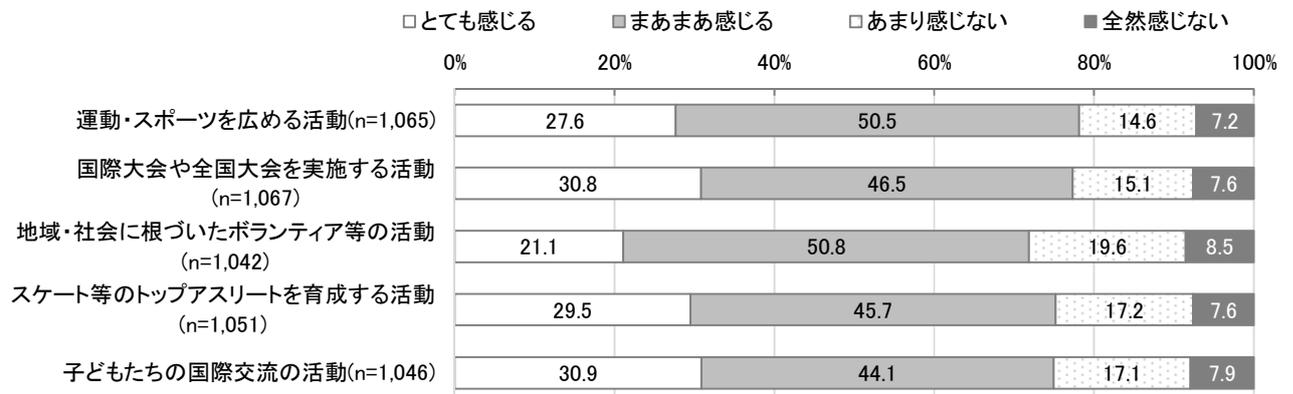
- ▶ オリンピック開催都市であることを活かしたまちづくりへの意向として、いきづいていると感じる活動で「とても感じる、まあまあ感じる」は、「国際大会や全国大会を実施する場所」が 52.9% であり最も高く、次いで「スケート等のトップアスリートを育成する活動」が 42.2%、「運動・スポーツを広める活動」が 34.8%です。
- ▶ 今後のまちづくりに重要だと思う活動はどの項目も 70.0%以上となっています

図表 85 オリンピック開催都市であることを活かしたまちづくりへの意向（活動ごと）

[いきづいていると感じる活動は何ですか。]



[今後のまちづくりに重要だと感じますか。]



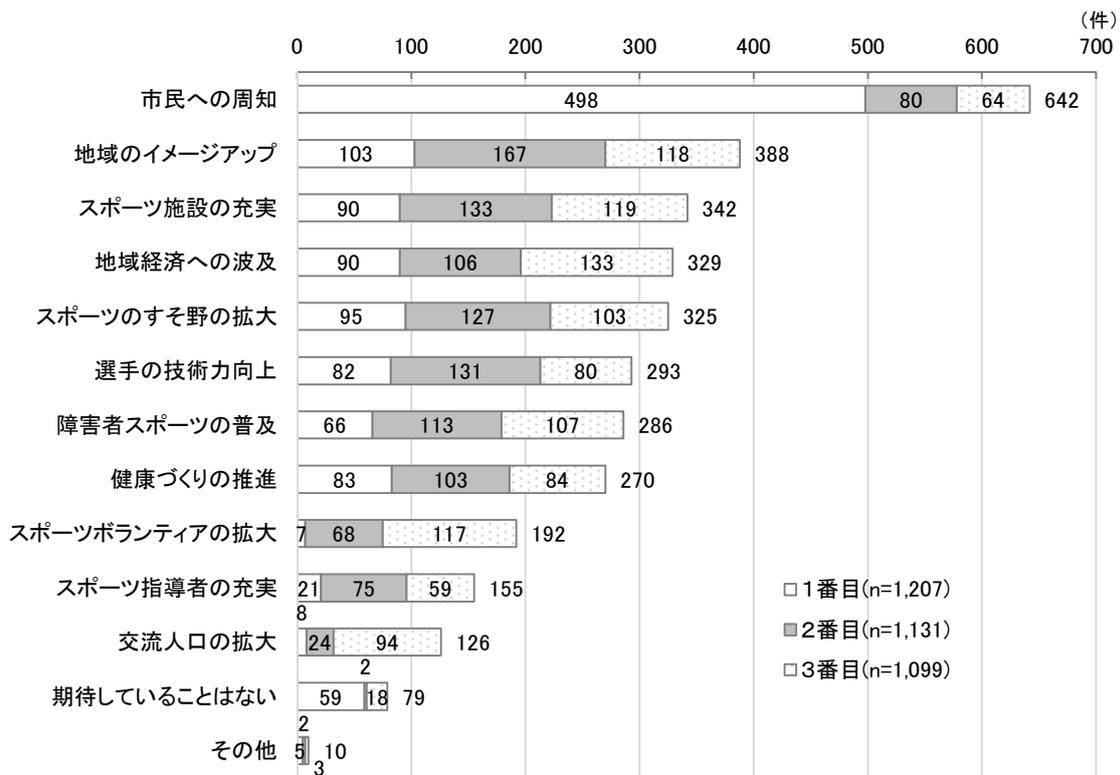
### (3) 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催

#### ① 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催に期待すること

- 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催に期待することは、「市民への周知」が 642 件であり最も高く、次いで、「地域のイメージアップ」が 388 件、「スポーツ施設の充実」が 342 件、「地域経済への波及」が 329 件、「スポーツのすそ野の拡大」が 325 件です。

図表 86 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催に期待すること（上位3つ）

問 4 5 令和 10 年に長野県で第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会が開催されます。これらの大会に向けて、期待することは何ですか。（1～3 番目に期待することを1つずつ選んで記入）



その他記述内容	度数(件)
交通整備	1
安全で地域生活に影響が少ない開催方法	1
それどこではない。生活や感染対策に集中してほしい	1
企業の利益が優先されない事	1
計	4

## 8. 自由記述

テキストマイニングの手法を活用し、自由記述の回答から代表的と考えられるものを抽出しました。

### (1) 全自由記述の整理

#### ① 単語の出現頻度

- 自由記述を単語に分け、品詞ごとに出現頻度を集計しました。
- 「スポーツ (197回)」、「施設 (98回)」、「参加 (64回)」の順に多くなっています。

図表 87 自由記述内での名詞の出現回数

長野市のスポーツ振興について、日頃感じていることがありましたら、ご意見をお聞かせください。(記述)

順位	単語	出現頻度	順位	単語	出現頻度	順位	単語	出現頻度
1	スポーツ	197	11	地域	33	21	学校	22
2	施設	98	12	環境	33	22	イベント	22
3	参加	64	13	必要	33	23	機会	21
4	子ども	60	14	健康	31	24	仕事	21
5	利用	51	15	市民	29	25	公園	20
6	運動	48	16	充実	26	26	開催	20
7	教室	40	17	気軽	26	27	選手	20
8	長野市	39	18	体育館	25	28	活動	19
9	場所	38	19	振興	23	29	チーム	19
10	整備	34	20	コロナ	23	30	ウォーキング	18

#### ② 単語の組み合わせ (係り受け) 解析

- 自由記述の係り受け解析を行いました。係り受け解析では、修飾、被修飾の関係にある単語の組み合わせを集計します。
- 「気軽 - できる」の組み合わせが17回であり最も多く、次いで「スポーツ - できる」が13回、「施設 - 充実」が9回となっています。
- 図表 85 では、各単語の組み合わせが出現する代表的な自由記述を掲載します。

図表 88 自由記述の係り受け解析 (出現頻度が6回以上)

順位	単語の組み合わせ	出現頻度
1	気軽 - できる	17
2	スポーツ - できる	13
3	施設 - 充実	9
4	施設 - 利用	9
5	教室 - 開催	7
6	施設 - 整備	7
7	気軽 - 参加	7
8	教室 - ほしい	7
9	スポーツ - 参加	6
10	スポーツ - ほしい	6

## (2) 代表的な記述内容

図表 89 単語の組み合わせごとの代表的な自由記述

単語の組み合わせ	各組み合わせが含まれる、代表的な記述内容	性別	年齢
気軽 - できる (計 17 回)	印象として一部の人だけに拮がっている感があり、幅広い年代の人が <b>気軽に参加</b> できる雰囲気が必要と思う	男性	70～ 74 歳
	自分はスポーツをしないので、高齢者でも <b>気軽に参加</b> できるスポーツがあればやりたい。	女性	65～ 69 歳
	障害のある人も <b>気軽に</b> スポーツができる機会を増やす活動をお願いします。	女性	55～ 59 歳
	無償のスポーツ教室がたくさんあったらいい。特に子どもたちが <b>気軽に体験</b> できるような。たとえば保育園、幼稚園からカリキュラムに含まれていて(実際サッカー、運動教室などありますが)小学校でも体育の授業とは別で <b>クラブ活動</b> などできちんとした指導者がいて教えてくれたら興味を持つきっかけになると思います。やらないと知らないままです。親からきっかけを与えることも限度があります。水泳教室に行きたいが、昼間など仕事をしているので行けない。夜遅い時間での教室があったらいいのに、と思う。	女性	35～ 39 歳
	<b>気軽に参加</b> できるスポーツイベントの創出。マラソン大会や各種市民大会をもっと増やしてほしい。スポーツと健康増進の普及活動。ウォーキングしてポイントをためて等市民にスポーツを普及させるアイデアがあってもいいのでは。	男性	35～ 39 歳
	子どもたちがスポーツを行っているが、 <b>気軽に利用できる施設</b> が少ない。サッカーで比べると松本市は環境を整えているが、長野市は、芝のサッカー場も少なく、会場も少な過ぎる。冬でも室内で練習しているが、体育館のコートでは狭くて足りない。夜も外で練習できる場所が少ないと感じる。結局、冬が長い長野では、年間を通して <b>サッカー</b> ができる環境が整っていないので、不便と感じる。	女性	45～ 49 歳
スポーツ - できる (計 13 回)	子供がスポーツクラブやスポーツ教室に参加するためには、親など送迎が必要となります。また、 <b>地域によりクラブや教室の数や競技内容に差</b> があります。住んでいる <b>地域や共働き家庭</b> などに左右されることなく、子どもたちがやってみたい <b>スポーツ</b> に参加できる環境が整うと良いと思います。	女性	45～ 49 歳
	スポーツが得意、また大好きな人は、それなりにスポーツに親しむことはできると思いますが、 <b>苦手な人、好きでない人</b> に対しても、 <b>健康維持の観点</b> から少しでも <b>スポーツ</b> に接することができるための <b>施策</b> も考えてほしいと思います。	男性	60～ 64 歳
	AC 長野パルセイロ、信州ブレイブウォリアーズを応援しており、観戦をしています。せっかくの <b>地域密着型プロスポーツチームと連携を強め、スポーツを親しめる環境</b> ができたらいいなと思います。例えば、定期的なクラブ名での <b>スポーツ教室</b> (働く人も参加しやすい、夜間開催など)や <b>スポーツ大会やイベント</b> に選手が参加、小、中、高校での出張教室など。スポーツや、チームや選手を身近に感じ、自分もやってみよう、あの選手を、あのチームを応援しよう、というムーブメントが起こるといいなと思います。	女性	45～ 49 歳
	<b>スポーツ</b> として構えるのではなく、 <b>日常の健康のために手軽に利用できる空間、インフラが必要</b> 。公園に散歩といっても、家族として一緒に暮らしている犬ですら入園できず、ジョギングコースであっても、 <b>気の利いた木陰</b> すらない公園では、寛ぐことも、休むこともできない。だれもが球技を楽しむわけではなく、走るわけではないので、だれもが体を動かして楽しむ空間、インフラから整備してほしい。犬の立ち入り禁止の看板を見るだけでも、税金をまじめに払うことが、いやになってしまいます。	男性	65～ 69 歳
	健康のため、 <b>スポーツ</b> ができる環境が身近にあることは大いに賛成です。また、 <b>スポーツを通じて交友関係等築くことができる</b> のではないかと思います。	女性	75 歳 以上
施設 - 充実 (計 9 回)	周りで環境を楽しみながら運動(ウォーキング)等ができるところがとても少ないと感じる。もっと一人でも <b>運動がしやすい環境</b> づくりをしてほしい。公園を増やしたり、 <b>施設</b> や <b>イベント</b> を <b>充実</b> させる	女性	20～ 24 歳
	全ての市民が <b>スポーツ</b> に親しむ環境整備により、 <b>健康が促進</b> されるよう、 <b>施設の充実</b> や <b>活用法の PR</b> を地道に行っていただきたいと思います。まずは読みやすい広報づくりから。	-	65～ 69 歳
	単に箱物を作るのではなく、長野市の自然景観や既存の設備(市道等)を活かした、 <b>施設の充実</b> に努めるべきと思う。広い年代層や多くの市民が参加するには、 <b>身近に運動</b> ができる環境があるのが一番であり、散歩の為の歩道の整備やサイクリングロード、レーンの整備等を市内のいろいろな場所に設けていくことが必要であるとする。箱物はこれ以上は不要で、作った箱物の有効活用が重要と思われる。	男性	55～ 59 歳

単語の組み合わせ	各組み合わせが含まれる、代表的な記述内容	性別	年齢
施設 - 利用 (計9回)	民間のスポーツクラブは利用しやすいです。面倒な手続きもなく、いつでも利用でき、たくさんのメニューがある施設があれば理想ですが、公共の施設にそれを望むのは無理だと思っています。自己責任で、スポーツクラブやカルチャーを利用します。大人が遊べる文化的な施設がないです。駅前の平安堂がドンキになって、本、音楽ともに、街に出て、ちょっと楽しもうという場所がありません。スポーツではありませんが、私のまわり、たくさんの人が関わっています。かつての教育県、信州を残すためにも、市職員の皆さんの奮起をお願いします。	女性	65～ 69歳
	私は自分の意志で行動できますが、重度知的障害の息子にとってはさせたくても施設の利用が困難。サンアップル以外行かれるところがひとつもありません。健康者しか利用できない施設ではなく誰でも利用できる施設があってほしいと思います。サンアップルも以前に比べ指導できる人や知識を持っているスタッフが少なくなりました。	女性	55～ 59歳
	多くの市民が気軽に実施できる環境（経済的、施設）の整備が必要と思う。プールについては維持費が多額に必要で各学校に必要とは思わない。近隣の学校の中心等に建設して年間の利用を分散して行う。又、市民には無料で開放するなど、の考え方が必要です。各学校単位で建設しても通年で利用はなく、費用、場所の無駄です。学校の年間分散利用では、送迎バスを利用することで、運転手の雇用ができ、年間で水泳ができる。多額の費用を投じて夏季の2、3か月では無駄です。市として良く考えてください。固定観念ではこれからの時代では通用しません。	男性	50～ 54歳
教室 - 開催 (計7回)	シニア向けに、もっとスポーツ教室を開催してほしい。	女性	60～ 64歳
	子ども向けの色々な種類メジャーじゃないもののスポーツ教室を開催してほしい。個人的に、ボウリングの子ども向け教室があると嬉しい	女性	35～ 39歳
	南長野運動公園にバスケのコートが半面あるが、これを利用して土日にバスケ教室を開催してほしい。バスケに限らず、土日、休日に、この場所に行けば、運動教室（ウォーキングとか簡単なものでも）をやっていて気軽に参加できる体制を作してほしい。（スケボも同様に）	男性	55～ 59歳
施設 - 整備 (計7回)	競技スポーツの施設だけでなく、たとえば街中にウォーキングコースを作る等世代を超えてスポーツによる交流ができるように整備ときっかけづくりをお願いしたい。また、オリンピック開催都市としてオリンピックムーブメントの継承は忘れてはならないことである。	男性	70～ 74歳
気軽 - 参加 (計7回)	私のような、運動（スポーツ）が苦手な者や初心者でも気軽に参加してみたいと思えるイベントやスポーツ教室、公民館の行事などがあればいいと思う。家の近くにウォーキングコース(安全な)ほしいです。	女性	65～ 69歳
	ひとり親が自分の子どもと気軽に参加できる場所。特に子どもたちだけで参加できるクラブ等があったら良いと思う。親が送迎したりするところが多いので入会できない。	女性	75歳 以上
教室 - ほしい (計7回)	教室など遅い時間帯も実施してほしい。	女性	55～ 59歳
	体が健康でない人故障を持っている人（障害者じゃなくても）安全に参加できる教室、イベントを身近なところでおこなってほしい	女性	60～ 64歳
	障害のある子たちの参加できるスポーツ教室があるとうれしいです。障害のある人がのびのび活動できる場所が欲しいです	女性	55～ 59歳
スポーツ - 参加 (計7回)	スポーツイベントに1人でも参加できるような環境があり、イベント情報をインターネットから入手できると良いです。	女性	45～ 49歳
	スポーツ振興について情報が少なく知らないことが多い。全世代に広めるためには広い方法で発信してほしい。普段の生活に気軽に取り組めるスポーツであればやってみたい。子供たちと一緒に家族全員で参加できる機会が増えるといいと思う。	女性	25～ 29歳
スポーツ - ほしい (計7回)	各プロスポーツ選手との交流をもっと増やしてほしいと思う。学校単位とか、小学校などでの選手の講演、どのような努力をしてきたなど、子どもに聞かせる。競技場への招待。裾野を広げる活動、県外、全国大会への支援。障害者スポーツを今以上にメジャーにして、プロとして見せるものになればよい。	男性	45～ 49歳
	長野市のスポーツチーム(パルセイロ等)が強いチームになってほしい	女性	75歳 以上